

第 7 回

学生生活実態調査報告書



Tokyo University of Agriculture and Technology

平成 24 年度

国立大学法人東京農工大学

ま え が き

本学では平成6年度以来、3年に1回、「学生生活実態調査」を実施し、学生の学業、課外活動、生活全般にわたるデータを収集し、教育内容、教育環境の整備および大学運営に生かすための基礎資料としてきました。今回は、3年前の平成21年度調査に続く7回目の調査となります。このほど、本調査の集計結果がまとまり、分析結果と併せて報告書としてまとめました。

本調査の回収率は77.9%で、第6回調査の53.3%に比べ、24ポイントもアップしました。過去で一番高かった時でも63.7%でしたので、今回の回収率は極めて高いと言えます。これは今回の調査では各学科単位で、得られた結果を大学全体のみならず、学科単位できめ細かく対応して学生生活の改善に役立てるといふ、アンケートの趣旨を十分に説明いただいたことが大きな要因です。この調査の趣旨を理解され、積極的に参加して頂きたいいただいた学生諸君に感謝するとともに、アンケートの配布や回収の促進にご努力いただいた教職員各位に心よりお礼申しあげます。

全体として、本学への満足度は約90%と非常に高い。特にカリキュラムの満足度（「満足」＋「やや満足」）は83%で、前回調査から4ポイント増の高評価でした。特に注目したいのは、グローバル化への対応です。海外活動希望者は43%で、前期調査から9ポイント増加しました。博士課程を除けば学部1年次の海外希望者が5割と最も高く、グローバル化が進む中で、低学年ほど海外への意識が高いことが示されました。海外留学を妨げる要因は経済的理由が7割以上、次いで語学・海外生活に不安があるという理由からであり、グローバル化に向けたカリキュラムの整備や海外活動希望者の支援策の充実が必要であることがわかりました。

また今回の新規調査項目であるインターンシップの経験は、1割程度が経験しており、満足度は9割以上でした。ただ会社説明会、就職情報コーナー、インターンシップの充実を含めて就職支援の在り方が課題であることも浮き彫りにされました。

この他にもこの調査結果で集約された貴重な意見、希望に対し、可能な限り大学運営に生かしていきたいと考えています。

最後になりましたが、アンケート項目の策定や集計結果の分析等に関わっていただいた学生生活実態調査ワーキンググループの委員および学務部の事務職員の皆様に感謝申し上げます。

理事（教育担当副学長） 瀬瀬 明伯

目 次

ま え が き

序 章	調査の概要	1
第 I 章	基本的事項	4
第 II 章	経済的状況	
	6. 1ヶ月の平均収入	6
	7. 1ヶ月の平均支出	8
	8. 授業料の主たる支払い者	10
	9. アルバイトの有無	11
	10. アルバイトの時間	12
	11. 経済的理由による学業継続困難の有無	13
	12. 経済的困難の解決策	14
第 III 章	住居	
	13. 現在の住居・生活形態	15
	14. 学生寮の満足度	16
	15. 学生寮への入居希望	17
	16. 国際交流会館への入居希望	17
	17. 国際交流会館への満足度	18
第 IV 章	通学	
	18. 主な通学手段・方法	19
	19. 通学所要時間	19
第 V 章	学業、学習環境	
	20. 本学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び大学憲章の周知状況	20
	21. 三つのポリシーや大学憲章の情報入手方法	22
	22. 本学満足度	23
	23. カリキュラム満足度	25
	24. 教養科目（共通科目）を選択する際に重視した事柄	27
	25. 一週間の授業外学習時間	29
	26. 授業時間外の学習を行うのに必要な施設・設備や対策	32
	27. 授業における疑問についての対処方法	34
	28. 講義室、実験室の満足度	36
	29. 講義室、実験室の改善希望	37
	30. 自習室、PC教室の満足度	38
	31. 実験・実習の危険体験	39
	32. 図書館の利用頻度	40
	33. 図書館の主な用途	41
	34. 図書館の満足度	42

35.	在学中の海外活動経験	43
36.	海外での活動希望の有無	44
37.	海外での活動の目的・内容	45
38.	海外での活動を妨げる要因	46
第VI章 課外活動		
39.	サークル加入の有無	47
40.	加入しているサークル団体の種類	48
41.	一週間の平均活動時間	49
42.	課外活動の不満の有無	50
43.	課外活動の不満の内容	51
44.	課外活動施設等の満足度	52
第VII章 ボランティア活動		
45.	入学後、ボランティア経験の有無	53
46.	ボランティア活動の内容	54
47.	ボランティア活動の頻度	55
48.	ボランティア活動への支援希望の有無	56
49.	ボランティア参加希望の有無	57
第VIII章 学生生活		
50.	学生生活の悩み	58
51.	対人関係の悩みの相手	60
52.	大学生活で困ったことの有無	61
53.	相談相手	62
54.	教員との対話	64
55.	学生同士の交流	65
56.	学生相談室の認知度	67
57.	保健管理センターカウンセラーの認知度	68
58.	飲み会・コンパなどでの経験	69
59.	ハラスメント相談室の認知度	71
60.	セクシャル・ハラスメントを受けた経験	72
61.	セクシャル・ハラスメントを受けた相手	73
62.	セクハラ以外のハラスメントを受けた経験	74
63.	セクハラ以外のハラスメントを受けた相手	76
64.	喫煙の有無	78
65.	キャンパス内マナーの満足度	80
66.	農学部福利厚生センター及び工学部総合会館等の利用状況	81
67.	食堂・喫茶室の満足度	84
68.	売店の満足度	84
69.	キャンパスの施設・設備環境改善希望（講義室を除く）	86
70.	大学祭への参加	88
71.	生活情報の入手先（外国人留学生）	90

第Ⅸ章 進路（就職・進学）	
72. 将来の希望進路	91
73. 進路に関する情報入手手段	92
74. 将来の希望職種	93
75. 大学の就職支援希望	94
76. インターンシップの経験	95
77. インターンシップの満足度	96
第Ⅹ章 要望・意見等	
78. 学生から多く寄せられた、大学に対する意見・要望等	97
巻末資料	
1. 委員会等の構成メンバー	104
2. 調査票	105

序章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、東京農工大学の学生の生活実態を把握し、今後の学生のための厚生施策の充実、教育・研究環境の改善及びサービスの向上等に役立たせるための資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の実施及び組織

学生へのより良いサービス向上等に資するため平成24年6月8日開催の教育・学生生活委員会において、第7回学生生活実態調査を実施することが承認され、ワーキンググループが設置された。ワーキンググループでは、過去の実態調査の反省点を精査しつつ、調査内容の企画立案、調査票の作成、調査結果の分析を実施し、ここに報告書を作成した。

3. 調査の対象

平成24年10月1日現在で本学に在籍している全学生（連合獣医学研究科、共同先進健康科学で本学配置の学生を含む）を対象とした。

ただし、休学者、研究生、科目等履修生及び留学中の学生は除いた。

4. 調査の時期

平成24年10月1日（月）～10月26日（金）

5. 調査の方法

学科ごとに必修科目の授業や研究室等で配布し、対象者自身が記入する（自記式）方式とした。

6. 調査の内容（ ）は担当教員名

- I. 基本的事項（臼井 博明）
- II. 経済的状況（臼井 博明）
- III. 住居（木庭 啓介）
- IV. 通学（木庭 啓介）
- V. 学業、学習環境（吉永 契一郎、藤井 恒人）
- VI. 課外活動（服部 誠）
- VII. ボランティア活動（服部 誠）
- VIII. 学生生活（早川東作、馬渕麻由子）
- IX. 進路（就職・進学）（渡辺元）
- X. 要望・意見等（前田和之）

7. 発行年月日

平成25年4月19日（金）

調査の要旨

1 経済的状況 (P6~P14)

1か月の平均収入は8万4千円であり、近年顕著な減少。特に、収入の4割を占める家庭からの収入は、8年前の第5回調査から3割の減少であり、奨学金等の経済的支援の充実が必要。18.4%の学生が経済的理由から学業継続に困難を感じており、その率は学年の進行とともに増大。

2 住居環境 (P15~P18)

学生寮を希望する者の割合は25%で、前回調査から12ポイントの大幅増。また、留学生は48%が学生寮を希望しており、留学生を含めた学生寮の整備充実が必要。

3 学業、学習環境 (P20~P46)

- ① カリキュラムの満足度（「満足」＋「やや満足」）は83%で、前回調査から4ポイント増の高評価。学部別では農学部77%に対し、工学部85%と高い。
- ② 授業外学習に割く時間は、週6時間未満が53%で、前回調査よりも12ポイント減の改善傾向。また、授業外学習に必要な施設・設備は、順番に、図書館と学習スペース、無線LANとなっている。これらの整備については、平成25年度以降、整備・改修が予定されている。
- ③ 講義室・実験室の満足度は76%と高いが、満足していない者の6割は机・椅子の改善を希望。そのほか講義室の形状、清掃、実験器具に対する改善希望が多い。
- ④ 図書館の利用状況は、毎日と週2、3回を合わせて35%と必ずしも高くないが、満足度は74%と高い。満足していない理由は、開館時間が短い、PCがない等。
- ⑤ 海外活動希望者は43%で、前期調査から9ポイント増加。博士課程を除けば学部1年次の海外希望者が5割と最も高く、グローバル化が進む中で、低学年ほど海外への意識が高い。海外留学を妨げる要因は経済的理由が7割以上、次いで語学・海外生活に不安があるという理由からであり、グローバル化に向けたカリキュラムの整備や海外活動希望者の支援策の充実が必要。

4 学生生活 (P58~P90)

- ① 学生の悩みの二大テーマは、学業・研究36%と進路・就職29%で、8年前の第5回調査から継続した傾向。
- ② 対人関係の悩みも19%であり、その相手は友人が53%と最も高く、次いで教員の16%。教員との悩みは学部4年次以上で2~3割と高く、教員と接する機会が増える時期に上昇。
- ③ 今回の新規調査項目である学生同士の交流は、「たまにある」12%、「ほとんど

ない」5%で、合わせて17%の者は交流が乏しい傾向にあり、その割合は学年や研究科によっては、2～3割を占める。交流不足をどのように解消するかが課題。

- ④ 学生相談室の認知度は、知っている者が62%、カウンセラーは66%、ハラスメント相談室は35%であり、高い認知度とは言い難く、周知方法に工夫が必要。
- ⑤ 飲み会・コンパなどでの不快・危険な経験（飲酒強要、一気飲み強要、暴言・暴力、セクハラ等）は8割が無回答であり、実態の把握が難しい問題ではあるが、数%から10%台の経験項目があり、引き続き飲酒の危険度やハラスメント防止の啓発活動が必要。
- ⑥ セクハラを受けた経験について、「はい」、「いいえ」、「わからない」の3件法で質問したところ、「はい」と答えた割合は2.8%で前回調査から0.5ポイント減の改善傾向。特に女性は、2.9ポイント減の4.6%と改善しており、継続して啓発活動を行うことが重要。
- ⑦ キャンパス内マナーの満足度は、満足とやや満足の合計が75%と比較的高い。不満と答えた者の自由記述では、自転車の止め方や駐輪場不足、タバコの吸い方や喫煙場所、ゴミの処理が多いが、教職員と学生が一体となった取り組みが必要。
- ⑧ 生協食堂等の利用状況を地区別に「よく利用する」割合をみると、生協食堂は、府中地区52%と、小金井地区43%、エリプスは小金井地区20%と食堂の利用は比較的低い。喫茶室は両地区とも2%とほとんど利用されていない。また、売店は府中地区67%、小金井地区31.4%と両地区の差が大きい。いずれの施設も利用度は低く、自由記述の学生の声等を参考にサービス内容の工夫、改善が必要。
- ⑨ キャンパスの施設・設備環境改善希望は、「PC環境（無線LAN等を含む）」が20%であるが、主にはLAN環境で大学全体でつながりやすくしてほしいとの要望が多く、インターネット環境の整備が必要。

5 進路（就職・進学）（P91～P96）

- ① 進路を考える上での情報入手手段は、前回調査と同様に、インターネットと先輩・知人がどちらも約25%と多く、大学経由の情報収集（教員17%、大学内資料10%）は高くない。
- ② 希望する就職支援は、前回調査と同様の傾向で、会社説明会の充実を望む声が約30%と最も多く、前回調査の40%から減少。次いで、就職情報コーナー（約20%）やインターンシップの充実（約18%）を望む声が多い。
- ③ 今回の新規調査項目であるインターンシップの経験は、1割程度が経験しており、満足度は9割以上。インターンシップを含めて就職支援の在り方が課題。

第 I 章 基本的事項

1～3. 調査対象人数と回収率

対象学生 5,638 人に対して、4,394 人からの回答を得た。回収率は、全体で 77.9%であり、平成 6 年度に実施した第 1 回の調査から始まり着実に増加していることから、本調査が本学の有効な評価の一つとして定着していることがわかる。性別では、男子生徒が 75.9%(3,137 件)、女子生徒が 83.5%(1,257 件)であった。

学部生の回収率は 83.0%(3,205 件)であり、大学院生の 66.9%(1,189 件)に比べて高かった。これは博士後期課程の回収率が低いことが一因であるが、博士後期課程は社会人学生が多いことが影響しており、一般の学生の生活調査としては十分に実態を反映しているものと考えられる。学部別では、農学部が 81.5%(81.5 件)、工学部が 83.9%(2,066 件)とほぼ同等であり、本学全体の実態を反映しているものと考えられる。

学部学科等	対象学生数 (人)			回収数 (人)			回収率 (%)		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
《学部計》	3,860	2,782	1,078	3,205	2,251	954	83.0	80.9	88.5
農学部	1,397	779	618	1,139	608	531	81.5	78.0	85.9
工学部	2,463	2,003	460	2,066	1,643	423	83.9	82.0	92.0
《大学院計》	1,778	1,350	428	1,189	886	303	66.9	65.6	70.8
(農学府計)	375	232	143	244	144	100	65.1	62.1	69.9
農学府修士課程	375	232	143	244	144	100	65.1	62.1	69.9
(工学府計)	1,005	848	157	675	562	113	67.2	66.3	72.0
工学府博士前期課程	818	686	132	577	480	97	70.5	70.0	73.5
工学府博士後期課程	187	162	25	99	82	17	52.9	50.6	68.0
連合農学研究科博士課程 (対象学生は、本学配置学生)	129	77	52	69	40	29	53.5	51.9	55.8
(BASE)	234	175	59	180	131	49	76.9	74.9	83.1
BASE 博士前期課程	146	105	41	140	99	41	95.9	94.3	100.0
BASE 博士後期課程	88	70	18	40	32	8	45.5	45.7	44.4
技術経営研究科専門職学位課程	3	3	0	1	1	0	33.3	33.3	0.0
連合獣医学研究科博士課程 (対象学生は、本学配置学生)	32	15	17	20	9	11	62.5	60.0	64.7
総計 (人)	5,638	4,132	1,506	4,394	3,137	1,257	77.9	75.9	83.5

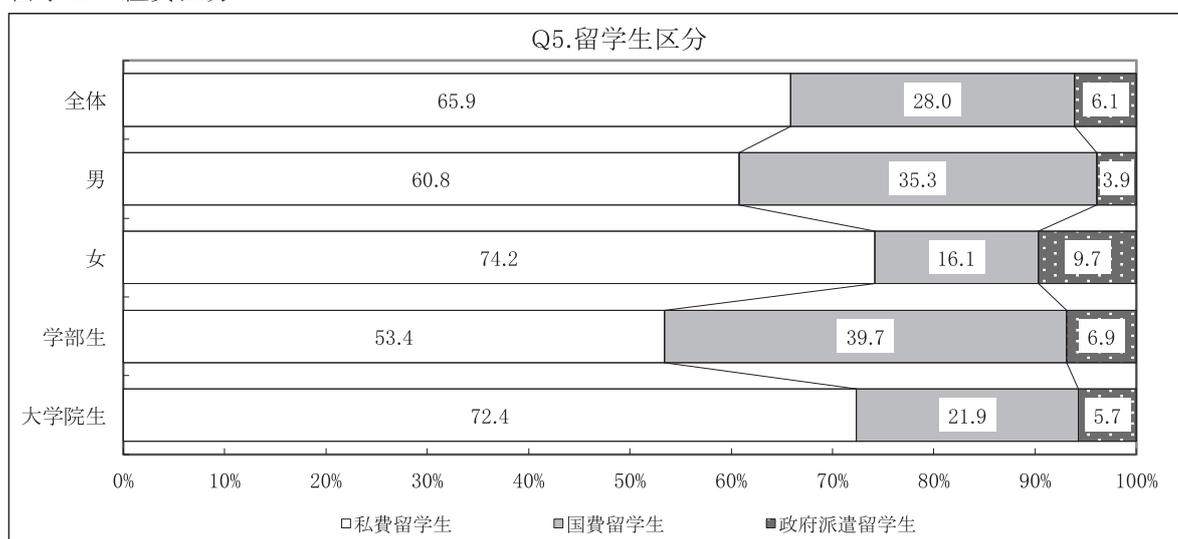
調査	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
回収率 (%)	26.3	24.4	21.1	49.8	63.7	53.3	77.9

4～5. 留学生及びその経費区分

回答数に占める留学生の割合は3.8%であり、留学生の回収率は60.5%であった。留学生の経費区分内訳は私費留学生在が65.9%を占め、国費留学生在が28.0%、政府派遣留学生在が6.1%である。私費留学生在が占める割合は年を追うごとに増加する傾向にある。特に私費留学生在が占める割合は学部生が53.4%であるのに対し大学院生は72.4%であり、今後大学院の充実を図る上で配慮すべき重要な点となる。

	在籍学生数			回収数		
	全体	留学生	割合	全体	留学生	割合
全体	5638	276	4.9%	4394	167	3.8%
男	4132	170	4.1%	3137	102	3.3%
女	1506	106	7.0%	1257	65	5.2%
学部生	3860	57	1.5%	3205	61	1.9%
大学院生	1778	219	12.3%	1189	105	8.8%

留学生の経費区分



調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
私費留学生の割合 (%)				50.4	57.8		65.9

第Ⅱ章 経済的状況

6. 1ヶ月の平均収入

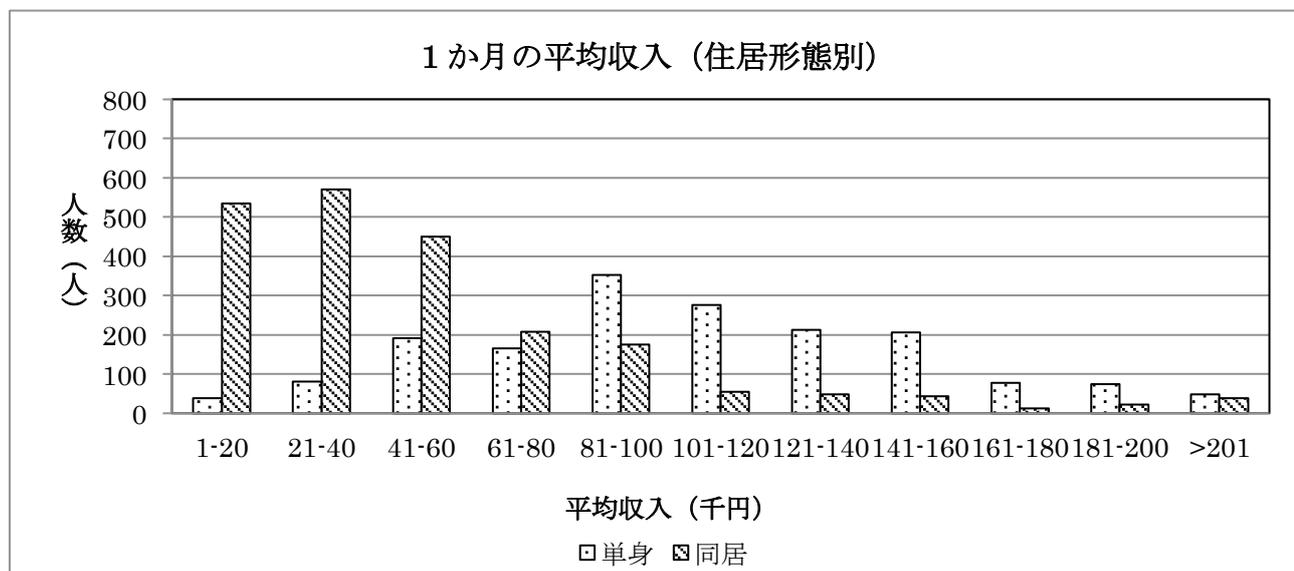
全体で集計した平均収入は83.5千円であり、この額は過去数年で顕著な減少が見られる。学年別の平均収入は学部が73.7千円、修士が98.2千円、博士が158.8千円となり、学年と共に増加する傾向が見られる。その内訳は家庭からの収入については大差が無く、高学年になるに従って奨学金及びTA・RA費が重要な収入源となっていることがわかる。大学院を重点化するためには奨学金及びTA・RA経費を充実させることが重要であり、逆に言えば十分な収入が保証されなければ大学院への進学は困難になると考えられる。また、学業継続困難と感じた者及び留学生は奨学金が収入に占める割合が大きく、奨学金の充実は留学生確保、学生支援いずれの点でも重要な施策と位置付けることができる。アルバイト収入が占める割合は高学年になるに従い減少しているが、私費留学生及び学業継続困難と感じた者は、アルバイトが収入に占める割合が大きい。なお、学業継続を困難と感じている学生の平均収入は全体と比較して特段低いわけではない。また、平均収入の分布は単身者と同居者では大きく異なり、単身で生活するためには十分な収入が保証されていることが必須となる。従って、留学生をも含めて近隣の地域以外からの学生を増やすためには、この点を考慮したサポート体制が重要になるものと考えられる。

その他の収入（自由記述）では、給与が20件（いずれも博士課程）、日本学術振興会が15件（いずれも博士課程）、貯金の取り崩しが14件（学部6件、修士5件、博士3件）あり、他機関からのTA・RA、配偶者の給与などが若干名あった。

区分 / (千円)	平均収入	家庭	奨学金	TA・RA	アルバイト	その他
全体	83.5	34.3	21.1	2.0	22.7	3.5
学部	73.7	33.7	13.9	0.4	24.4	1.4
修士	98.2	38.2	36.7	3.6	19.3	0.5
博士	158.8	27	56.2	16.9	12.5	46.3
男	85.6	36.4	21.5	2.1	22.2	3.3
女	78.7	29.2	20.2	1.6	23.8	3.8
留学生	134.4	11.1	80.2	10.7	28.3	4.2
私費留学生	130.6	16.1	50.8	15.4	42.1	6.3
国費留学生	140.0	1.2	137.0	0.0	1.2	0.0
政府派遣留学生	153.7	1.1	144.0	8.3	0.0	0.0
学業継続困難者	99.6	22.1	44.0	3.5	25.8	4.2

区分 / (%)	家庭	奨学金	TA・RA	アルバイト	その他
全体	41.0	25.2	2.4	27.2	4.2
学部	45.7	18.8	0.5	33.1	1.9
修士	38.9	37.3	3.7	19.6	0.5
博士	17.0	35.4	10.6	7.9	29.1
男	42.6	25.1	2.5	26.0	3.9
女	37.2	25.7	2.0	30.3	4.8
留学生	8.3	59.6	8.0	21.0	3.1
私費留学生	12.3	38.9	11.8	32.2	4.8
国費留学生	0.8	98.3	0.0	0.9	0.0
政府派遣留学生	0.7	93.9	5.4	0.0	0.0
学業継続困難者	22.2	44.2	3.5	25.9	4.2

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
平均収入(千円)	97.1	88.3	152.8	84.8	153.8	99.8	83.5



7. 1ヶ月の平均支出

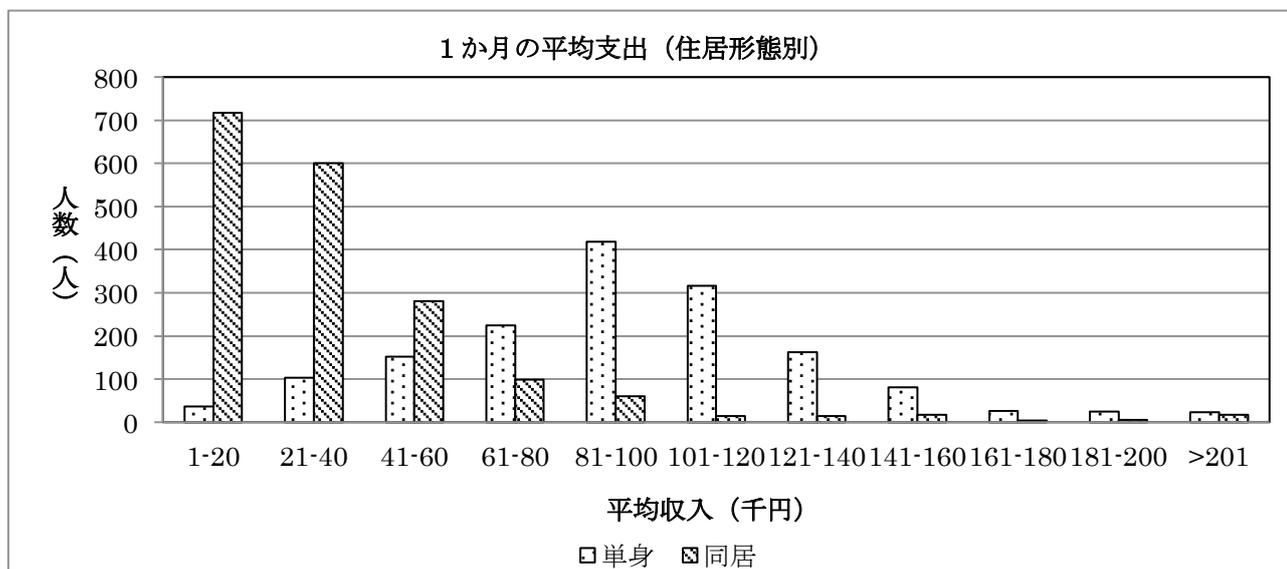
全体の平均支出は66.2千円であり、収入の減少傾向と並行し、ここ数年で顕著に減少している。学年別の平均支出額は学部が58.0千円、修士が80.4千円、博士が120.8千円であり、学年とともに増加しているが、支出内訳の比率では大きな差異は見られない。すなわち学年が上がるにつれて研究・勉学・書籍費が大幅に増大するわけではなく、いずれの学生もエンゲル係数の大きな生活を余儀なくされていると考えられる。なお、過去数年の支出内訳を比較した結果では、いずれの項目も全体的に減少していた。また、学業継続を困難と感じている学生の平均支出が全体と比較して特段低いわけではない。支出額の分布が単身生活者と同居生活者で大きく異なるのも収入の分布と同様である。

その他の支出（自由記述）は、厳密に分類するのは困難ではあるが、趣味・交遊費（749件、平均額19,591円）及び日常生活の雑費（141件、平均額19,806円）が大部分を占めた。この他、注目すべき項目はクラブ・サークル費（102件）であり、その平均額は15,830円であった。また女子では服飾費との記述も多く（62件）、平均17,710円を支出している。これらの他には交通費（41件、平均額10,736円）、通信費（32件、平均額11,625円）などが挙げられている。また、授業料のための貯金との回答もあった（11件、平均額52,400円）。

区分 / (千円)	平均支出	住居費	食費	光熱水費	研究・勉学・書籍費	通学費	その他
全体	66.2	22.4	20.8	6.1	5.2	3.2	8.3
学部	58.0	19.4	18.3	4.9	4.6	2.8	8.1
修士	80.4	28.6	25.5	8.4	5.7	4.2	8.0
博士	120.8	39.6	36.6	13.2	12.7	5.5	13.4
男	67.9	23.4	22.3	6.2	5.1	3.1	7.8
女	61.9	20.2	17.1	5.8	5.5	3.7	9.7
留学生	102.3	37.2	32.3	13.1	7.3	4.5	7.9
私費留学生	98.8	36.0	29.3	12.4	8.3	6.0	6.9
国費留学生	109.9	39.4	37.9	14.7	5.6	1.0	11.2
政府派遣留学生	105.4	39.4	40.0	12.8	4.0	4.8	4.4
学業継続困難者	79.7	26.4	23.9	8.7	8.0	4.6	8.3

区分 / (%)	住居費	食費	光熱水費	研究・勉学・書籍費	通学費	その他
全体	33.9	31.5	9.2	7.9	4.8	12.6
学部	33.4	31.5	8.4	7.9	4.8	13.9
修士	35.6	31.7	10.4	7.1	5.2	10.0
博士	32.7	30.2	10.9	10.5	5.5	11.1
男	34.5	32.8	9.1	7.5	4.6	11.5
女	32.6	27.6	9.4	8.9	6.0	15.6
留学生	36.4	31.6	12.8	7.1	4.4	7.7
私費留学生	36.4	29.6	12.5	8.4	6.1	7.0
国費留学生	35.9	34.5	13.4	5.1	0.9	10.2
政府派遣留学生	37.4	37.9	12.1	3.8	4.5	4.2
学業継続困難者	33.0	29.9	10.9	10.0	5.8	10.4

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
平均支出(千円)	92.3	83.5	122.9	73.5	94.8	78.3	76.4



8. 授業料の主たる支払い者

授業料の主たる支払者は父母のいずれかとなる場合が大部分であるが、学年が高くなるとともにその割合は減り、本人が支払う割合が増大する。また、学業継続困難と感じている者についても本人が支払う率が高い。なお男女別では大きな差は認められなかった。ここ数年間で比較すると本人が支払う率は低下傾向にあり、特に博士課程でその傾向が著しい。なお、留学生と日本人学生で比較すると、留学生は明らかに父母が支払う率が低く、本人が授業料を支払う傾向が高い。また、配偶者による支払いは日本人学生ではほとんど見られないが、留学生では若干見られる。学年が高くなるとともに本人が支払う率が増大するのは、留学生・日本人いずれでも同様な傾向である。

その他の自由記述欄では、奨学金あるいは国による支払いが 28 件、授業料免除が 16 件、会社からの支援による支払いが 2 件あった。

区分 / (%)	父	母	配偶者	本人	兄弟姉妹	祖父母	知人	その他
全体	79.0	7.9	0.3	10.0	0.2	0.7	0.1	1.9
学部	83.1	8.3	0.2	6.0	0.2	0.8	0.1	1.4
修士	75.6	7.3	0.4	13.6	0.1	0.6	0.2	2.1
博士	50.7	5.3	0.8	37.4	0.3	0.6	0.0	5.0
男	79.6	7.3	0.2	10.1	0.2	0.6	0.1	1.8
女	77.5	9.0	0.5	9.8	0.2	1.0	0.2	1.9
学業継続困難と感じた者	50.9	12.6	0.8	30.2	0.4	1.3	0.1	3.8

本人が支払う率 (%)	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
全体	12	6.9	8.9	9.8	13.5	10.3	10.0
学部		4.2	5.4	6.1	6.6	5.3	6.0
修士		15.2	21.8	19.2	15.5	18.5	13.6
博士					51.6	46.1	37.4

区分	／ (%)	父	母	配偶者	本人	兄弟姉妹	祖父母	知人	その他
日本人	学部	83.7%	8.3%	0.1%	5.1%	0.2%	0.8%	0.1%	0.8%
	修士	77.9%	7.4%	0.0%	11.3%	0.1%	0.5%	0.1%	1.2%
	博士	33.3%	4.0%	0.0%	52.5%	0.0%	1.1%	0.6%	5.1%
留学生	学部	21.4%	3.6%	3.6%	30.4%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%
	修士	27.9%	3.3%	6.6%	49.2%	1.6%	0.0%	1.6%	6.6%
	博士	12.5%	0.0%	4.2%	60.4%	0.0%	0.0%	0.0%	22.9%

9. アルバイトの有無

アルバイトを行っている学生は全体では 55.9%であるが、学年により大きな差がある点が特徴である。一般的に学年が高くなるに従って減少する傾向が見られる。なお、過去数年間のアルバイト就業率を比較すると、長期的には減少の傾向であるが、近年では大きな変化は見られない。学業継続困難者がアルバイトを行っている割合は 56.4 %であるが、全体の平均値と比べて特別に高い値ではない。留学生のアルバイト就業率は私費留学生が 59.4%であるのに対して国費留学生が 8.9%、政府派遣留学生が 10.0%であり、大きな差異が認められる。これは国費留学生に対しては学外でのアルバイトが認められていないことを反映している。また、学部では日本人学生の方が高率であるのに対し、大学院では留学生の方が高率である。これはアルバイトの目的が低学年と高学年、あるいは日本人と留学生で異なることを反映しているものと考えられる。

区分 / (%)	アルバイト就業率 (%)
全体	55.9
学部	60.4
修士	47.2
博士	35.5
学部 1 年次	49.9
学部 2 年次	70.6
学部 3 年次	67.9
学部 4 年次以上	54.6
学部 獣医学科 5 年次	74.3
学部 獣医学科 6 年次以上	59.0
大学院修士 1 年次	51.1
大学院修士 2 年次以上	45.4
大学院博士 1 年次	21.1
大学院博士 2 年次	21.6
大学院博士 3 年次以上	23.9

区分 / (%)	アルバイト就業率 (%)
男	52.5
女	64.3
留学生	43.6
私費留学生	59.4
国費留学生	8.9
政府派遣留学生	10.0
学業継続困難者	56.4

調査	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
アルバイトをしている率 (%)	90	86.3	58.1	54.6	56.1	55.1	55.9

アルバイトをしている率 (%)	日本人	留学生
学部	60.5	44.6
修士	47.9	50.0
博士	18.6	31.3

10. アルバイトの時間

アルバイトに費やす時間（週当たり）は、全体で見ると5～10時間が最も多い。学年による大きな差異は見られないが、博士課程の学生はアルバイトに費やす時間が短い傾向がある。私費留学生と学業継続困難者は長時間のアルバイトに就業する割合が顕著に高く、学業への影響が懸念される。過去と比較しても、アルバイトに費やす時間の分布には大きな変化はない。

区分 / (%)	5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間以上
全体	21.2	32.9	19.7	17.7	8.4
学部	20.3	33.3	20.1	18.1	8.3
修士	22.9	32.5	19.0	17.4	8.3
博士	31.0	27.9	18.6	13.2	9.3
男	20.3	32.1	19.6	18.6	9.4
女	23.1	34.3	20.3	15.9	6.3
留学生	19.4	26.4	13.9	22.2	18.1
私費留学生	15.6	25.0	14.1	25.0	20.3
国費留学生	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
政府派遣留学生	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学業継続困難者	20.2	25.3	18.9	21.3	14.3

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
5時間未満 (*1)	(22.6)	(22.6)	27.3	25.4	22.4	21.8	21.2
5時間～10時間未満 (*2)	(44.7)	(44.4)	36.9	30.6	34.2	32.3	32.9
10時間～15時間未満	22.8	22.9	27.4	35.5	33.6	21.8	19.7
15時間～20時間未満						15.7	17.7
20時間以上	9.9	10.1	8.3	8.5	9.8	8.4	8.4

*1：第1,2回調査では4時間未満

*2：第1,2回調査では4時間～10時間未満

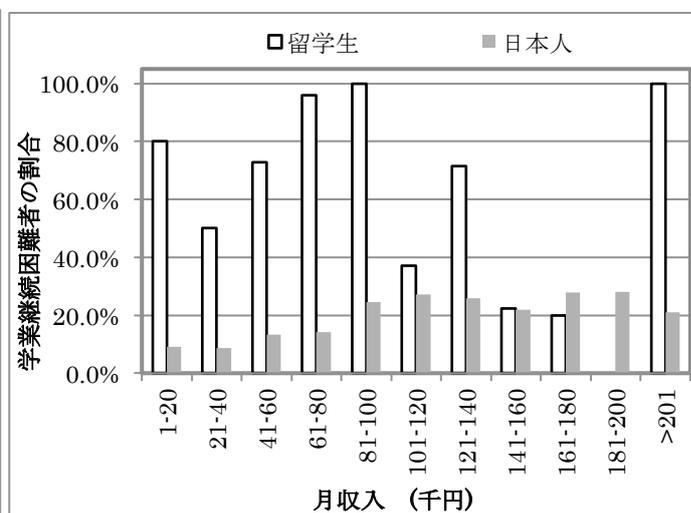
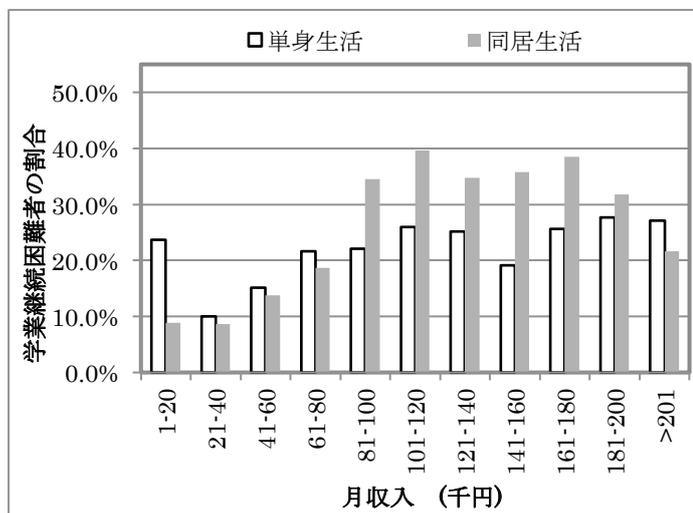
11. 経済的理由による学業継続困難の有無

全体として18.4%の学生が経済的理由から学業継続に困難を感じている。特に博士学生および留学生にその割合が多く、私費留学生ではその割合が80.4%に至る。学業継続困難者の割合は3年前と比較すると全体では微増であるが、修士～博士1年次の学年では明らかな増大が見られる。なお、全体的に学年が進行するとともに学業継続困難者の割合が着実に増大するが、留学生は傾向が異なり、全般的に高率である。また、収入との関連を見ると、留学生では収入が低い者が学業継続を困難と感じる傾向があるが、日本人では必ずしも収入が低い者のみが学業継続を困難と感じているわけではない。住居の生活形態では、学業継続困難者の割合は単身生活者に比較して同居生活者の方が若干高い傾向が見られたが、今後の調査では本人が主たる家計の支出者であるか否かを分類する必要がある。

学業継続困難者の割合 (%)	第6回	第7回
	H21	H24
全体	18.0	18.4
学部	16.3	14.9
修士	19.5	24.8
博士	38.5	34.4
学部 1年次	11.3	8.6
学部 2年次	14.2	13.1
学部 3年次	16.2	14.9
学部 4年次以上	22.7	20.6
学部 獣医学科 5年次	13.6	22.9
学部 獣医学科 6年次以上	18.8	26.3
大学院修士 1年次	19.9	26.6
大学院修士 2年次以上	18.0	23.8
大学院博士 1年次	30.3	44.7
大学院博士 2年次	48.8	33.8
大学院博士 3年次以上	44.4	43.9

学業継続困難者の割合 (%)	第6回	第7回
	H21	H24
男	17.9	18.0
女	18.4	19.3
留学生	52.2	58.8
私費留学生		80.4
国費留学生		15.9
政府派遣留学生		30.0

学業継続困難者の割合 (%)	日本人	留学生
学部	14.0%	43.6%
修士	21.2%	82.3%
博士	38.5%	44.7%



12. 経済的困難の解決策（複数回答可）

経済的困難の解決策としては奨学金が最も多く、次いでアルバイトが多い。学年が進行するに従い授業料免除、入学料免除、TA・RAなど、制度上の補助に依存する割合が増える傾向にある。特に留学生にとってはこれらの支援制度が大きな割合を占める点も特徴的である。3年前の調査と比較して全体として大きな差異は無いが、これらの支援制度が占める割合が若干増大しており、その充実は今後とも重要な施策と考えられる。

その他の自由記述欄では、友人・親戚からの借金やローンが3件、貯金が2件、節約との記述が4件あった。

区分 / (%)	授業料免除	入学料免除	本学のTA、RA	アルバイト	奨学金	家庭等からの援助	その他	未解決
全体	17.5	5.0	5.8	22.6	30.5	12.5	1.2	4.9
学部	15.5	2.0	0.9	27.2	33.0	14.2	0.9	6.3
修士	17.7	7.5	8.4	20.0	29.5	13.1	0.9	2.8
博士	23.1	9.3	15.6	13.7	24.9	6.9	2.2	4.4
男	17.4	5.2	5.6	22.9	30.2	12.4	1.3	5.0
女	18.0	4.3	6.3	22.3	31.0	12.3	1.0	4.9
留学生	29.7	7.6	10.3	19.4	18.3	9.9	1.5	3.4
私費留学生	30.8	7.7	10.5	19.8	17.4	9.7	1.6	2.4
国費留学生	8.3	8.3	8.3	16.7	25.0	8.3	0.0	25.0
政府派遣留学生	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

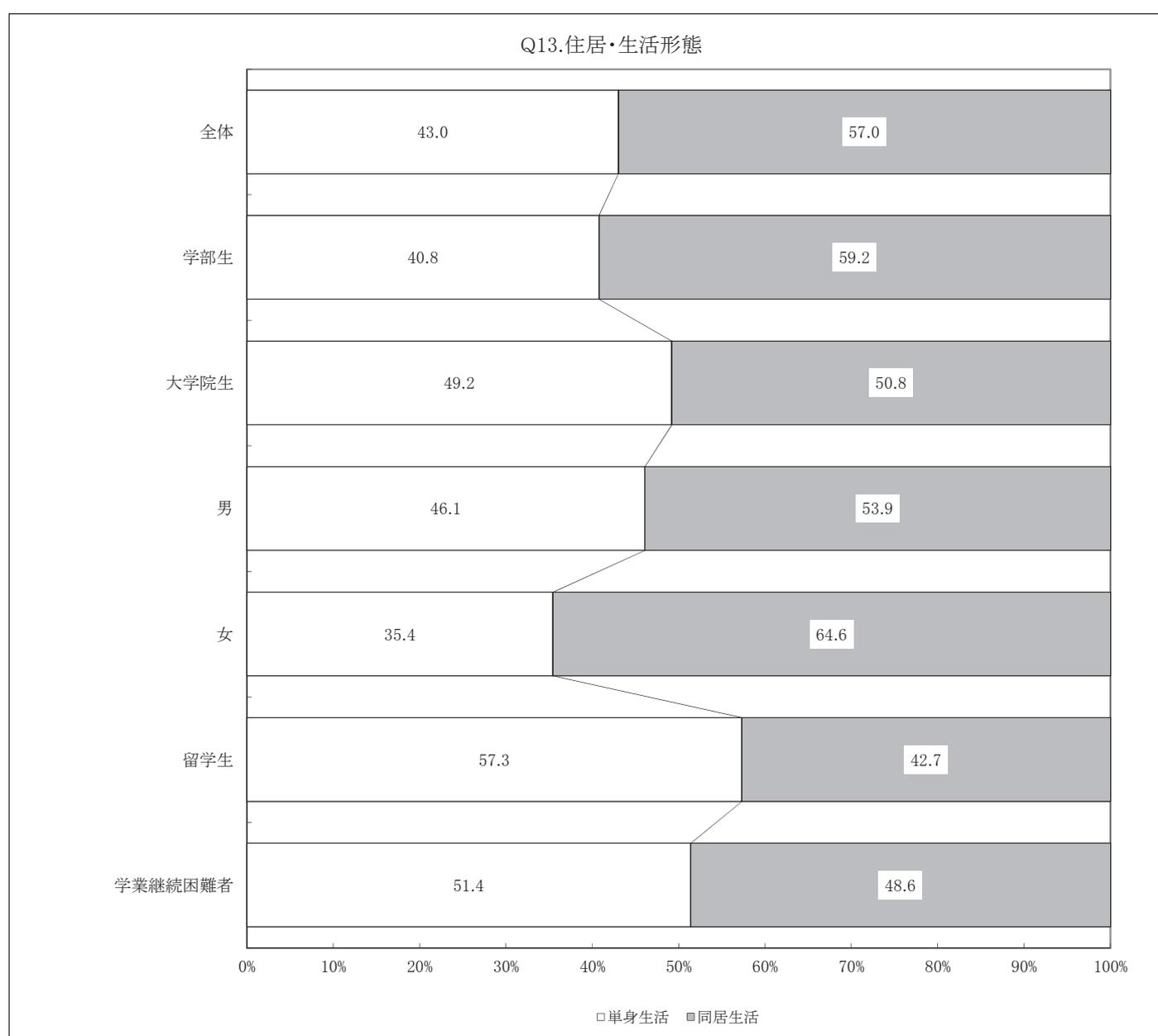
区分 / (%)	授業料免除	入学料免除	本学のTA、RA	アルバイト	奨学金	家庭等からの援助	その他	未解決
第6回(H21)全体	15.7	4.4	5.1	22.3	31.6	12.6	2.2	6.1
第7回(H24)全体	17.5	5.0	5.8	22.6	30.5	12.5	1.2	4.9

第三章 住居

13. 現在の住居・生活形態

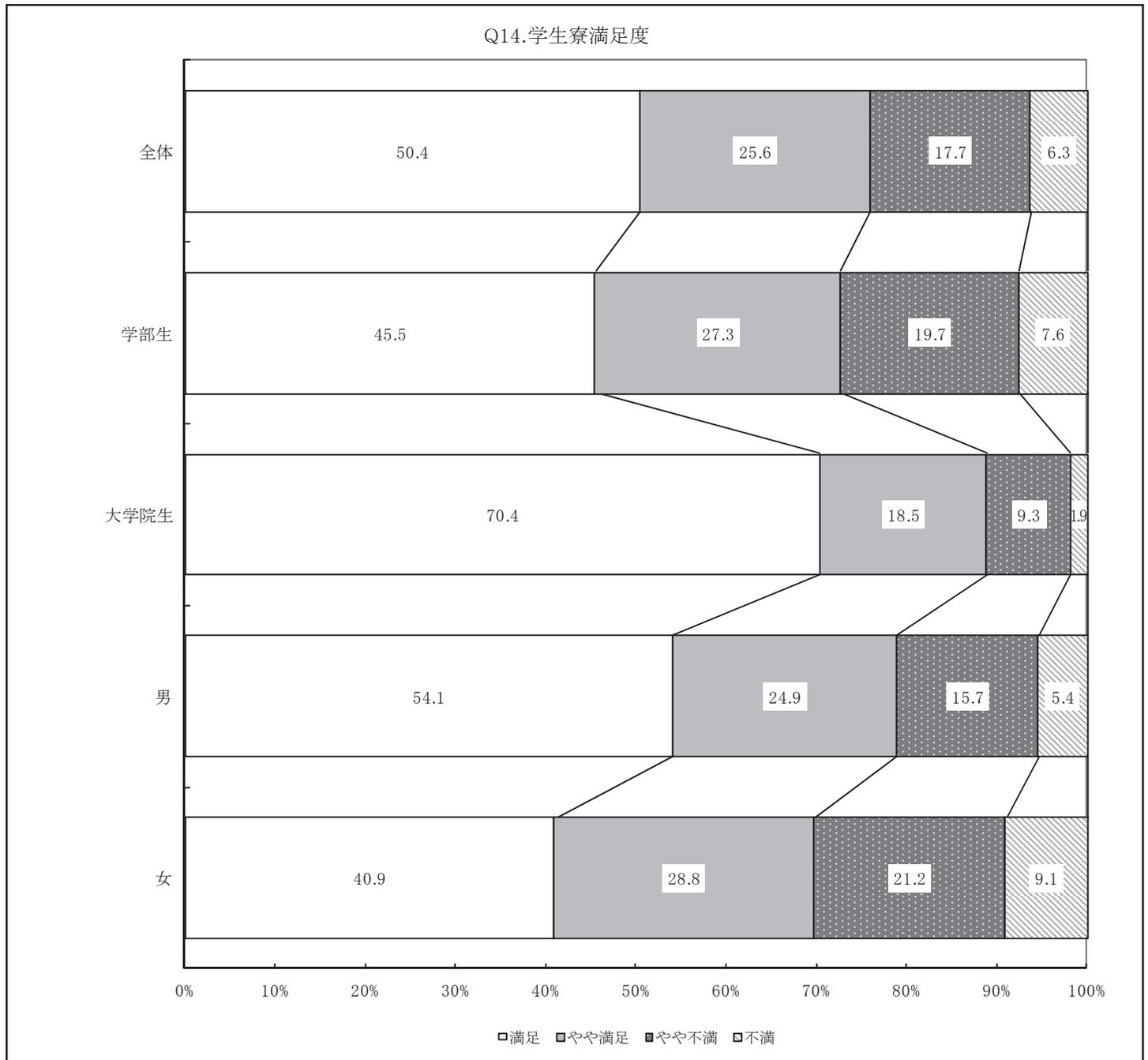
回答者全体 4,386 名中、1,887 名（43.0%）が単身で生活している。これまでの調査と比較して男子学生の単身生活者は 47.2%（第 4 回）→48.6%（第 5 回）→47.2%（第 6 回）→46.1%（今回）へ、女子学生は 40.6%→37.9%→39.2%→35.4%と変異しており、近年若干の減少が認められる。また、学年間での違いを見ると、学年が上がるにつれ単身生活者が増え、学部生は 40.8%、大学院生は 49.2%となっている。しかしこれも前回より（42.9%と 51.2%）減少していると考えられる。平均収入減少の影響により（設問 7 の調査結果）、単身生活者の割合が減少していると思われる。

留学生の単身生活割合は 6 割近くであるが、逆に 4 割は共同生活を行っている。また、学業継続困難と感じた者の単身生活割合が 5 割を超えている。



14. 学生寮の満足度

全体に満足度は高く、「満足」「やや満足」を含めると全体で76.0%となった。男子で特に高く（男子79.0%、女子69.7%）、男子寮の改修（平成22年3月に完成）により高い満足度が得られていると考えられる。



15. 学生寮への入居希望

1,129名が学生寮の入居を希望していた。これは全体の約25%程度と思われ、前回の12.7%を大きく上回っていると考えられる。学生寮の環境が改善されたこと、そして家計支出の減少に対応したいという希望が合わさっているものと考えられる。また経済的理由から学業継続困難と感じたことのある学生ではその34.0%が希望しており前回の25.7%から大幅に増加していると考えられる。留学生は入寮ができないものの、多くの希望者がいることがわかる。

希望する住居タイプは個室タイプが圧倒的に多かった。学業継続困難を感じたことのある者が個室を希望する割合が低いことは、住居タイプを選択する余裕がないという状態であることを反映しているとも考えられる。

	合計	シェアタイプ (共同キッチン等)	個室タイプ
全体	1129	116	1013
学部生	762	68	694
大学院生	362	47	315
男	777	79	698
女	346	36	310
留学生	78	15	63
学業継続困難者	273	35	238

学生寮への入寮を希望しない理由として、ほとんどが単身生活の住居に満足しているからと理由を挙げている。また、3.5%の学生が、集団生活が苦手であるという理由を挙げている。

Q15.B: <本学学生寮に入寮していない方>に伺います。本学学生寮への入居を希望しますか。/B<入居を希望しない場合の理由> (SA)

	回答数	%
全体	4424	100.0
1 自宅だから	1770	40.0
2 単身生活の住居に満足しているから	1110	25.1
3 集団生活が苦手	155	3.5
4 その他	109	2.5
無回答	1280	28.9

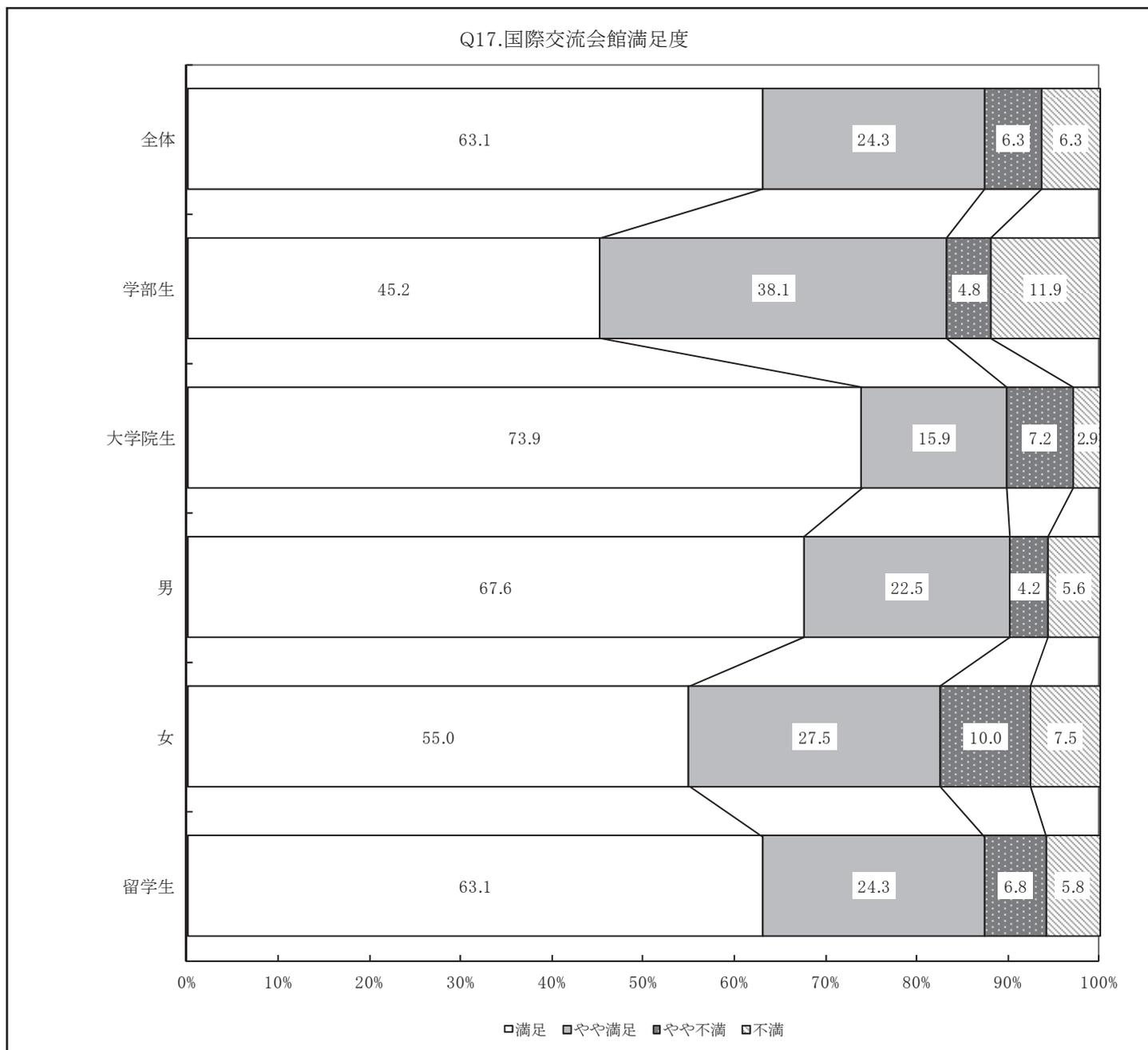
16. 国際交流会館への入居希望

国際交流会館への入居希望は57.2%におよび、高い割合を示しているものの、前回の約75%という値からは減少している。118名の留学生が入居を希望しており、5名は日本人学生が希望しているということになる。

	合計	希望する	希望しない
全体	215	123	92
男	138	76	62
女	76	46	30

17. 国際交流会館への満足度

国際交流会館に入居しているまたは入居したことのある留学生は、全体の85%近くが「満足」「やや満足」との評価をしている。これは前回とほぼ同様の数字である。



第IV章 通学

18. 主な通学手段・方法

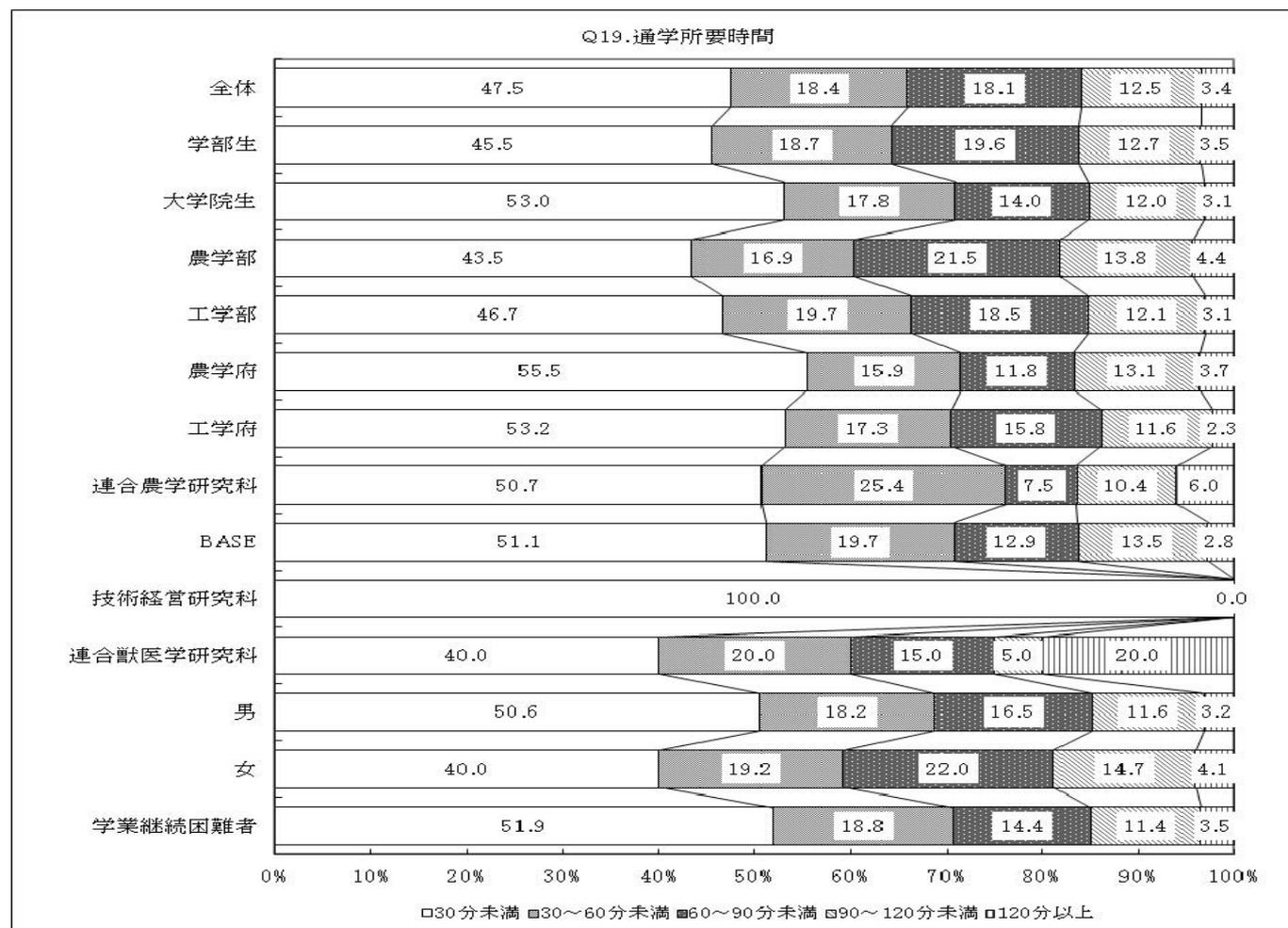
学生の主な通学手段・方法は、全体で「徒歩」「自転車」「公共交通機関」の割合は前回とほとんど変わっていない。オートバイは4.1%→2.1%→1.4%と回を追うごとに下がっており、バイク離れの傾向が目立つ。小金井キャンパスでは徒歩の割合が府中キャンパスより高く、自転車の割合は逆になっており、4割を超える学生が府中キャンパスでは自転車を利用している。

Q18:主な通学手段・方法は、何ですか。(SA)

		回答数	%
全体		4424	100.0
1	徒歩	407	9.2
2	自転車	1614	36.5
3	オートバイ	61	1.4
4	自動車	193	4.4
5	公的交通機関(電車、バスなど)	2113	47.8
	無回答	36	0.8

19. 通学所要時間

通学の片道所要時間は30分未満が50.2%→49.9%→47.5%と減少傾向に、30～60分未満が16.3%→17.3%→18.4%と増加傾向にあるが、1時間未満で通学している学生は66.5%→67.2%→65.9%とさほどの変化は認められない。女子学生が男子学生と比較して遠距離通勤をしており、2時間を超える女子学生が4.1%→2.4%→4.1%とまた増加している。



第V章 学業、学習環境

20. 本学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び大学憲章の周知状況（複数回答可）

この質問は、今回より加えられたものである。図 20-1 に示されるように、三つのポリシーや大学憲章は、まだ十分に周知されているとは言えない。これを学年別にみると、低学年ほど理解していると言える。ただし、これらを最も理解しているのは、留学生と博士課程の学生であり、彼らの教育目標に対する関心の高さを示している。

これを部局別にみると、図 20-2 に示されるように、農学部の学生の方が、工学部の学生に比べて、周知度が高い。特に顕著なことは、連農において、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの周知度が 40%を超えていることである。

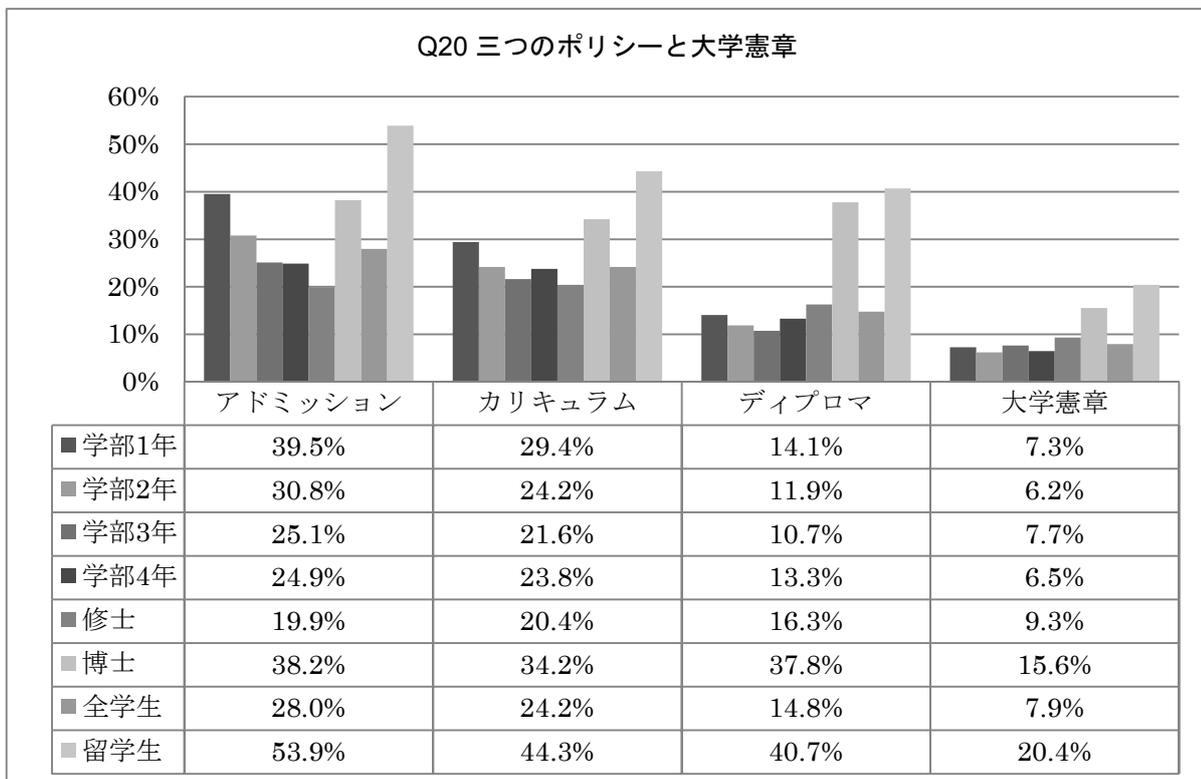
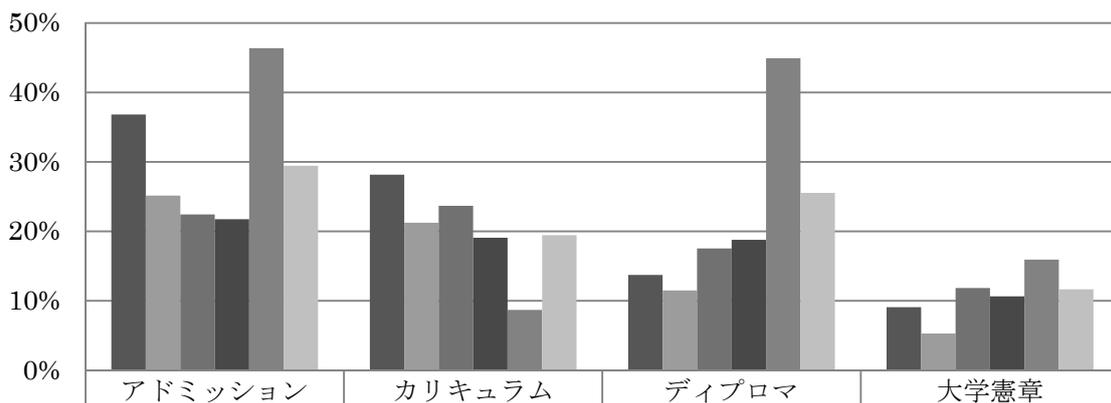


図 20-1

Q20 部局別



	アドミッション	カリキュラム	ディプロマ	大学憲章
■ 農学部	36.8%	28.2%	13.7%	9.1%
■ 工学部	25.1%	21.2%	11.5%	5.3%
■ 農学府	22.4%	23.7%	17.6%	11.8%
■ 工学府	21.7%	19.1%	18.8%	10.7%
■ 連農	46.4%	8.7%	44.9%	15.9%
■ BASE	29.4%	19.4%	25.6%	11.7%

図 20-2

2 1. 三つのポリシーや大学憲章の情報入手方法（複数回答可）

図 21-1 に示されるように、学生が、三つのポリシーや大学憲章について情報を得るのは、主に募集要項を通じてであり、本学 HP がこれに続く。今後の課題として、HP の積極的な活用や入学後のオリエンテーションの充実が望まれるところである。なお、カリキュラム・ポリシーやディプロマ・ポリシーに関しては、オリエンテーションの効果が高いことが分かる。

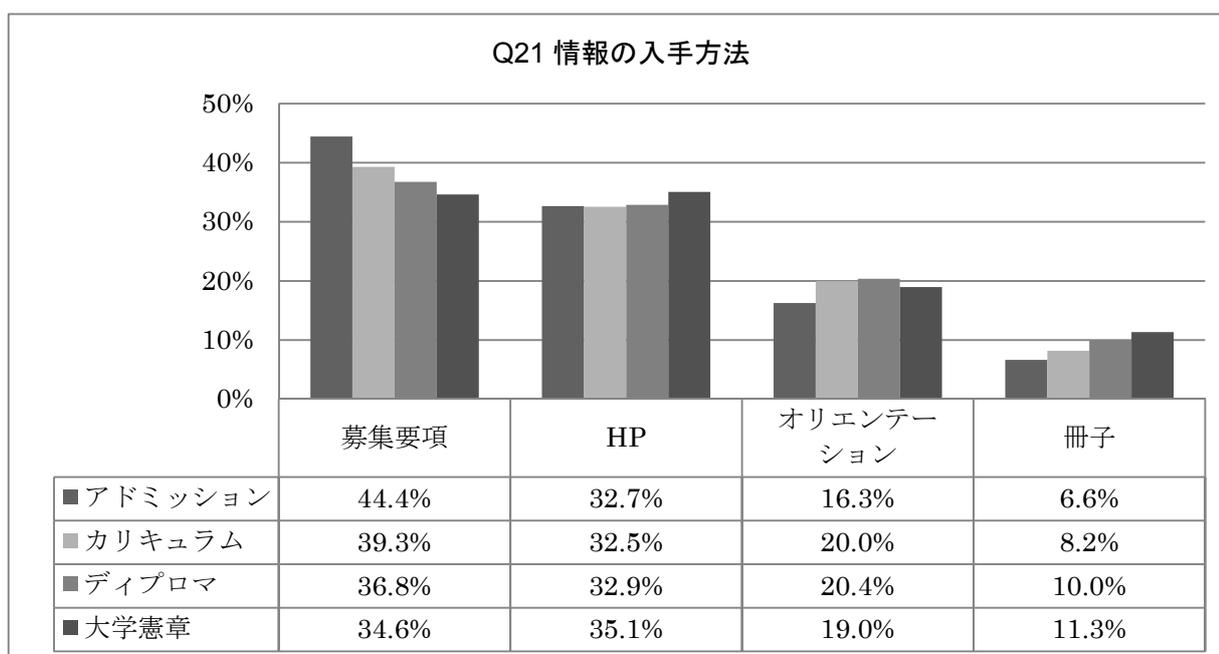


図 21-1

2.2. 本学満足度

表 22-1 にあるように、大学に対する満足度は、「満足」と「ほぼ満足」で 89.7%であり、前回の 87.6%とほとんど変わらない。近年、満足度が非常に高くなっていることが特徴である。特に、留学生の満足度は 96.8%となっている。

男女別では女性の満足度が高いこと、学部大学院の別では大学院生の満足度が高いこと、そして、部局別では農学部の方が工学部よりも満足度が高いことも、これまでと同様である。なお、前回から加わった学業継続困難者の満足度は 85.6%であり、前回の 81.9%より上昇している。

自由記述を拾うと、「授業方法」・「カリキュラム配置」・「設備」・「就職支援」「文系科目の少なさ」に対する不満が目立つ。ただし、専門分野が自分の興味に合っていないことについては、入学段階でのミスマッチも考えられる。

これを学年別に見ると、図 22-1 にあるように、「満足」の割合は、初年次と学部 4 年次以降で高く、学部 2・3 年次で低下している。大学院生は、「満足」の割合が高く、研究指導体制が充実していると言える。また、部局別にみると、図 22-2 にあるように、連農の学生の満足度が高い。

表 22-1

調査	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回
年度	H12	H15	H17	H21	H24
全体	78.6%	79.9%	79.1%	87.6%	89.7%
男	75.8%	77.9%	76.2%	86.2%	88.7%
女	82.3%	84.1%	87.5%	91.4%	91.8%
学部		76.7%	76.8%	85.7%	88.6%
大学院	81.7%	87.4%	85.2%	92.2%	92.4%
農学部	81.4%	83.6%	84.3%	88.6%	89.6%
工学部	68.4%	72.1%	73.9%	84.5%	88.0%
学業困難者				81.9%	85.6%
留学生				92.8%	96.8%

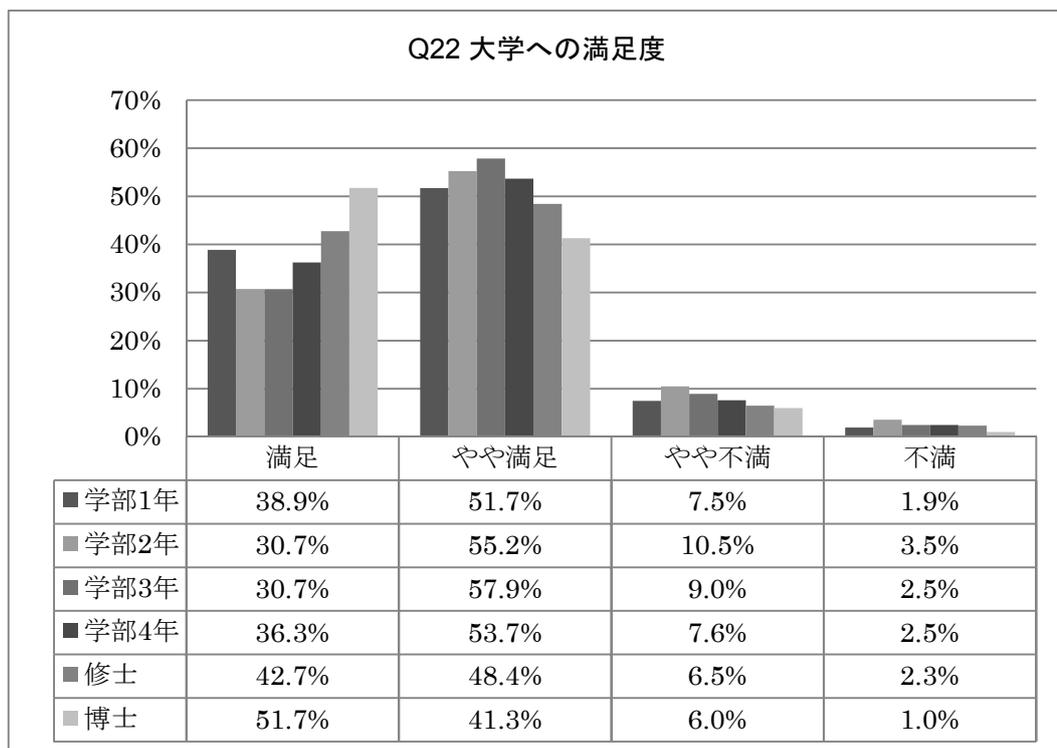


図 22-1

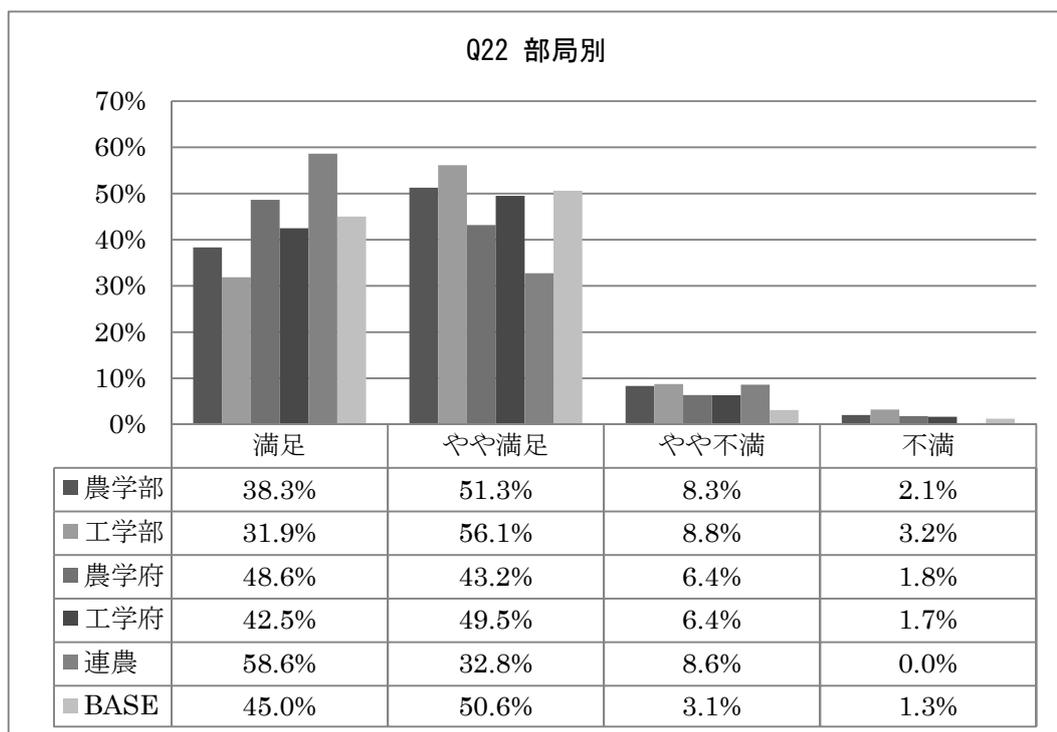


図 22—2

23. カリキュラム満足度

表 23-1 に示すように、全体では、「満足」＋「やや満足」が 83.4%で、前回の 79.0%よりも上昇している。また、10 年前には、50%程度であったことと比較して、満足度の割合が極めて高い。これについては、平成 16 年以降、大学教育センター・全学共通教育機構等の設立、2 度のカリキュラム改革によって、カリキュラムや教育改善に対する学内の意識が高まってきたことがあげられる。

大学院生の満足度(87.2%)が学部生(82.0%)よりも高いことは、前回と同様であるが、男女別の満足度については、男子学生が 83.7%、女子学生が 82.9%となり、前回と逆転している。留学生の満足度は依然として高いが、前回より 5%程度の減少である。

部局別の満足度は、農学部が 77.0%、工学部が 84.9%、農学府が 80.9%、工学府が 89.8%であり、工学部・工学府が農学部・農学府より高いことも、前回と同様である。大学への満足度とカリキュラムへの満足度は、農と工が逆転している。

自由記述では、必修科目が多く選択の余地が狭いことや、時間割や科目配置に対する不満が記載されている。

図 23-1 に示されるように、学年別の満足度は、学部よりも大学院で高くなり、博士課程で最も高い。学部 2 年次・3 年次に「満足」の割合が下がっており、卒業研究前のカリキュラムに工夫が求められるところである。

図 23-2 に特徴的なことは、「やや不満」とする割合が、農学部で 2 割近く、農学府で 15%以上あることである。農学部は、大学への満足度が高いことを考えれば、カリキュラムについては、改善が求められると言えよう。

表 23-1

調査	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回
年度	H12	H15	H17	H21	H24
全体	41.5%	52.8%	55.4%	79.0%	83.4%
男		50.5%	53.3%	78.3%	83.7%
女		57.7%	61.6%	81.3%	82.9%
学部		50.4%	53.6%	77.9%	77.0%
農学部	39.2%	52.4%	48.6%	71.6%	77.0%
工学部	41.2%	49.2%	55.5%	80.7%	84.9%
大学院	47.9%	58.6%	60.1%	82.0%	87.2%
農学府				79.6%	80.9%
工学府				82.5%	89.8%
連農				80.0%	89.8%
BASE				85.1%	84.6%
留学生				95.7%	90.9%

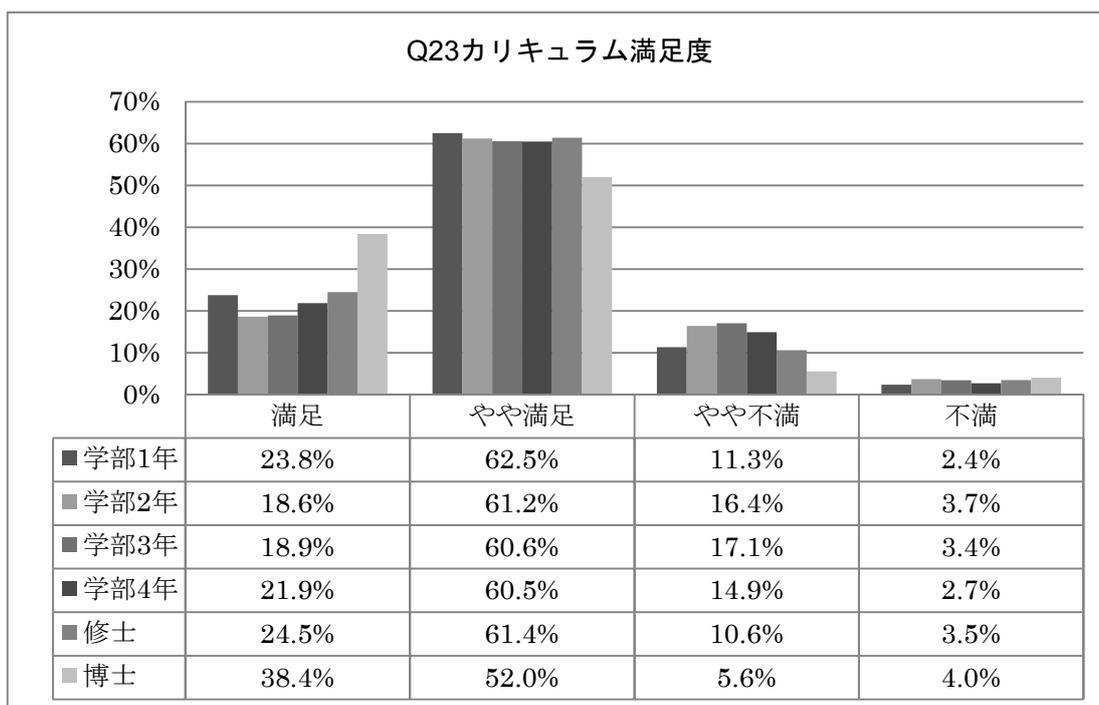


図 23-1

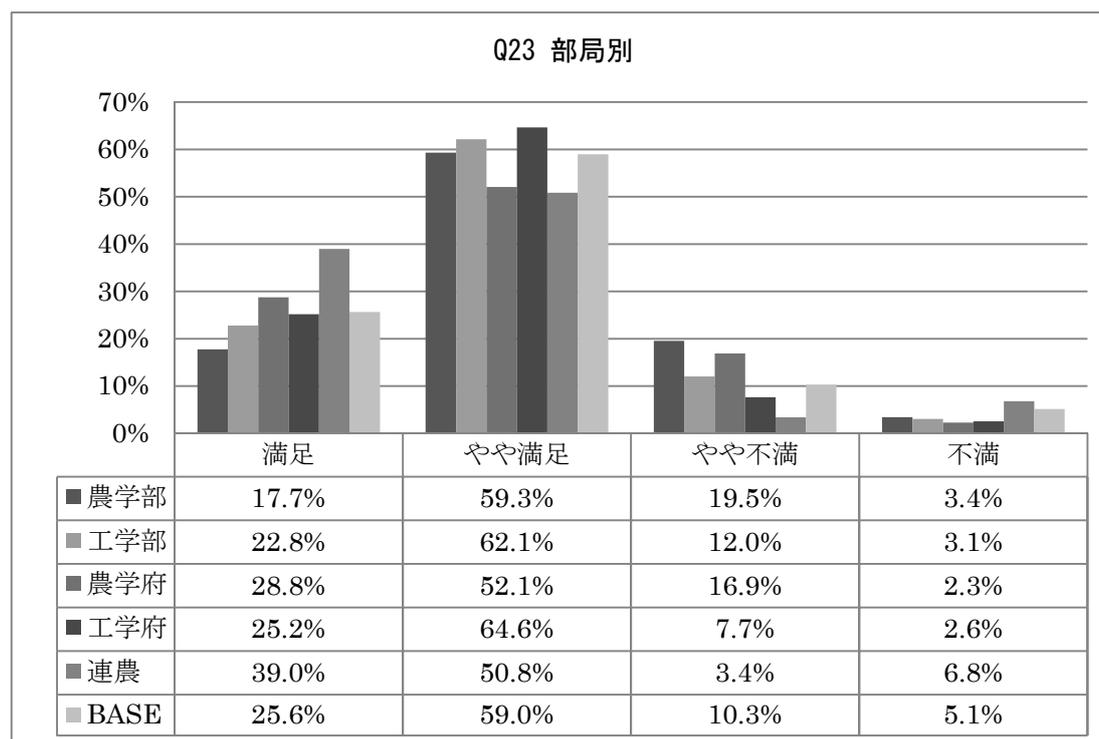


図 23-2

2.4. 教養科目（共通科目）を選択する際に重視した事柄（複数回答可）

図 24-1 に示されるように、学部生は、「時間割」や「科目の内容」、「学生同士の情報」で共通科目を選択する割合が高いが、学年が進むにつれて、「成績評価」を気にする割合が減少し、「担当教員」によって選択するようになる。

また、図 24-2 によれば、農学部の学生の方が、工学部学生よりも、科目を選択する理由を積極的にあげている。

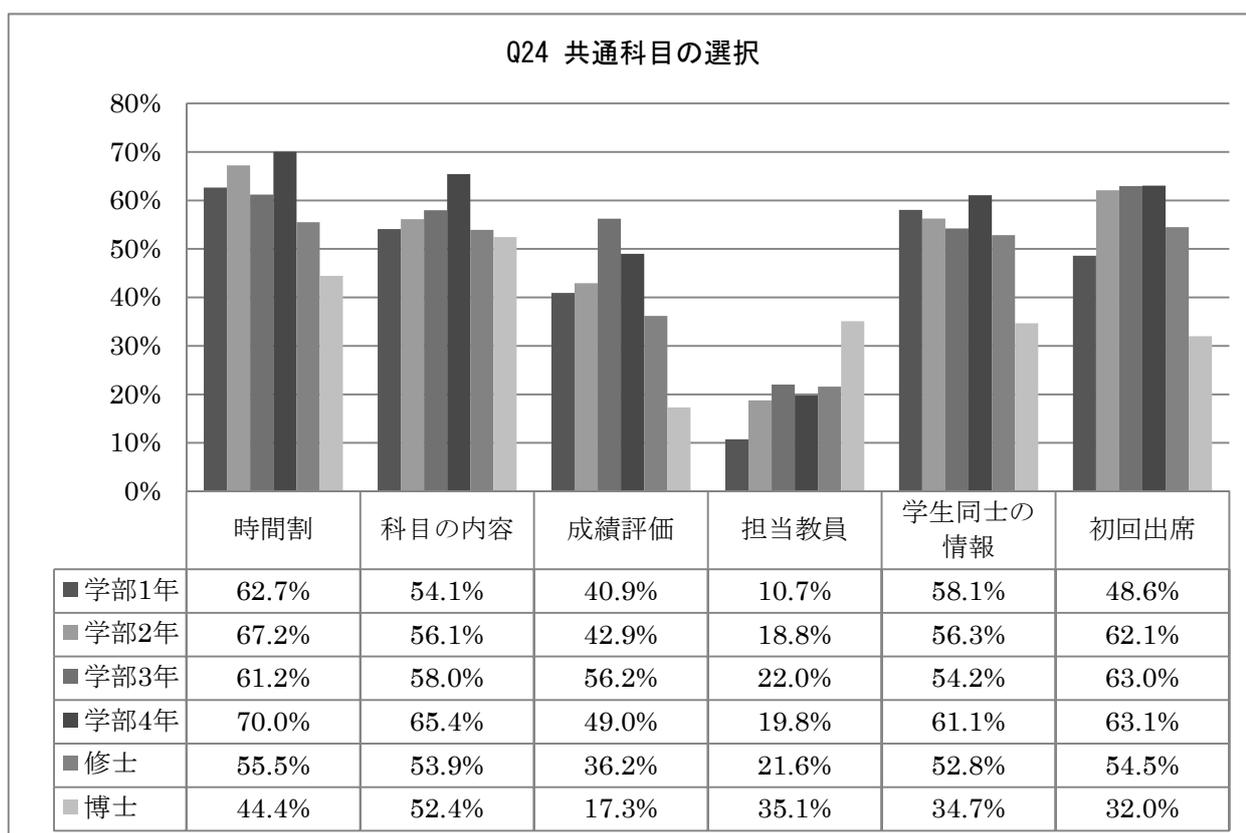
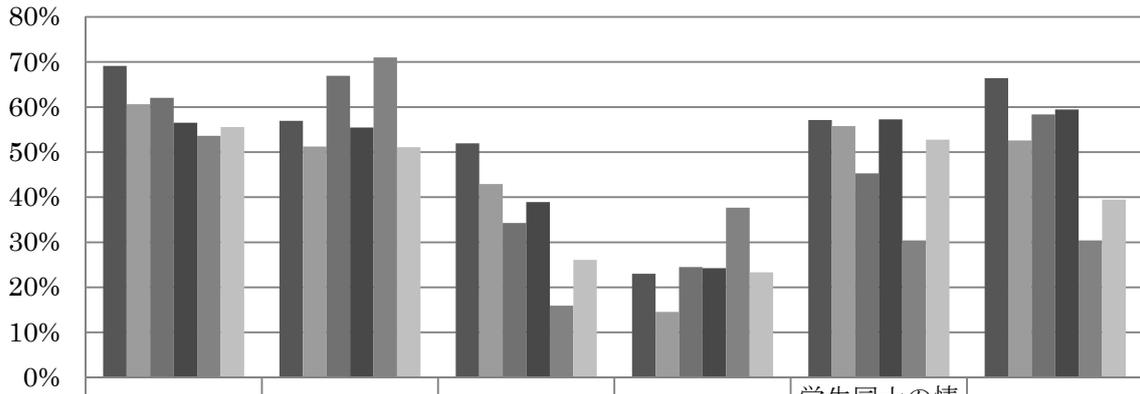


図 24-1

Q 24 部局別



	時間割	科目の内容	成績評価	担当教員	学生同士の情報	初回出席
■ 農学部	69.1%	57.0%	52.0%	23.0%	57.1%	66.4%
■ 工学部	60.6%	51.3%	42.9%	14.5%	55.8%	52.6%
■ 農学府	62.0%	66.9%	34.3%	24.5%	45.3%	58.4%
■ 工学府	56.5%	55.5%	38.9%	24.3%	57.2%	59.5%
■ 連農	53.6%	71.0%	15.9%	37.7%	30.4%	30.4%
■ BASE	55.6%	51.1%	26.1%	23.3%	52.8%	39.4%

図 24-2

25. 一週間の授業外学習時間

表 25-1 によれば、授業外学習に割く時間は、週 6 時間未満が 53.3%であり、第 5 回の 56.5%、第 6 回の 65.1%より改善している。

図 25-1 については、男女差があまり見られないこと、農学府と工学府で差が見られないことなどが、第 6 回と共通であり、週 6 時間未満の学生の割合が農学部で高いこと、大学院生の二極化の進行は、今回の特徴である。学業継続困難者の場合、週 6 時間未満の学生の割合が 42.7%であり、前回の 60.5%より大幅に下がって、全体の平均をも下回っている。

図 25-2 にあるように、授業外学習時間は、学年が上がるにつれて長くなる。1 週間で 2~6 時間が多いが、これは、1 日に換算すると 30 分から 90 分であり、十分とは言えない。また、大学院生でも、0 という学生が 5%以上存在する。博士課程の学生は、20 時間以上が 45%で突出している。

図 25-3 によれば、6 時間以内に農学部の学生が多く、10~20 時間に工学部の学生が多い。ここでは、連農の学生の 6 割以上が 20 時間以上で突出している。

表 25-1

	0	0-2 時間	2-6 時間	6-10 時間	10-20 時間	20 時間以上
第 5 回(H17)	8.2%	16.3%	32.0%	22.2%	11.5%	9.9%
第 6 回(H21)	8.6%	22.2%	34.3%	19.9%	8.7%	6.3%
第 7 回(H24)	6.1%	16.0%	31.2%	20.0%	13.4%	13.3%

Q25 授業外学習時間



図 25-1

Q25 学年別授業外学習時間

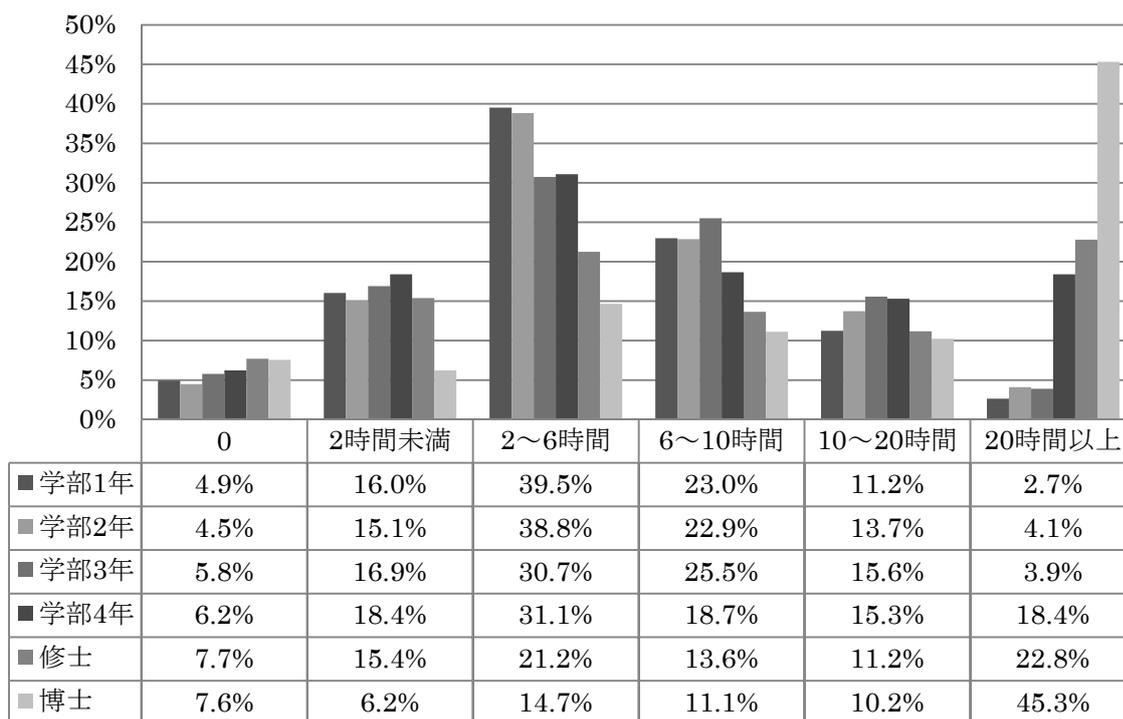


図 25-2

Q25 部局別

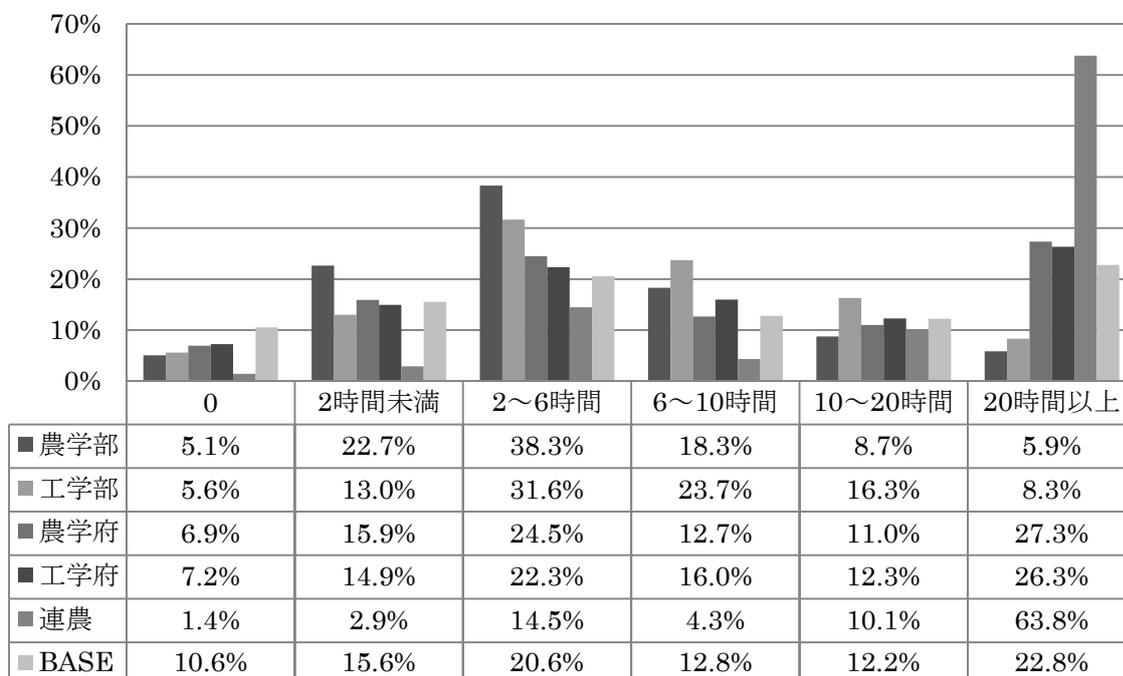


図 25-3

26. 授業時間外の学習を行うのに必要な施設・設備や対策（複数回答可）

図 26-1 にあるように、学部生に希望が強いのは、図書館と学習スペースであり、前回の結果と変わらない。今年に特徴的なことは、PC よりも無線 LAN に対する希望の方が強くなったことである。この点に関しては、本年度より、メディア・センターが無線 LAN の全学的な整備に着手しており、今後の拡充が見込まれる。研究室に所属し、机等を確保している大学院生が、「不足がない」と回答する割合が高いことも、前回と同様である。

図 26-2 にあるように、農学府や連農の学生は、特に、無線 LAN に対する希望が強い。

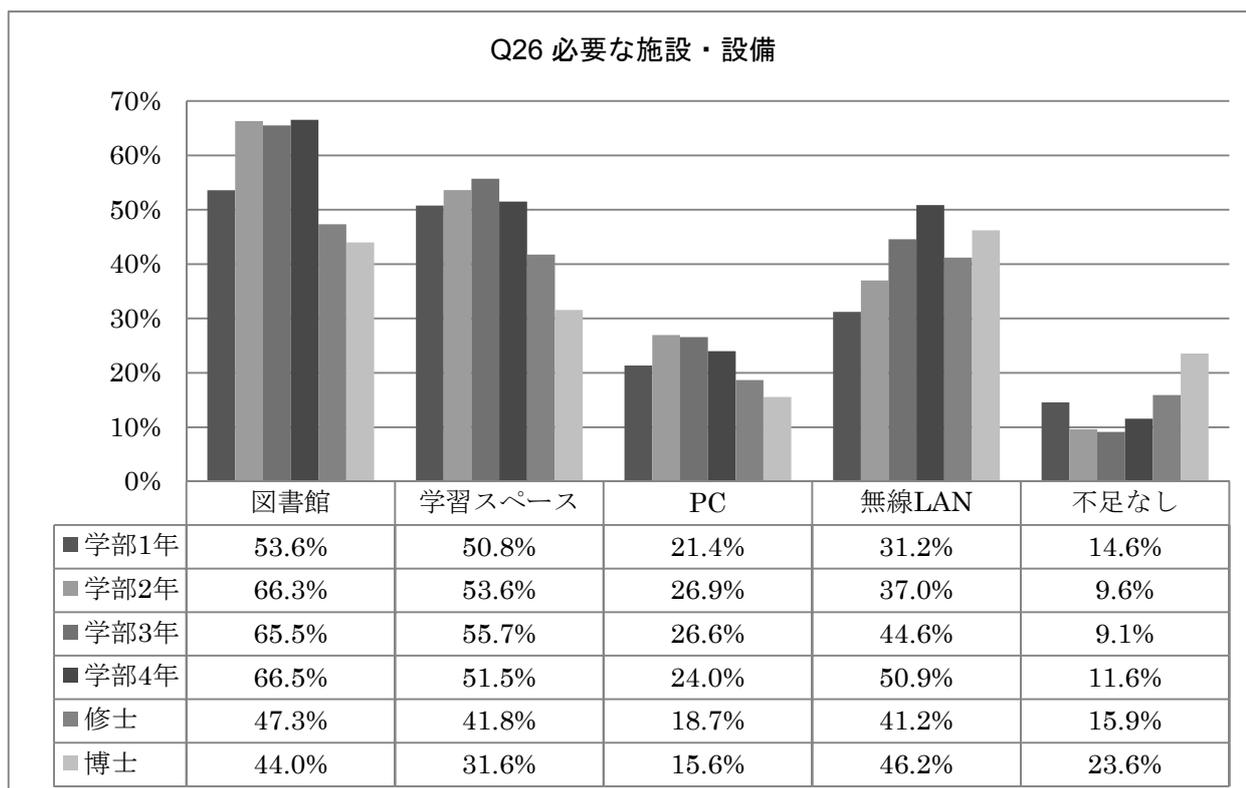
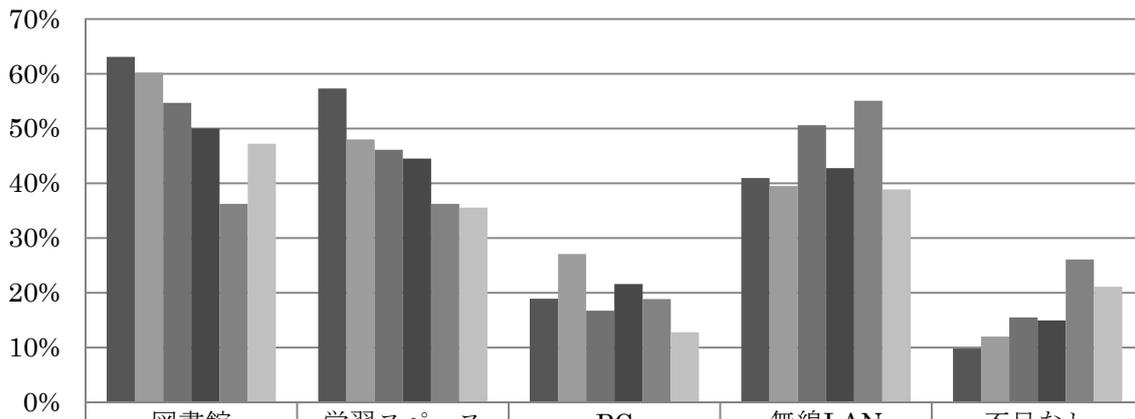


図 26-1

Q26 部局別



	図書館	学習スペース	PC	無線LAN	不足なし
■ 農学部	63.1%	57.3%	18.9%	40.9%	9.8%
■ 工学部	60.2%	48.0%	27.1%	39.5%	12.0%
■ 農学府	54.7%	46.1%	16.7%	50.6%	15.5%
■ 工学府	50.0%	44.5%	21.6%	42.8%	14.9%
■ 連農	36.2%	36.2%	18.8%	55.1%	26.1%
■ BASE	47.2%	35.6%	12.8%	38.9%	21.1%

図 26-2

27. 授業における疑問についての対処方法（複数回答可）

図 27-1 にあるように、「自分で調べる」または「学生同士で相談する」学生が多いことは、前回と同様である。「担当教員に質問する」学生の割合は、学年が進むにつれて、徐々に高まっている。その一方、「学生同士で相談する」という割合が、大学院生では少なくなる。大学院生であっても、「担当教員に質問する」割合は、3割に留まる。

図 27-2 によれば、農学府・連農の学生は、授業内外で担当教員に質問する割合が高く、学生同士で相談する割合が低い。

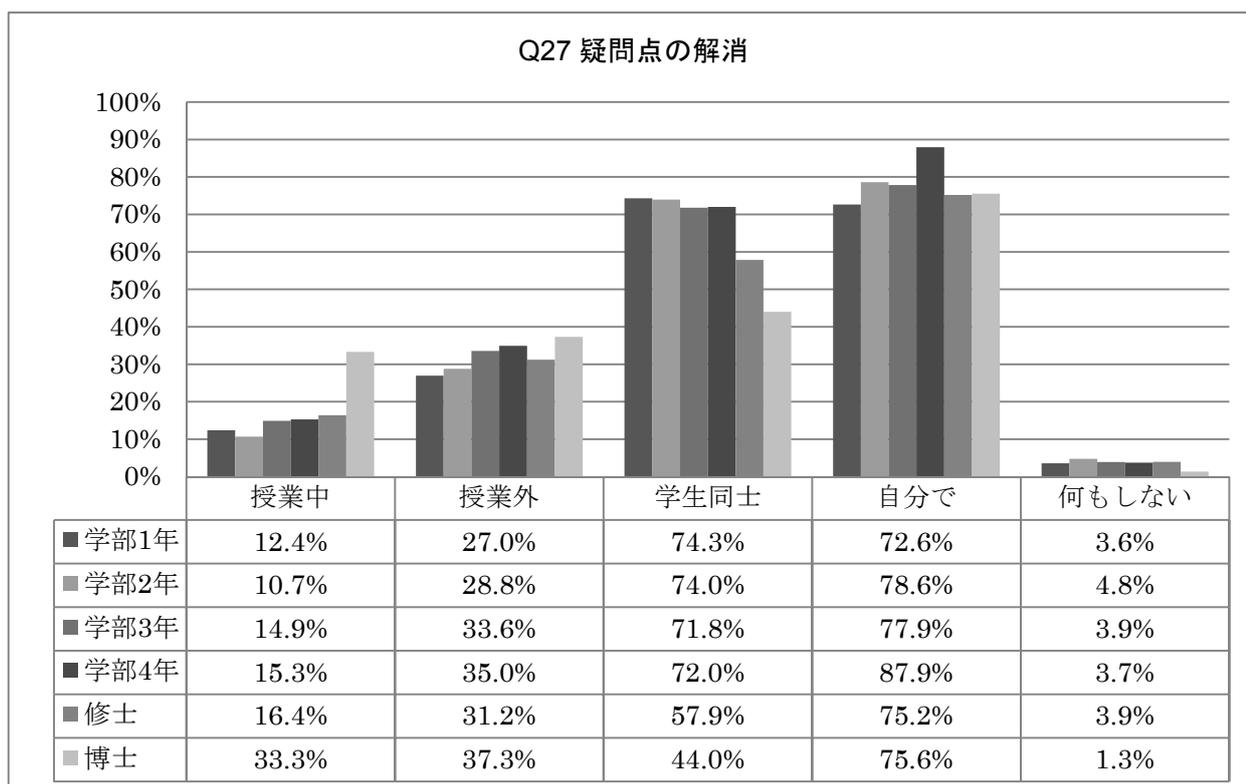
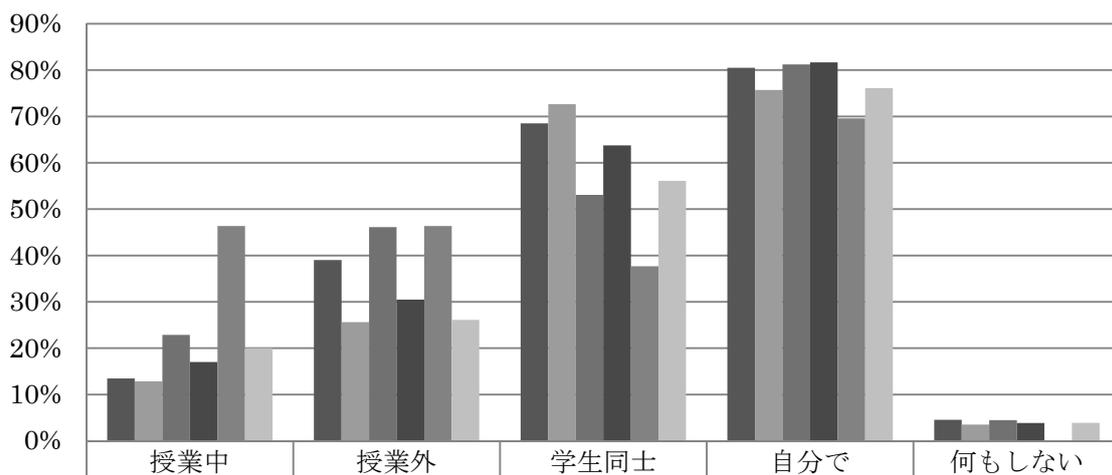


図 27-1

Q27 部局別



	授業中	授業外	学生同士	自分で	何もしない
■ 農学部	13.5%	39.0%	68.5%	80.5%	4.5%
■ 工学部	12.9%	25.6%	72.6%	75.7%	3.5%
■ 農学府	22.9%	46.1%	53.1%	81.2%	4.5%
■ 工学府	17.0%	30.5%	63.8%	81.7%	3.8%
■ 連農	46.4%	46.4%	37.7%	69.6%	0.0%
■ BASE	20.0%	26.1%	56.1%	76.1%	3.9%

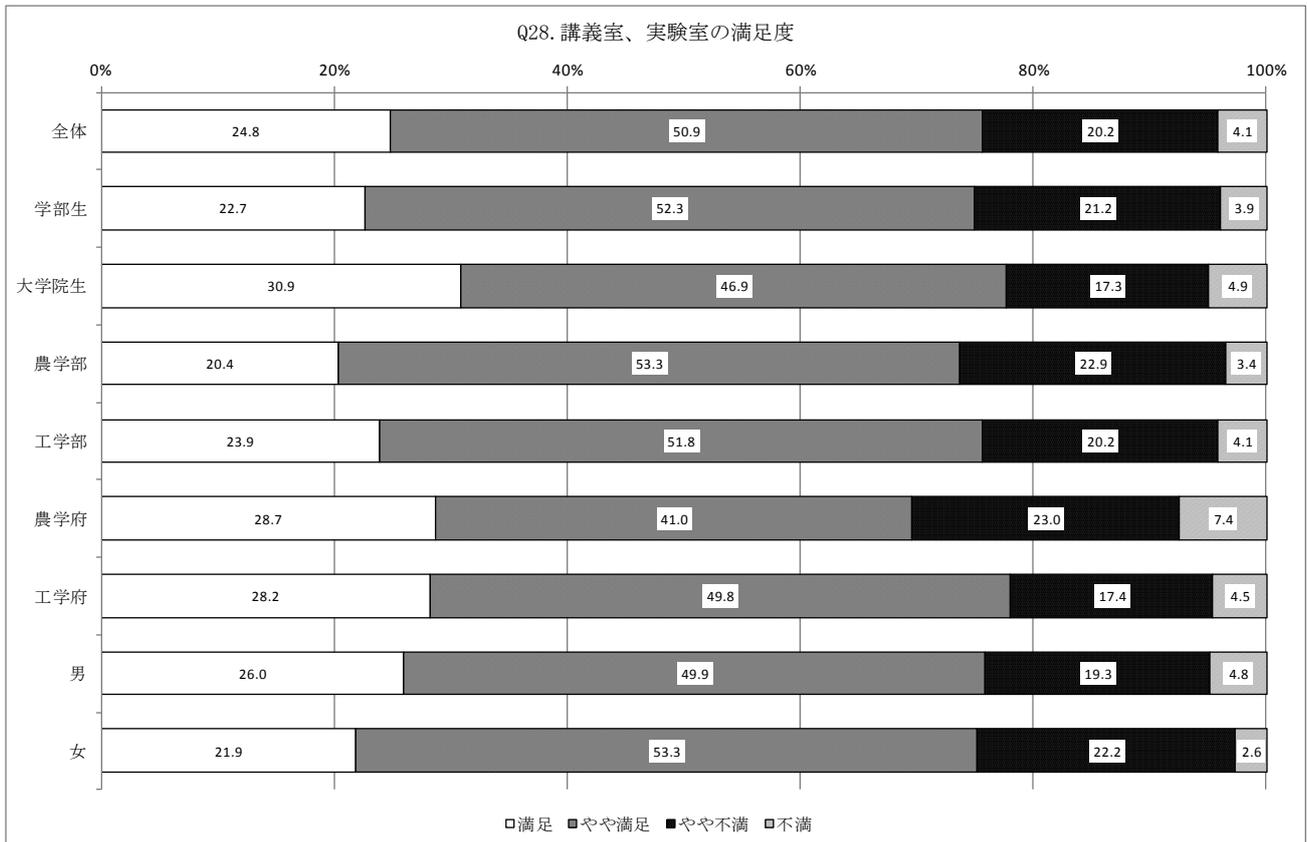
図 27-2

28. 講義室、実験室の満足度

前回の調査では、全体で「満足」+「やや満足」と答えた学生が 23.3%+57.3%=80.6%であった。今回は 24.8%+50.9%=75.7%と 4.9%と満足度が下がっている。特に工学部、工学府の満足度の低下が顕著である（工学部：82.6%→75.7%、工学府：87.7%→78.0%）。

（参考：農学部：70.9%→73.7%、農学府：73.8%→69.7%）

前回、府中キャンパスと小金井キャンパスの間の設備の格差が指摘されていたが、今回の調査ではその差がかなり改善され、格差がほぼ解消されている。

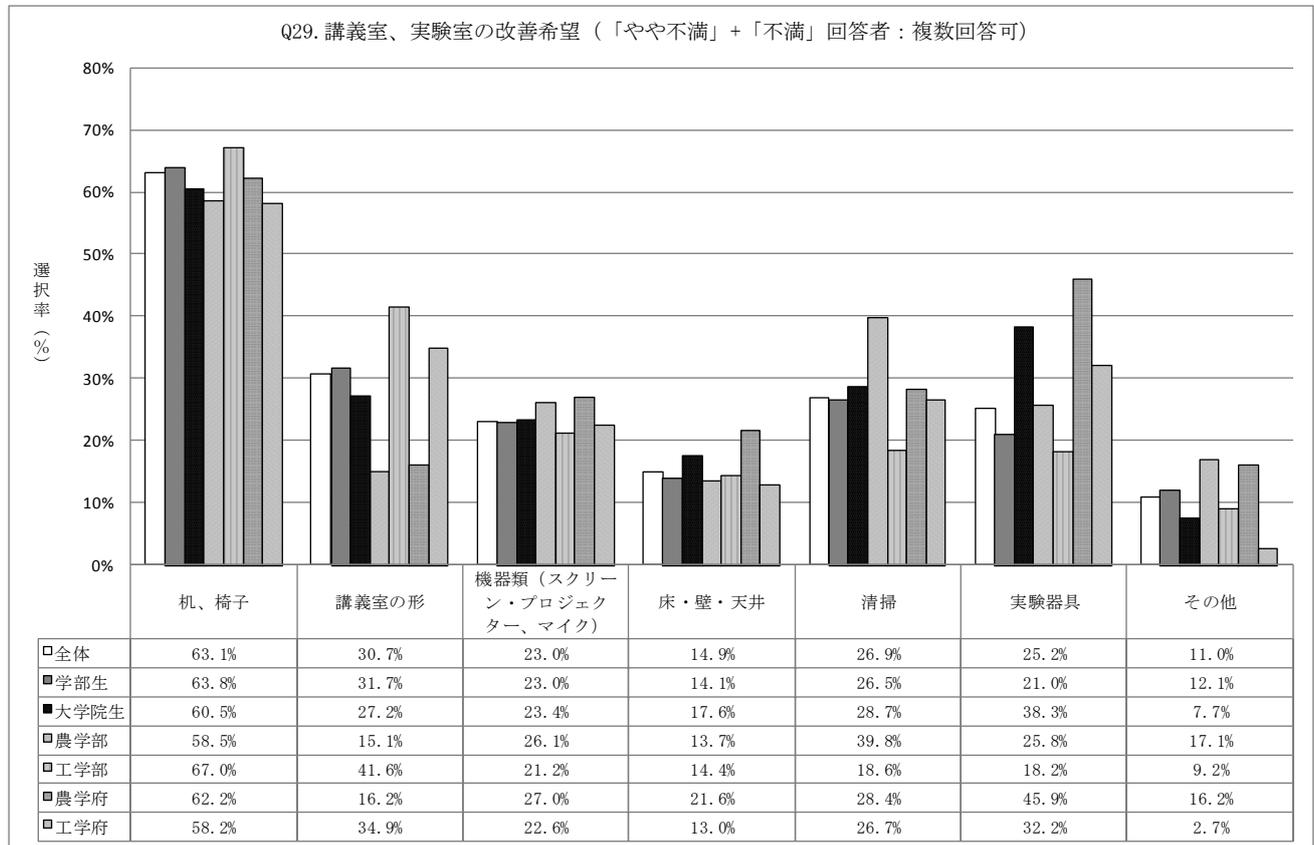


調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
良い (%)	44.2						
満足している (%)		38.9	41.4	63.7	69.6		
満足+やや満足 (%)						80.6	75.7

※選択肢は第1回は「良い」「良くない」「早急に改善を要する」の3択、第2～5回は「満足している」「満足していない」の2択、第6～7回は「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」の4択。

2.9. 講義室、実験室の改善希望（複数回答可）

講義室、実験室に対して「やや不満」、「不満」と回答している者のうち、約60%は机、椅子に対して改善を希望している。自由記述からは「机の狭さ」「椅子の固さ」に対する不満が多い。講義室の形状については工学部生の改善希望が多く約40%にのぼる。特に0711、0811、1151教室の不満が多い。清掃に関しては農学部生の約40%が指摘している。今回選択肢になかった項目で、空調に対する不満の自由記述が多かった（自由記述196件中43件）。



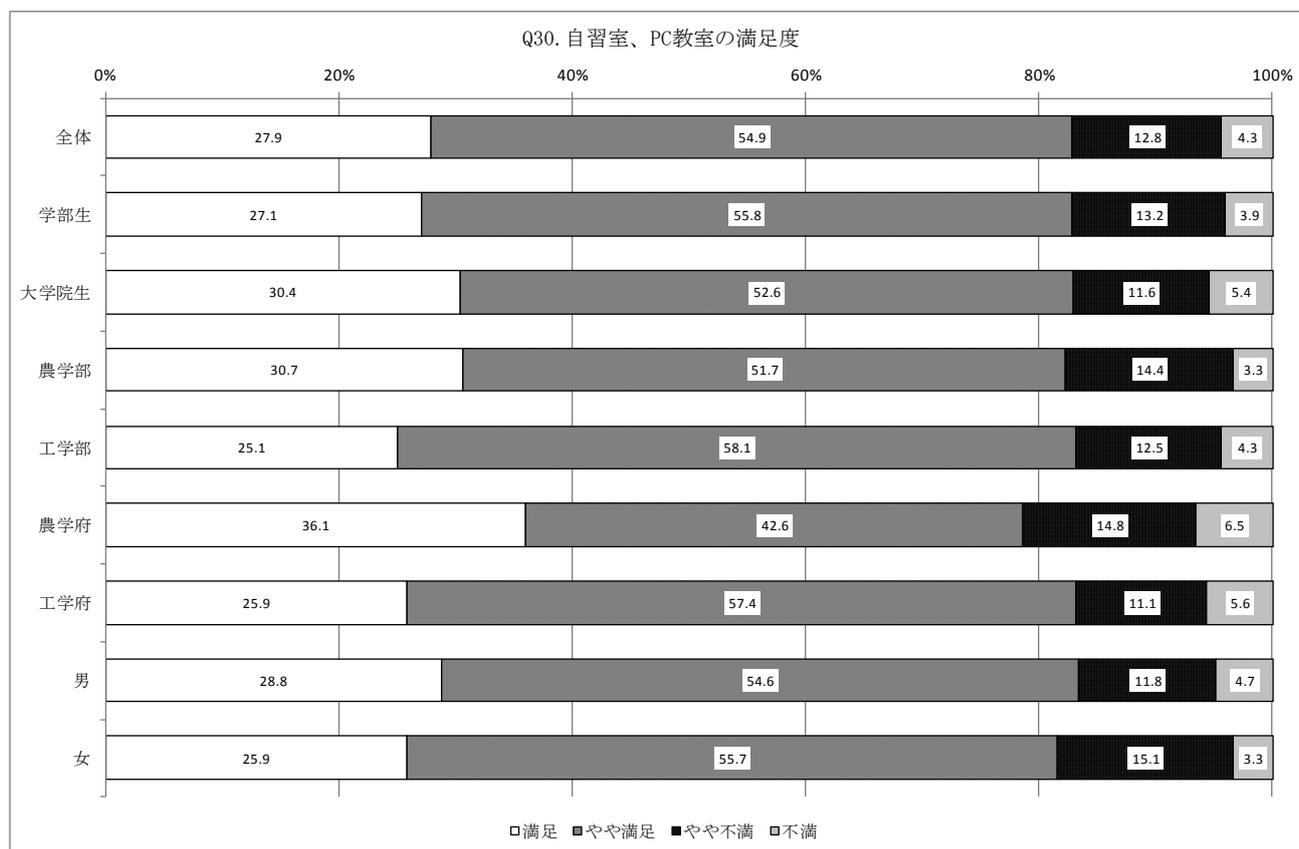
※回答の選択数

	机、椅子	講義室の形	機器類 (スクリーン・プロジェクター、マイク)	床・壁・天井	清掃	実験器具	その他
全体	672	327	245	159	287	268	117
学部生	510	253	184	113	212	168	97
大学院生	158	71	61	46	75	100	20
農学部	175	45	78	41	119	77	51
工学部	335	208	106	72	93	91	46
農学府	46	12	20	16	21	34	12
工学府	85	51	33	19	39	47	4
連合農学研究科	8	4	4	3	3	6	2
BASE	17	4	3	7	11	11	2
技術経営研究科	0	0	0	0	0	0	0
連合獣医学研究科	2	0	1	1	1	2	0
男	483	241	171	116	191	200	64
女	185	84	74	43	96	68	52

30. 自習室、PC教室の満足度

自習室、PC教室の満足度は今回から調査項目に加わった。全体の「満足」+「やや満足」の割合は、27.9%+54.9%=82.8%で高い満足度と言えるであろう。

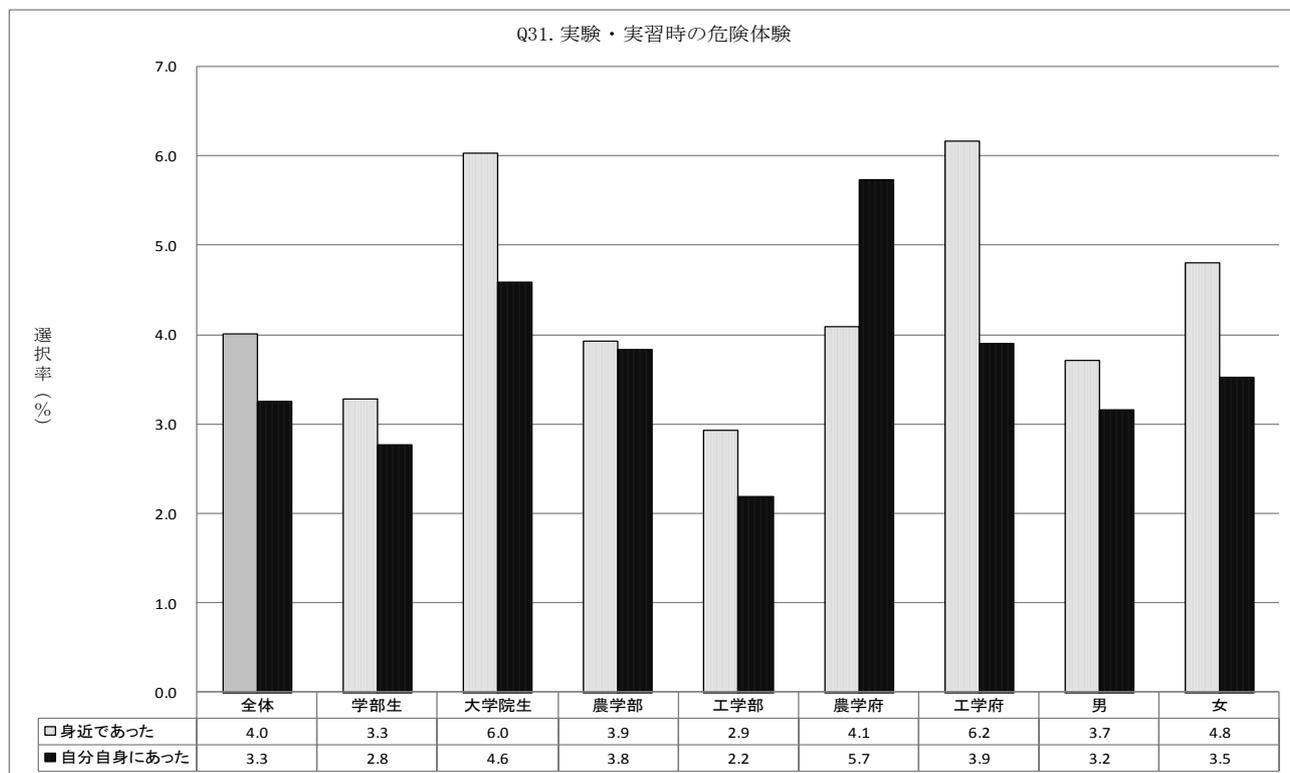
「やや不満」、「不満」と回答した学生の自由記述では部屋の不足(95件)、PCのスペックに対する不満(94件)が多かった(自由記述325件)。部屋の不足は学部生からの希望が多く(77件)、PCのスペックに対する不満は工学部、工学府の学生からの要望が多い(73件)。自習室の席数の不足、机、椅子の改善に対する要望(41件)、開室時間、スケジュールに対する要望(37件)も挙げられている。



3.1. 実験・実習の危険体験

前回の調査では「あった」の回答が276件、9.0%であった（n=3,081）。今回は「身近であった」を選択肢に加えたため、件数は「身近であった」＋「自分自身にあった」＝317件であるが割合は4.0%で減少していると言えるであろう。学部、学科、大学教育センターの安全教育、TA研修の成果と言えるであろう。

内容は農学部、農学府で野外活動で「ハチに刺された」、「山の斜面で転倒」などが多く、農、工の両学部、府で薬品、火の取り扱いに関するケースが多い。



	合計	なかった	身近であった	自分自身にあった
全体	4,356	4,039	175	142
学部生	3,168	2,976	104	88
大学院生	1,175	1,050	71	54
農学部	1,120	1,033	44	43
工学部	2,048	1,943	60	45
農学府	244	220	10	14
工学府	665	598	41	26
連合農学研究科	67	58	7	2
BASE	178	156	12	10
技術経営研究科	1	0	0	1
連合獣医学研究科	20	18	1	1
男	3,094	2,881	115	98
女	1,246	1,142	60	44

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
あった (%)			20.9	11.6	12.5	9.0	7.3
なかった (%)			79.1	88.4	87.5	91.0	92.7

※設問は第3回は「機械・器具等の操作で危険を感じたことがありますか」、第4回以降は今回と同様。今回の第7回より、選択肢の「あった」は「身近であった」＋「自分自身にあった」

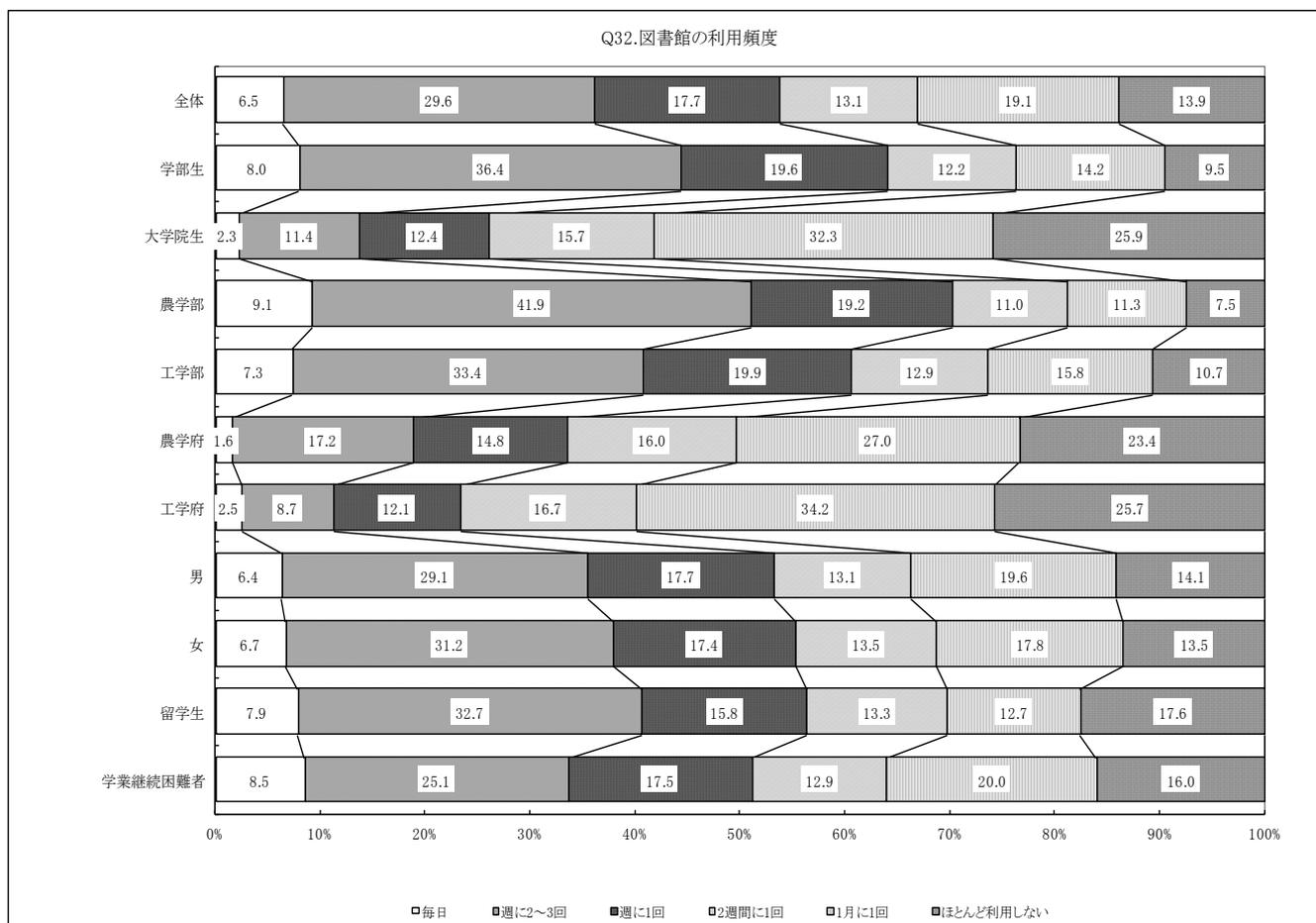
3.2. 図書館の利用頻度

図書館の利用頻度に関する調査は、前回まで選択肢を「よく利用する」「ときどき利用する」「全く利用しない」の3択で聞いており、今回の調査と直接比較することはできない。

仮に「よく利用する」を今回の「毎日」と「週に2～3回」の合計とみなすと、前回の「よく利用する」が34.5%に対して、今回は6.5+29.6=36.1%となりほぼ変化なしと考えることができる。同様に学部生については前回は39.7%に対して今回は8.0+36.4=44.4%、大学院生が前回20.9%に対して今回は2.3+11.4=13.7%という結果である。自由記述の大学院生の回答をみると、「研究室で十分」、「ほしい本は研究室にある」という回答が多く、逆に研究室に所属しない学部生の自習、文献検索の場となっていることがうかがえる。

前回、「学業継続困難者」に対する分析で「利用頻度に影響を与えていない」という見解があったが、前回の「よく利用する」の36.4%に対して、今回は8.5+25.1=33.6%という結果であり、同様に経済的な問題との関与はみられない。

留学生は前回の「よく利用する」の28.1%に対して、今回は7.9+32.7=40.6%と大幅に増加、学部生に近い高い割合となっている。

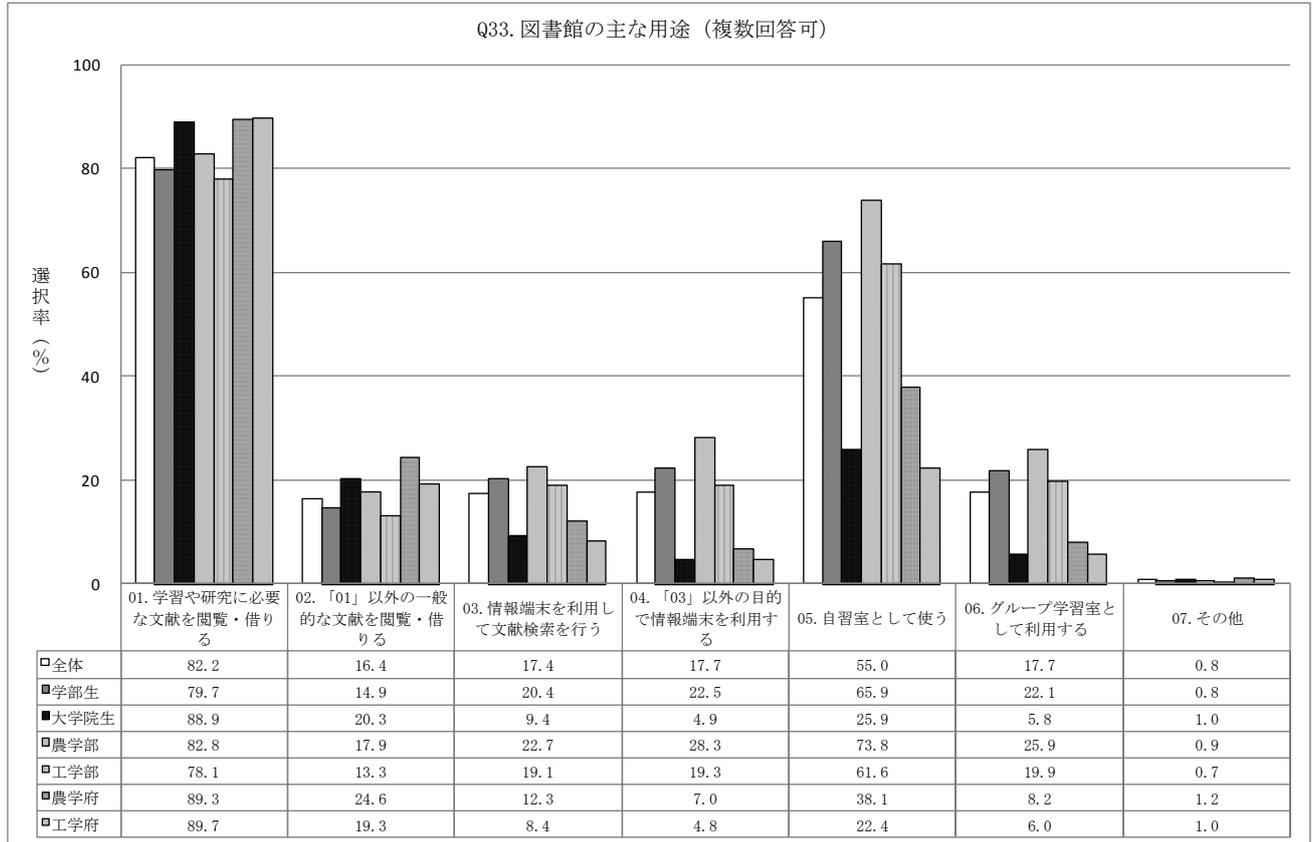


第6回 (H21) (%)	よく利用する		ときどき利用する			全く利用しない
		34.5		61.4		
第7回 (H24) (%)	毎日	週に2~3回	週に1回	2週間に1回	1月に1回	ほとんど利用しない
	6.5	29.6	17.7	13.1	19.1	

3.3. 図書館の主な用途（複数回答可）

図書館の主な用途は前回同様、約 80%が「学習や研究に必要な文献を閲覧・借りる」と回答している（前回、全体で 83.1%、今回は 82.2%）。

「自習室として使う」の割合は学部生、大学院生ともに小金井キャンパスに対して府中キャンパスのほうが高く、個人的な学習スペースの環境の違いをあらわしている。これは 3 4 の不満の原因にもつながっており、たとえば自習スペースが少ない、狭いから改善してほしいという要望は農学部で 33 件あり、工学部は 8 件にとどまる。



	学習や研究に必要な文献を閲覧・借用する。	「01」以外の一般的な文献を閲覧・借用する。	情報端末を利用して文献検索を行う。	「03」以外の目的で情報端末を利用する	自習室として使う	グループ学習室として利用する	その他
第6回 (H21) (%)	84.3	21.8	24.4	27.0	60.3	/	1.6
第7回 (H22) (%)	82.2	16.4	17.4	17.7	55.0	17.7	0.8

※第6回は「グループ学習室として利用する」の選択肢なし

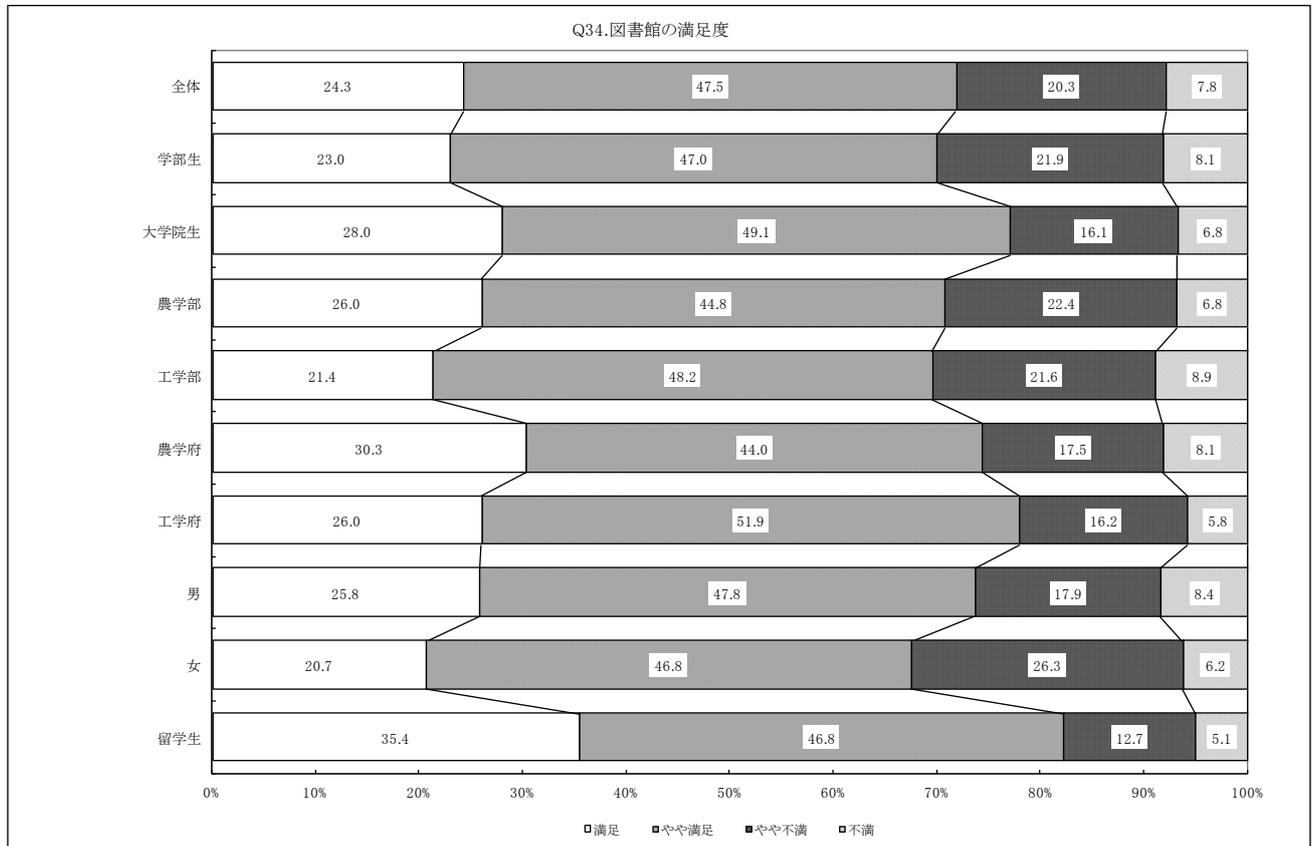
3 4. 図書館の満足度

前回調査の全体の「満足」＋「やや満足」は21.2+52.9=74.1%で、今回は24.3+47.5=71.8%と微減となっている。一番大きな変化があったのは工学部生で、前回21.0+56.2=77.2%が21.4+48.2=69.6%と7.6%ダウンしている。工学部の自由記述で、空調に対する不満が127件と、夏の節電の影響が出ていると考えられている。また「うるさい」という不満も52件あり、利用時のマナーの悪さも関与しているようである。

「やや不満」、「不満」を回答した理由で自由記述の内容は、空調に関して167件、開館スケジュール142件、蔵書の量、種類について127件の順で多い(646件中)。空調は夏の節電に関するものがほとんどである。開館スケジュールは「休日が多い」、「土日休日の開館時間が短い」、「閉館時間を遅くしてほしい」という要望が多い。すでに改修されているが、「雨漏りがひどい」という指摘もあった。

24時間365日利用できる大学図書館ができるなど、図書館の運用改善が進む潮流の中で、今後も同様の要望が増えていくであろう。蔵書の種類、量に関しては、一般書、人文・社会科学系の蔵書を希望する声があった。

留学生の満足度は35.4+46.8=82.2%と非常に高い。

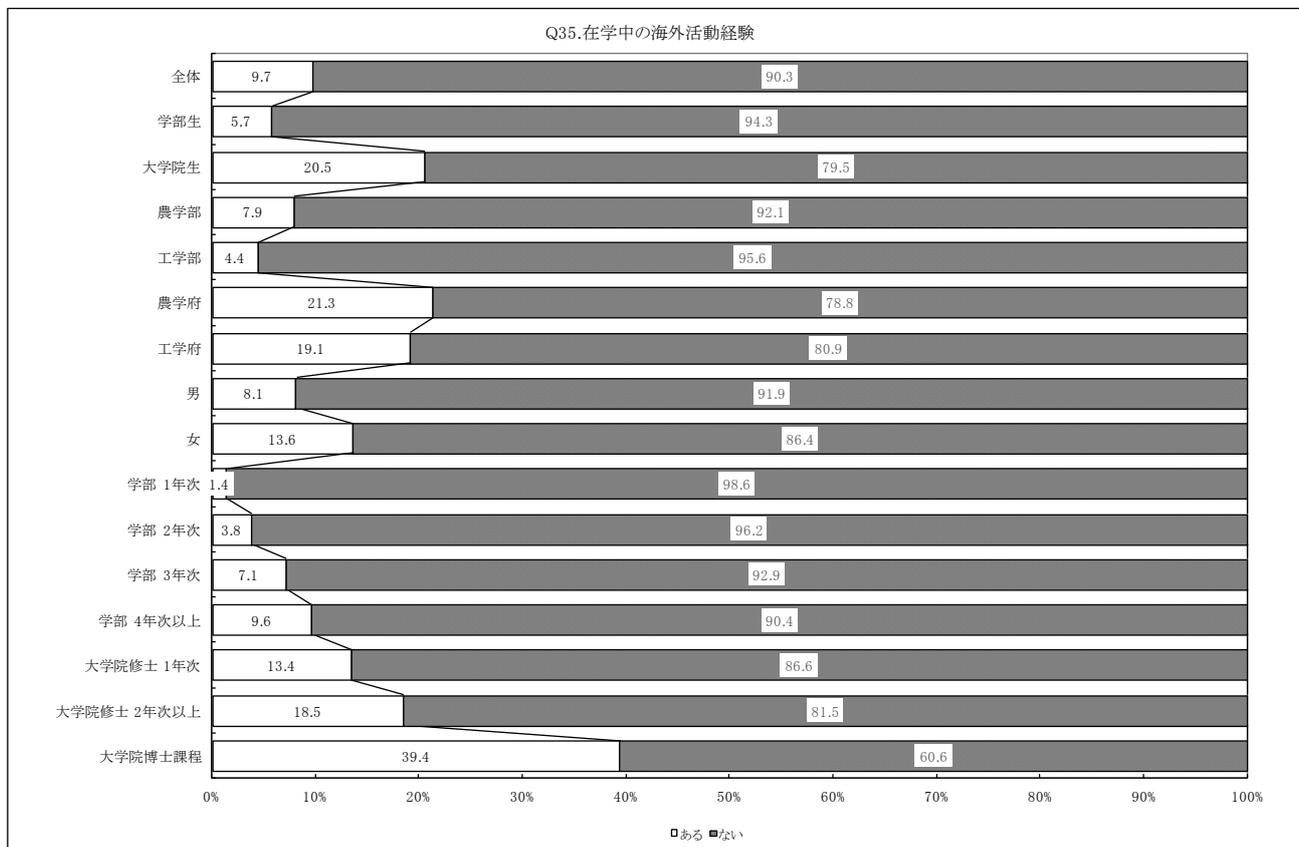


全体 (%)	満足	やや満足	やや不満	不満
第6回 (H21) (%)	21.2	52.9	19.3	6.6
第7回 (H24) (%)	24.3	47.5	20.3	7.8

35. 在学中の海外活動経験

前回調査で全体のうち海外活動経験がある学生は 247 件 (8.2%) であった。今回は 420 件 (9.7%) である。回答者が大幅に増えているため単純に比較することはできないが、学部生で 1.1%、大学院生で 3.2% 増加している。

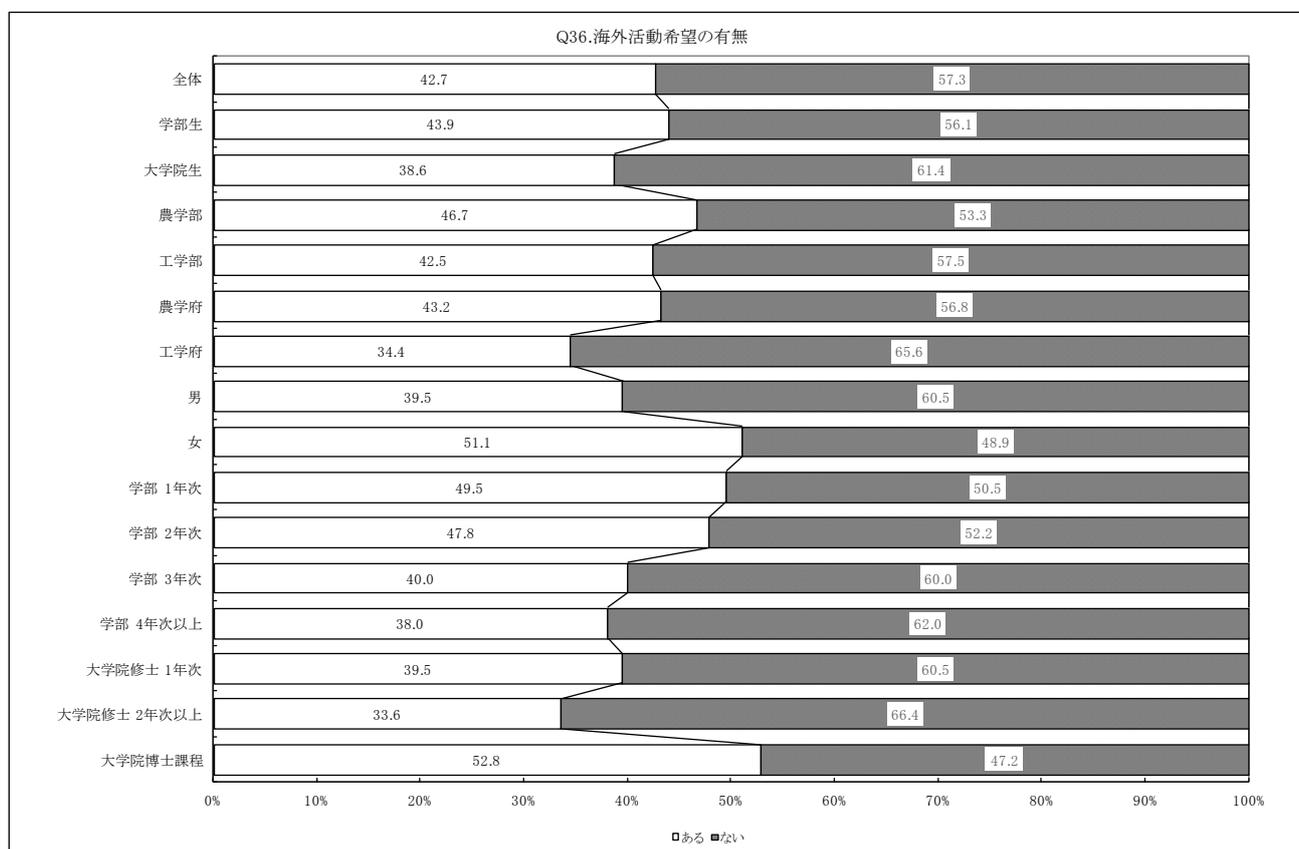
学年別に見ると、学部 3 年時から活動経験者が増加していくようすがわかる。



全体 (%)	ある	ない
第 6 回 (H21) (%)	8.2	91.8
第 7 回 (H24) (%)	9.7	90.3

36. 海外での活動希望の有無

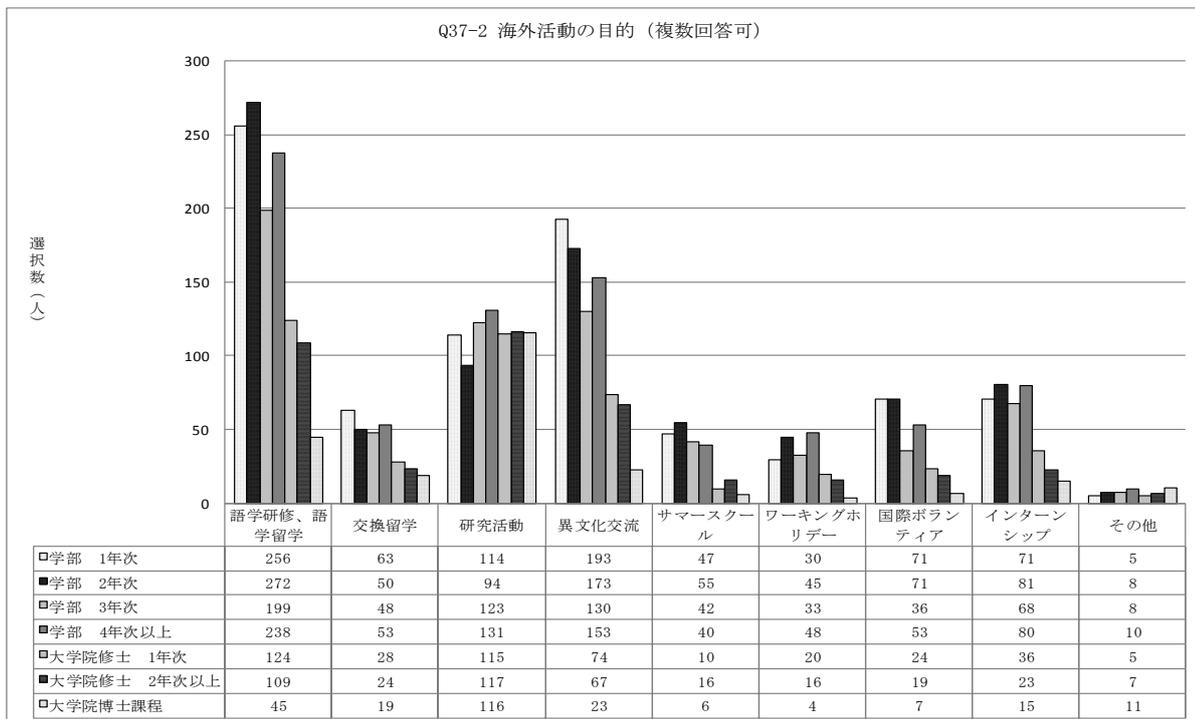
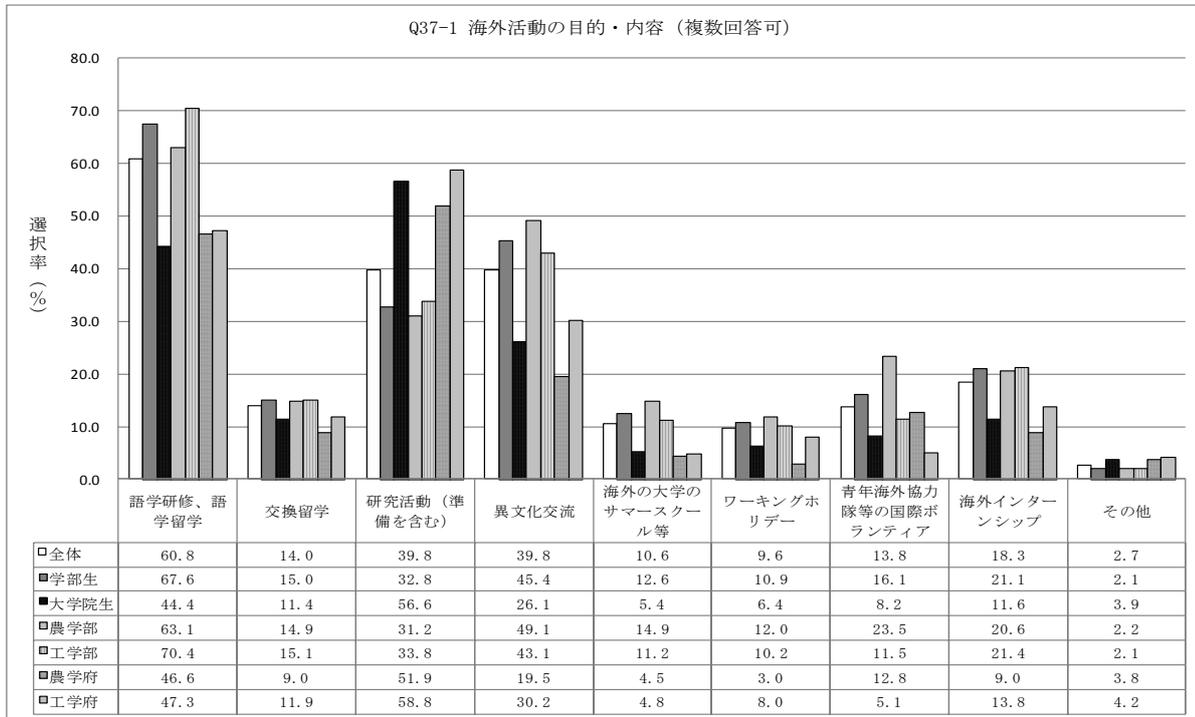
海外活動の希望者は前回調査の全体 882 件 (33.9%) に対して 1,636 件 (42.7%) と大幅に増加している。学年別に見ると博士課程を除けば学部 1 年次が一番高く、グローバル化が進む中で低学年ほど海外への意識が高まっていることがうかがえる。一方で大学院修士 2 年以上 (対象者 387 名) のうち 66.4% が海外活動の希望がなく、今後就職しても進学しても国際感覚が必要とされる世の中に、どう対応していくのか不安なところである。



全体 (%)	ある	ない
第 6 回 (H21) (%)	33.9	66.1
第 7 回 (H24) (%)	42.7	57.3

3.7. 海外での活動の目的・内容（複数回答可）

図 Q37-1 でみると、「語学研修、語学留学」、「異文化交流」を希望する学生は学部生に多く、「研究活動」を希望する学生は大学院生に多い。しかし図 37-2 では「研究活動」を希望する学生数は学部1年次から大学院生まで大きな変化はなく、100名強の学生は入学時点から国際的な場で研究活動を希望している様子が見える。

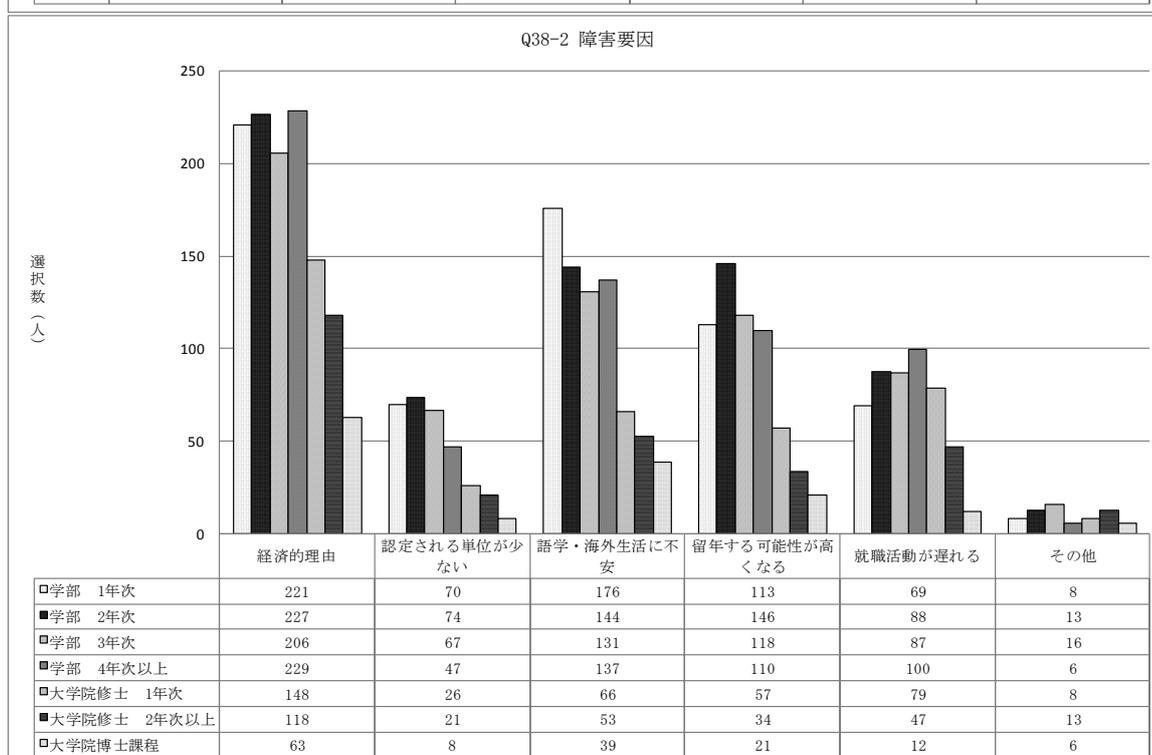
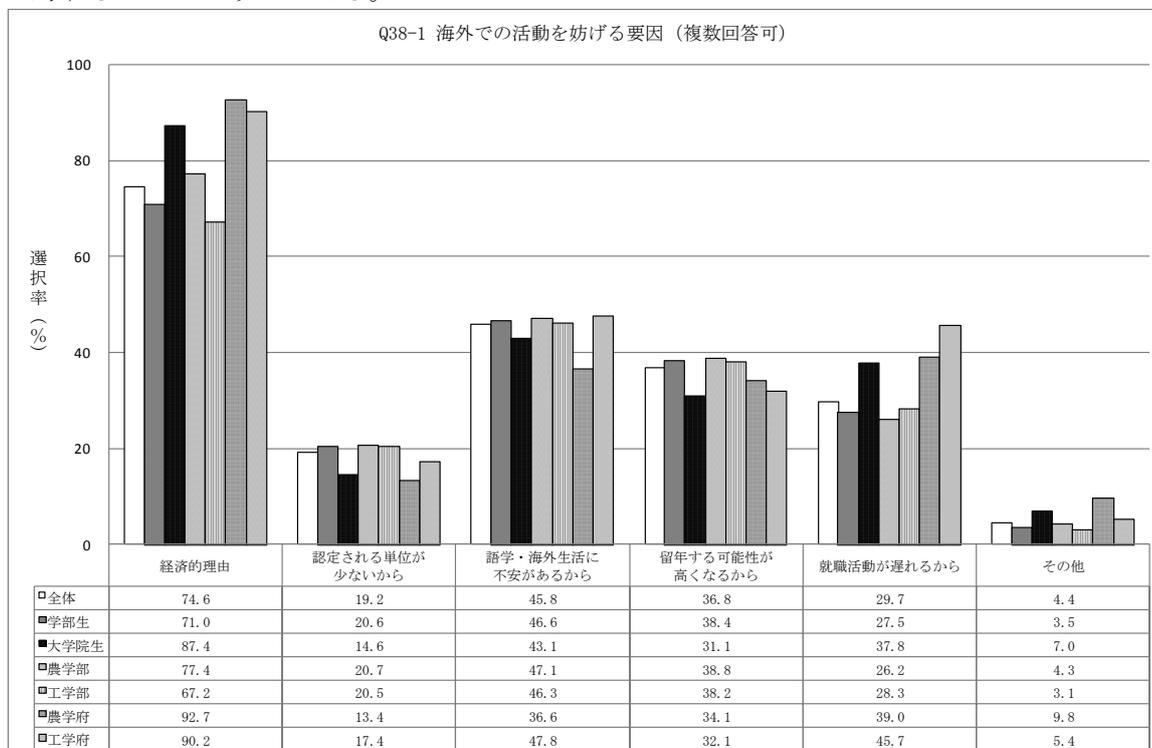


全体 (%)	語学研修、語学留学	交換留学	研究活動	異文化交流	サマースクール	ワーキングホリデー	国際ボランティア	インターンシップ	その他
第6回 (H21)	30.6	7.6	18.3	19.5	3.3	4.7	7.0	6.5	2.5
第7回 (H24)	60.8	14.0	39.8	39.8	10.6	9.6	13.8	18.3	2.7

38. 海外での活動を妨げる要因（複数回答可）

海外活動を妨げる一番大きな要因は「経済的理由」があがっている。特に農学府、工学府の大学院生は約90%が要因にあげており、何らかの支援が必要と考えられる。図38-2より修士、博士課程で合計329名が必要としている。

また「語学・海外生活に不安がある」は各層で40%前後要因にあげており、英語などの語学教育に対するニーズがうかがえる。

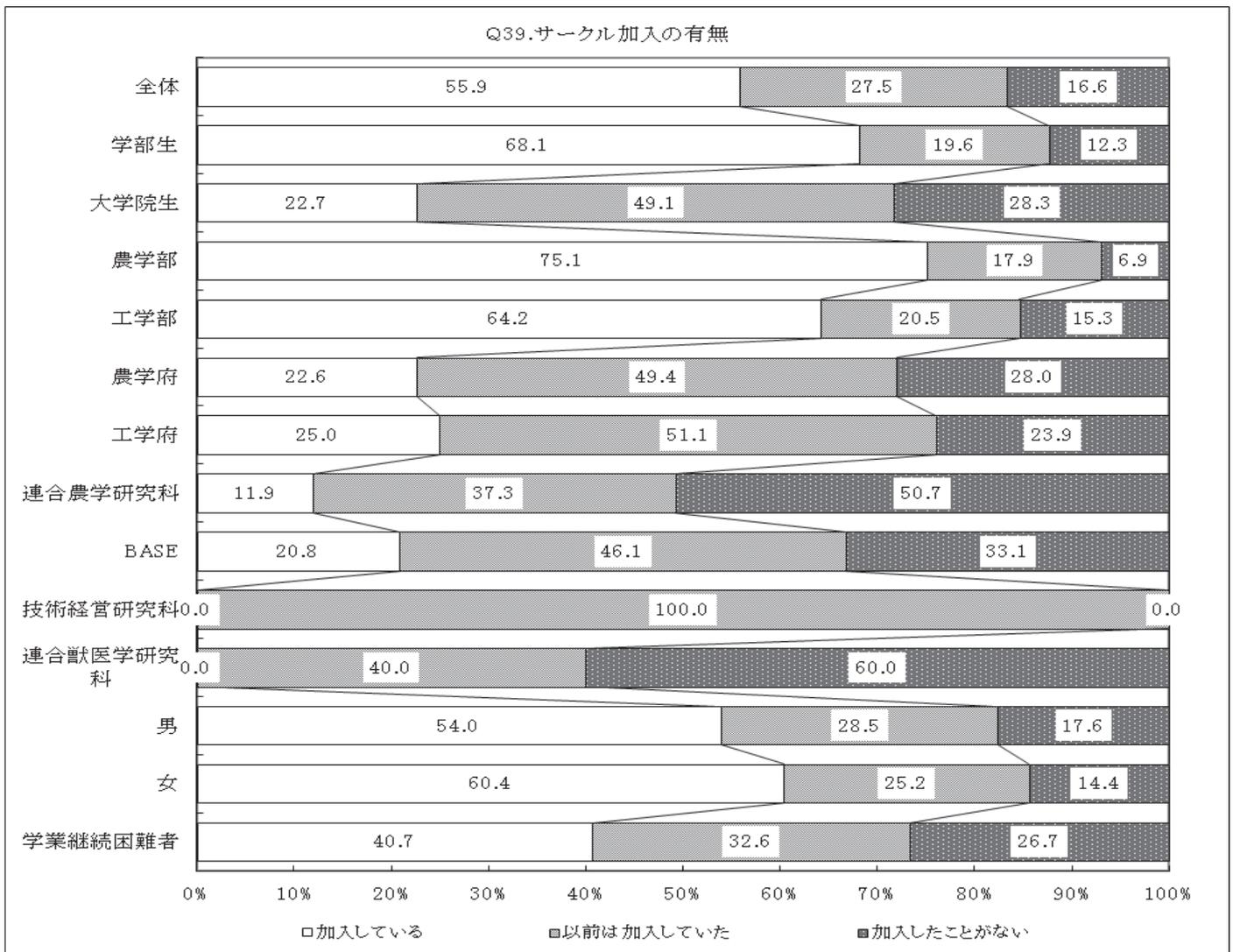


第VI章 課外活動

39. サークル加入の有無

サークルへの加入状況は、全体では、55.9%が「加入している」、27.5%が「以前加入していた」、16.6%が「加入したことがない」と答えている。学部別にみると、「加入している」と答えた割合は農学部が75.1%と工学部の64.2%より高く、逆に「加入したことがない」と答えた割合は工学部が15.3%で農学部の6.9%より高い。また男女別でみると、女子学生の方が「加入している」と答えた割合の60.4%が男子学生の54.0%より高く、課外活動への意欲が窺える。なお、本学におけるデータには、大学院生の回答も含まれる。

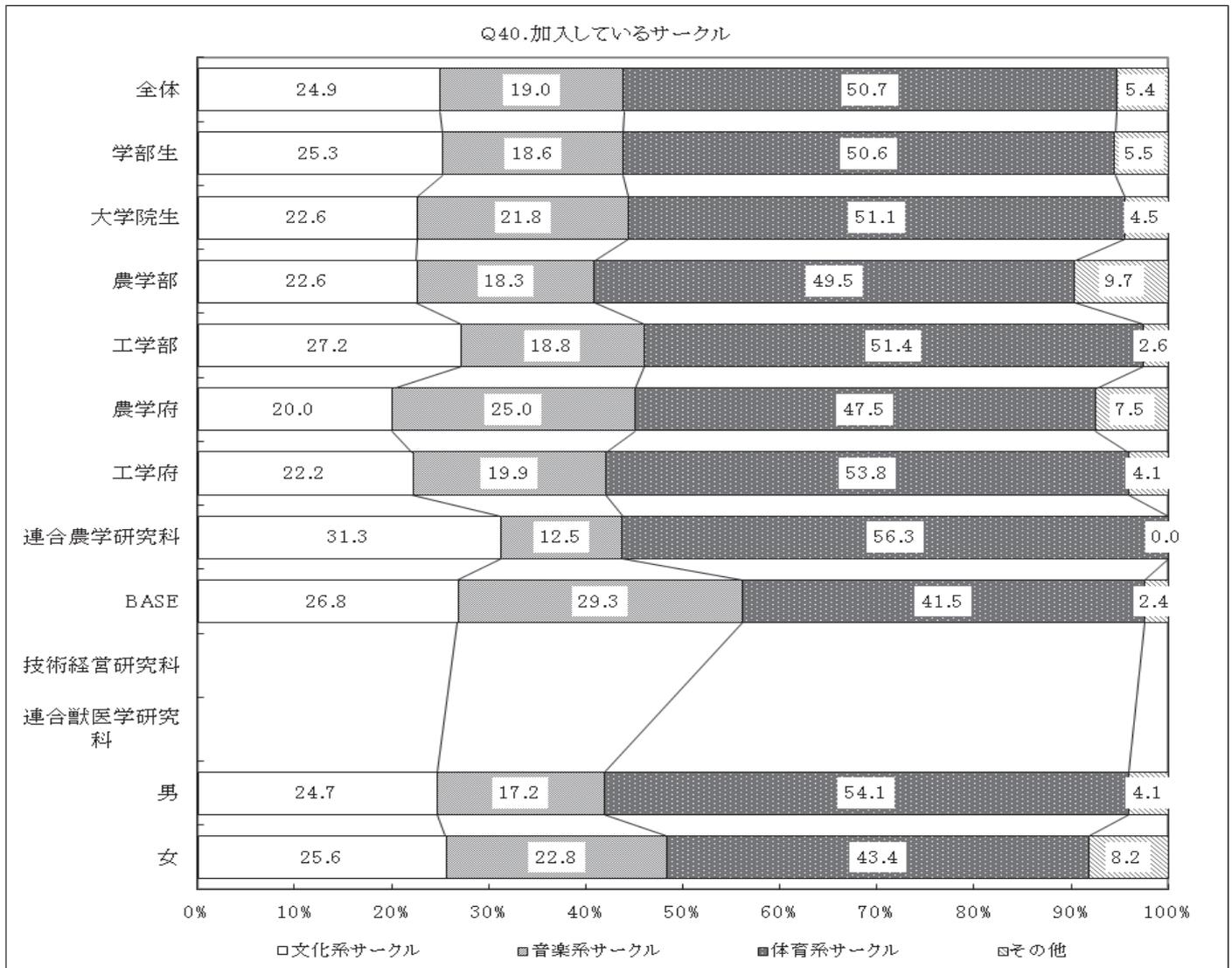
これまでの調査を振り返ると、「加入している」と「以前加入していた」を合わせた数値が、第1回から第5回まではあまり変化が無く71~73%程度であったが、前回には約80%まで増えた。さらに今回は83.4%まで伸びており、学生が課外活動に対して積極になってきたことが窺える。



調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
加入している	49.0	50.4	48.3	43.1	44.7	51.0	55.9
加入していた	23.5	22.2	27.9	28.4	28.6	28.3	27.5
加入していない	27.4	27.4	23.8	28.5	26.7	20.7	16.6

40. 加入しているサークル団体の種類

加入しているサークル団体は、全体では、体育系サークル(50.7%)が約半数を占め、以下、文科系サークル(24.9%)、音楽系サークル(19.0%)の順である。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生は体育系が多く(54.1%)、女子学生も体育系が多いものの、文科系(25.6%)や音楽系(22.8%)の割合が高い。両学部を比較すると、工学部の方が、文科系(27.2%)、体育系(51.4%)の割合が高い。全体の傾向は、前々回、前回と比較して、同様のものではあった。



調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24
文科系サークル	18.8	22.5	24.3	20.0	23.6	25.1	24.9
音楽系サークル	13.4	14.0	14.3	15.1	17.5	19.1	19.0
体育系サークル	62.7	53.9	51.3	52.8	54.8	51.6	50.7
2つ以上	5.1	9.6	10.1	12.1	---	---	---
その他	---	---	---	---	4.1	4.2	5.4

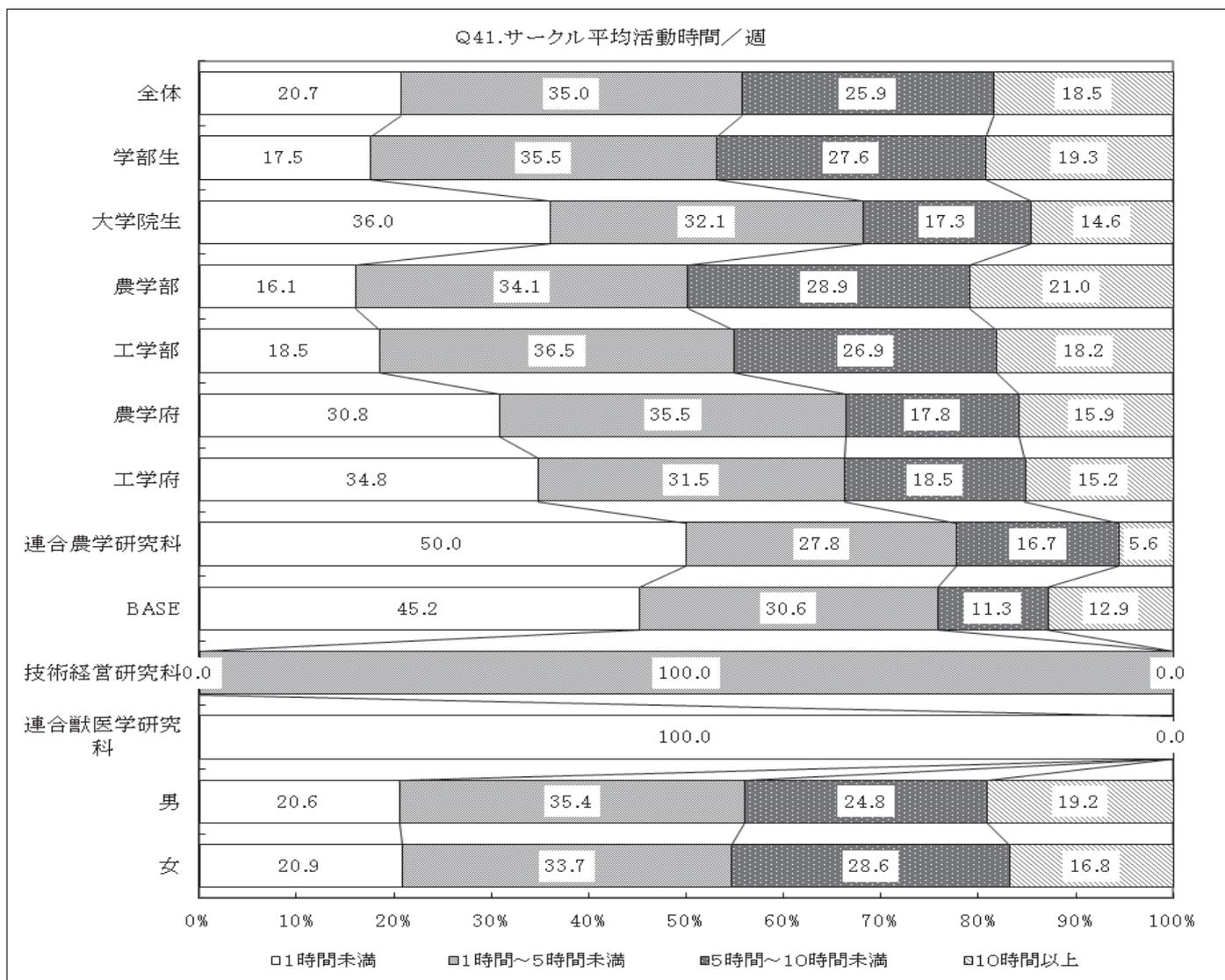
第1回～第4回は、文科系、音楽系、体育系、2つ以上の区分で調査を実施。

第5回以降は、文科系、音楽系、体育系、その他の区分で調査を実施。

4 1. 一週間の平均活動時間

全体では、「1時間～5時間」(35.0%)が最も多く、ついで「5時間～10時間」(25.9%)であり、「10時間以上」(18.5%)の者もかなり存在している。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生、女子学生ともに「1時間～5時間」が最も多く、ついで「5時間～10時間」が多い。女子学生については、「5時間～10時間」の者は28.6%とかなり多い。学部生では、多い順に「1時間～5時間」「5時間～10時間」となっているが、大学院生では「1時間未満」が最も多い(36.0%)点で異なっている。

過去の調査と比較して、全体的な傾向は、多少の変動はあるものの、同様であると考えられた。



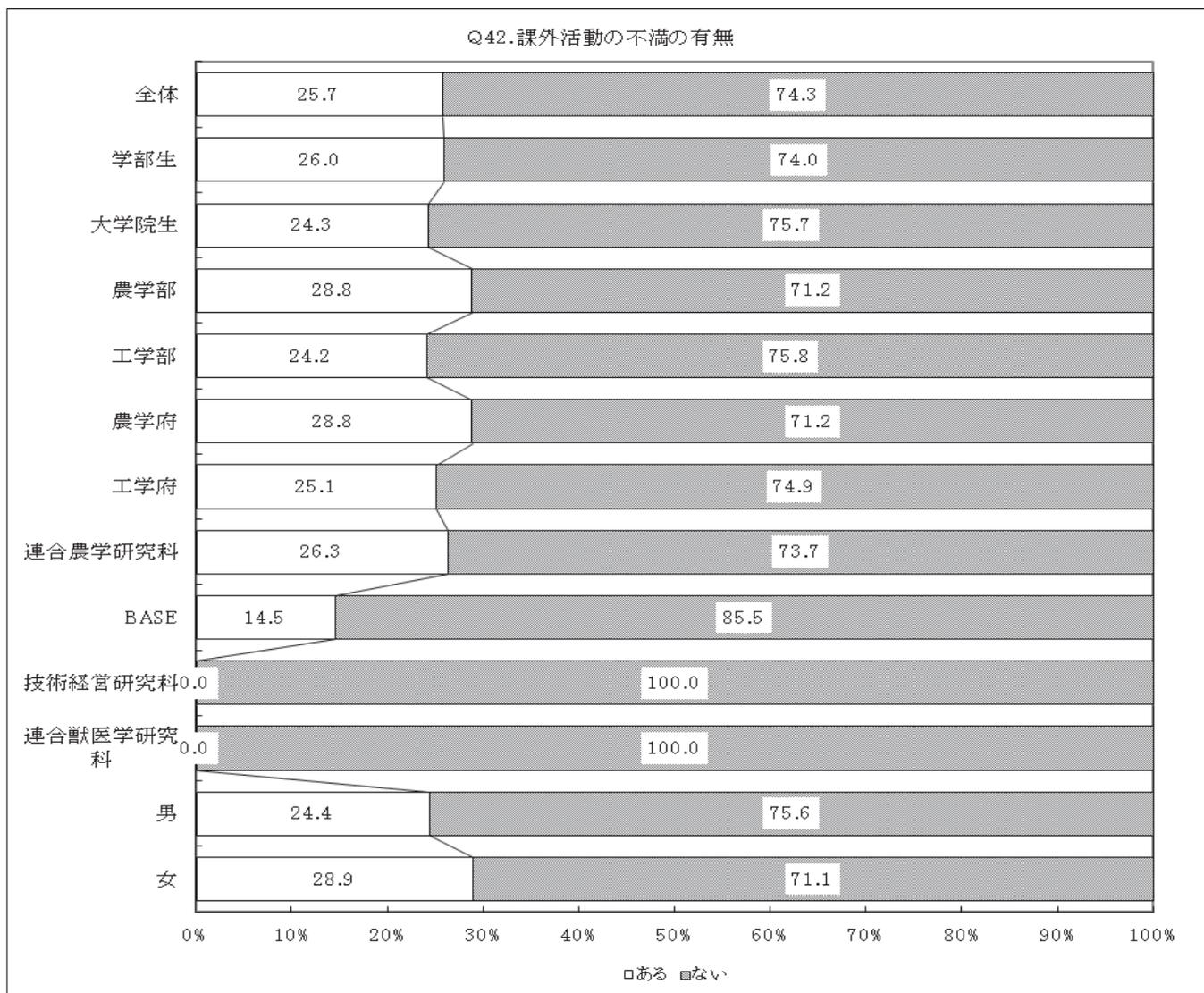
調査年度	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
1時間未満	27.2	21.6	16.8	17.5	20.7
1時間～5時間未満	35.8	33.9	37.0	36.1	35.0
5時間～10時間未満	20.1	24.9	26.5	26.0	27.6
10時間以上	16.9	19.7	19.7	20.4	18.5

第1回、第2回については、設問の形式が第3回目以降とは異なり、1日当たりの活動時間としていたため、今回データ比較を行えなかった。

4.2. 課外活動の不満の有無

課外活動に関して不満があると回答したのは、全体で25.7%であり、全体の3/4の学生が満足しているという結果であった。

前回の調査と比較すると、不満がないという回答が約5%増えている。

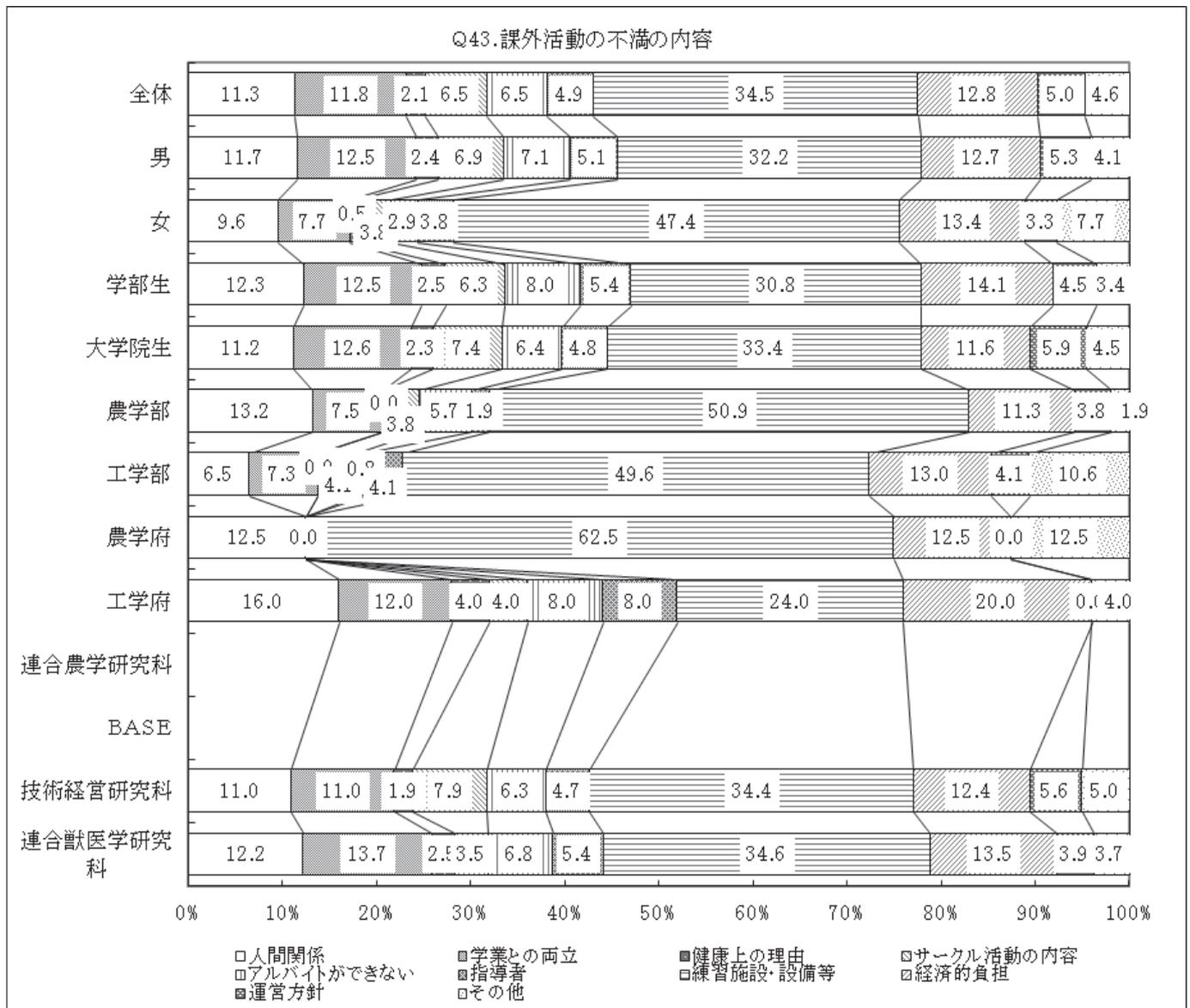


調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
年度	H6	H9	H12	H15	H17
満足している	87.3	53.3	54.0	---	---
満足していない	11.0	46.7	46.0	---	---

調査	第6回	第7回
年度	H21	H24
不満がある	30.3	25.7
不満がない	69.7	74.3

4.3. 課外活動の不満の内容

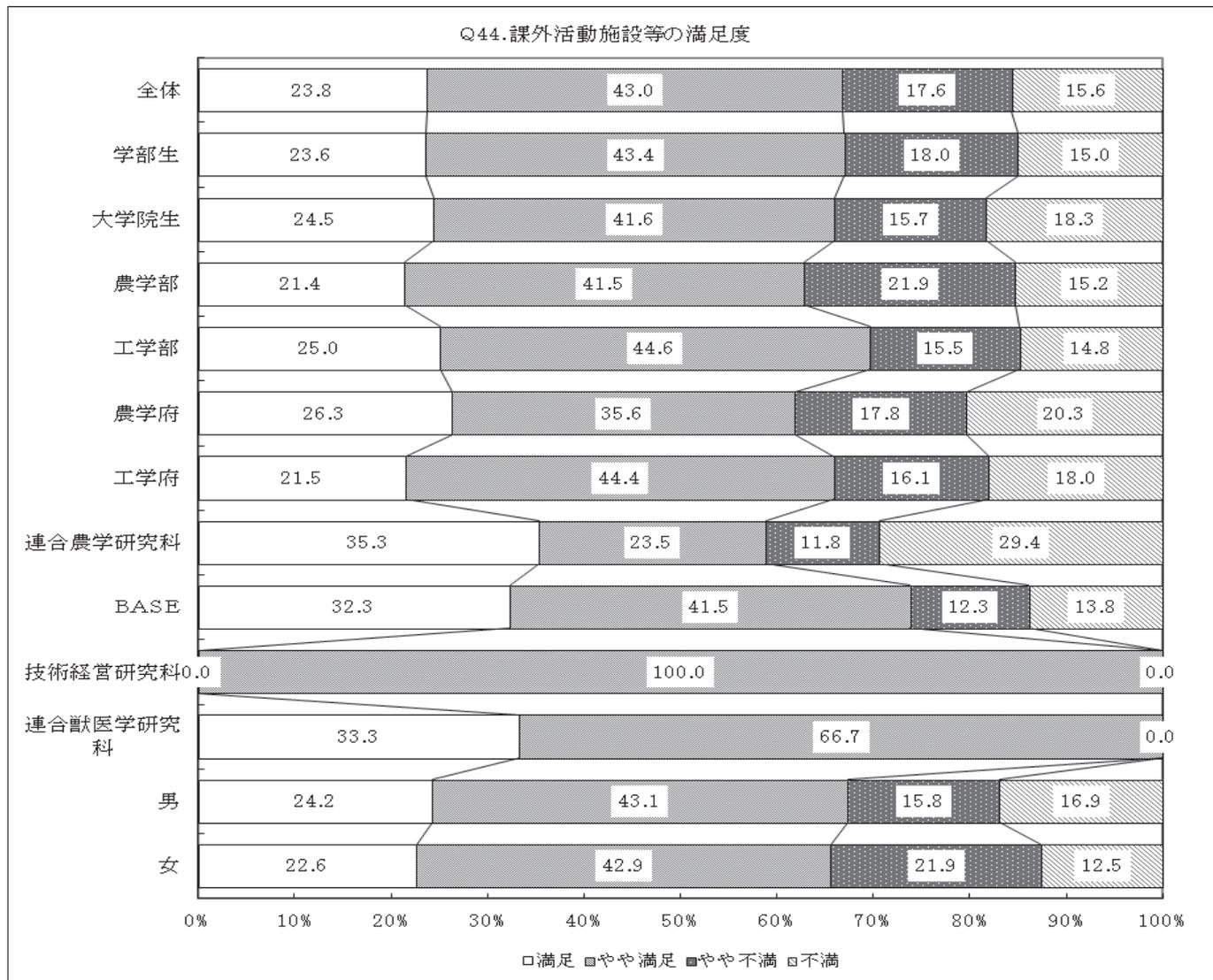
課外活動に関する不満の内容については、「練習施設・設備等」に関するものが最も多く、34.5%を占めていた。ついで、「経済的負担」(12.8%)、「学業との両立」(11.8%)、「人間関係」(11.3%)が同程度に多かった。過去の調査と比較すると、全体的傾向としては同様であると考えられる。



4.4. 課外活動施設等の満足度

課外活動施設等の満足度については、全体として、「満足」が23.8%、「やや満足」が43.0%であり、これら合わせると全体のおよそ2/3であった。学部生、大学院生を通じてほぼ同様の数値であり、男女間の差もなかった。

前回の調査と比較すると、「満足」と「やや満足」を合わせて、約2%程度満足度が上昇していた。



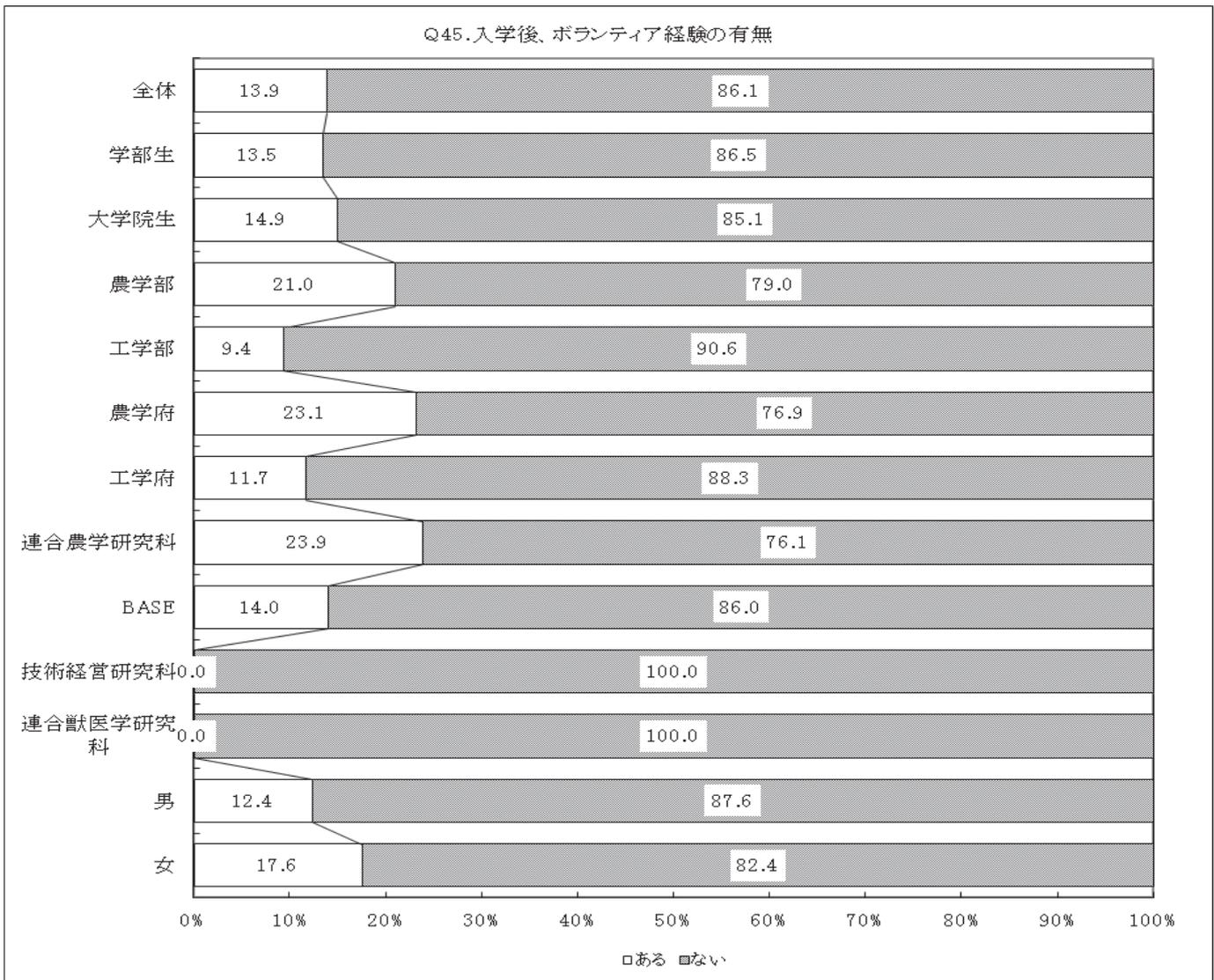
調査	第6回	第7回
年度	H21	H24
満足	21.7	23.8
やや満足	43.0	43.4
やや不満	21.8	18.0
不満	13.5	15.0

第Ⅶ章 ボランティア活動

45. 入学後、ボランティア経験の有無

全体では、「ある」と回答したのは13.9%であり、残りの86.1%はボランティア活動の経験はない。男子学生と女子学生を比較すると、女子学生(17.6%)の方が、男子学生(12.4%)より割合が高い。さらに、大学院生(14.9%)の方が、学部生(13.5%)よりボランティア活動の経験をした割合が若干高い。両学部生を比較すると、農学部生(21.0%)の方が、工学部生(9.4%)よりも割合が高い。

これまでの調査を振り返ると、H12年度まで「ある」と回答した割合は約28%であったが、平成15年度には16.0%まで低下し、以後13~14%で推移している。

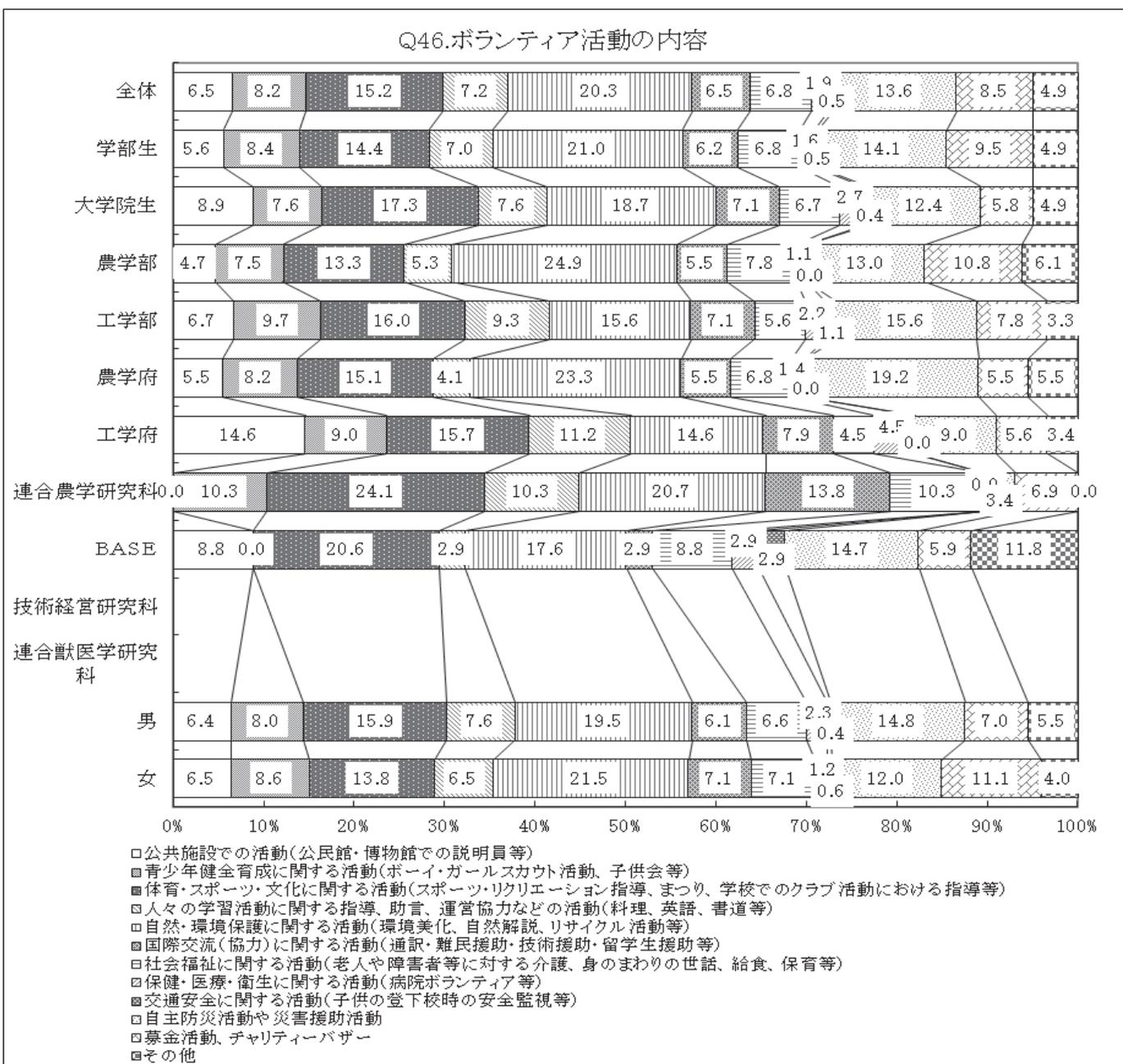


調査	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H9	H12	H15	H17	H21	H24
ある	27.6	27.9	16.0	13.6	13.4	13.9
ない	72.4	72.1	84.0	86.4	86.6	86.1

4.6. ボランティア活動の内容

全体では、「自然・環境保護に関する活動（環境美化、自然解説、リサイクル活動等）」（20.3%）が最も多く、「体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・リクリエーション指導、まつり、学校でのクラブ活動における指導等）」（15.2%）、「自主防災活動や災害援助活動」（13.6%）が続いた。学部別にみると、工学部ではこれら3項目は同程度に多く、農学部では「自然・環境保護に関する活動（環境美化、自然解説、リサイクル活動等）」が際立って多かった。工学部では、一般的に偏りなく様々なボランティア活動に参加した、という結果が得られた。

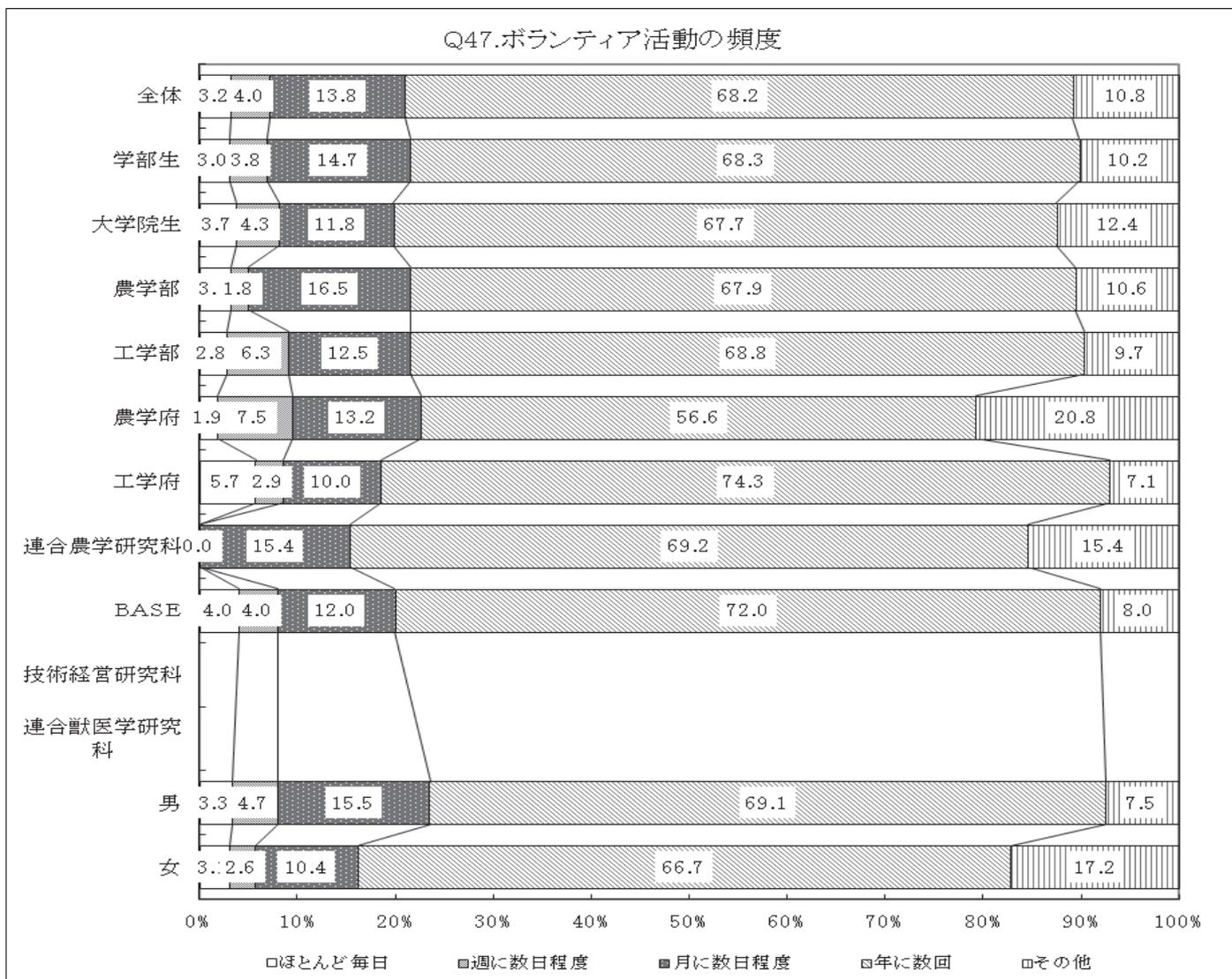
また、男子学生、女子学生を比較すると、ほぼ同様の傾向であった。



4.7. ボランティア活動の頻度

ボランティア活動の頻度については、「年に数回」が最も多く、全体では68.2%を占めていた。全般的傾向として、農学部、工学部間に差はなく、男女の比較についても同様であった。

今回の結果を前回の調査と比較すると、ほぼ同様の結果であり、前々回以前の傾向とも類似していた。

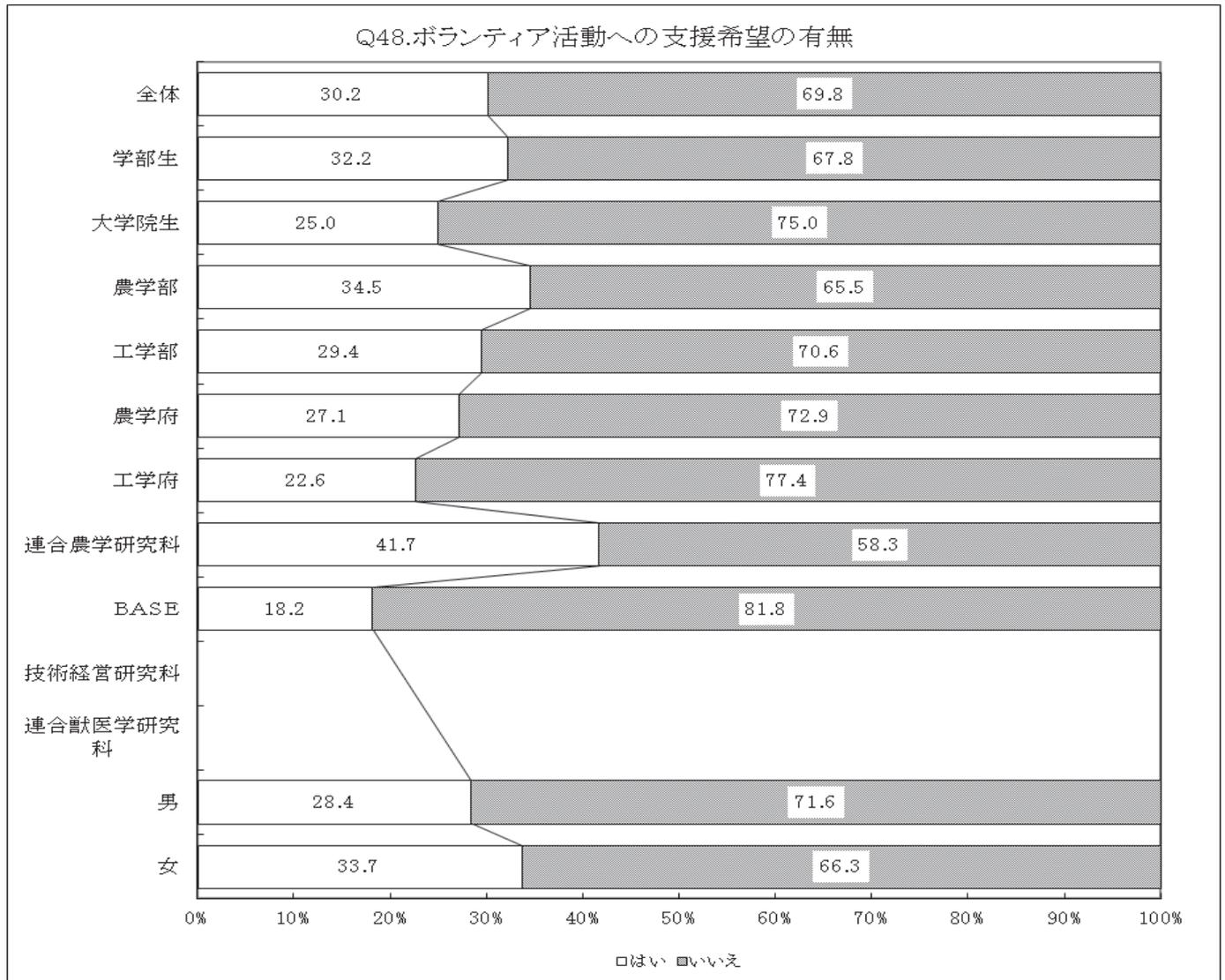


調査	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H12	H15	H17	H21	H24
ほとんど毎日	0.4	1.6	2.6	1.8	3.2
週に数日程度	5.0	6.1	8.9	5.9	4.0
月に数日程度	14.2	15.0	15.4	16.9	13.8
年に数回	48.1	65.2	61.6	69.2	68.2
その他	32.3	12.1	11.4	6.2	10.8

48. ボランティア活動への支援希望の有無

ボランティア活動への支援希望については、「なし」が多く、全体として69.8%を占めていた。両学部間、ならびに、男女間でそれほど差はなく、ほぼ同様の傾向であった。

前回調査の結果と比較すると、支援希望ありが前回23.6%であったことと比較すると、6.6%増えていた。

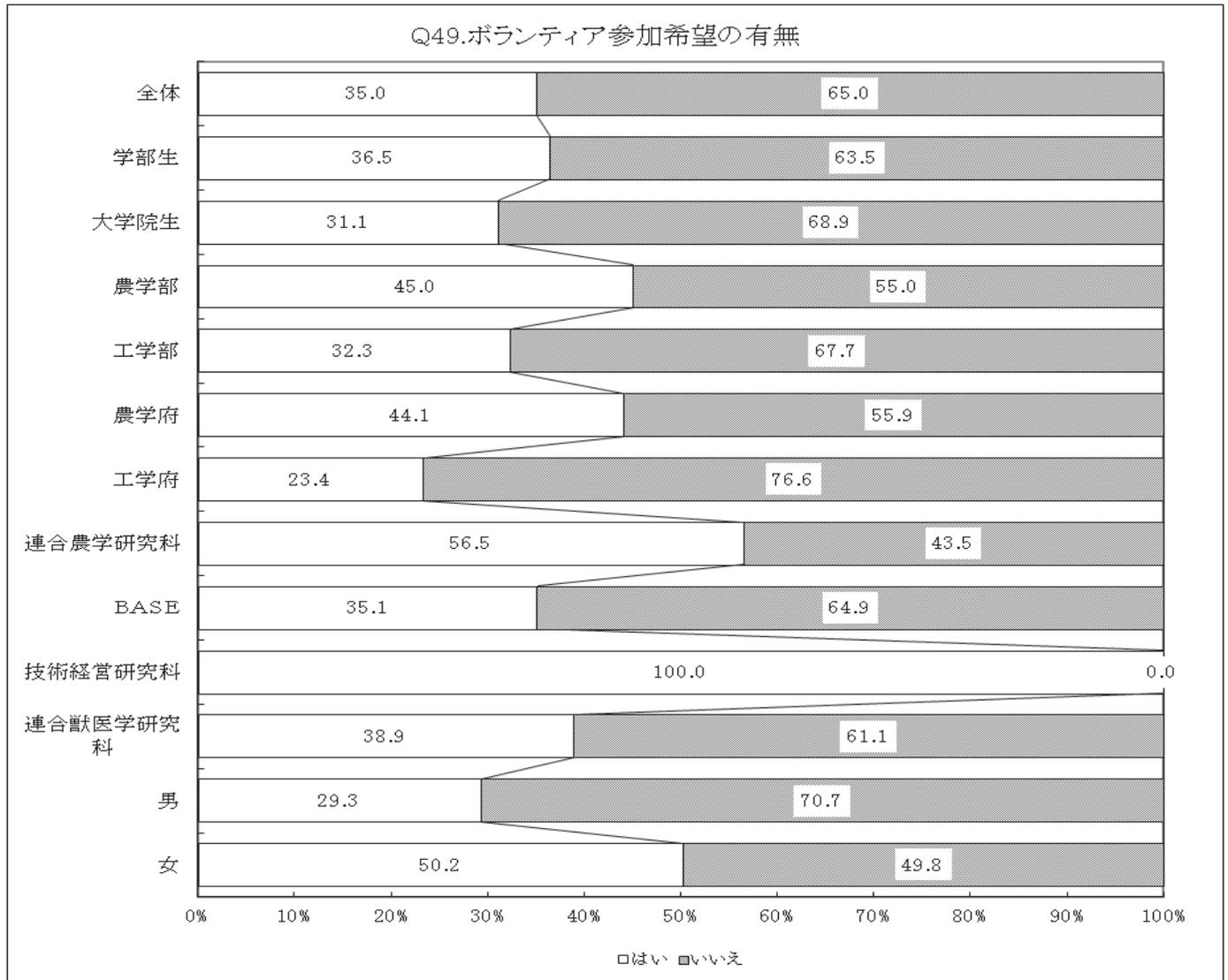


49. ボランティア参加希望の有無

ボランティア参加希望の有無については、全体として、参加希望が 35.0%であった。

参加希望は、農学部では 45.0%、工学部では 32.3%で、農学部の方が積極的であった。また、男子学生と女子学生を比較すると、女子学生(50.2%)は過半数が希望しており、男子学生(29.3%)をはるかに上回っていた。

今回の調査の結果は、前回と比較すると、参加希望者の割合が約 8%上昇したが、平成 17 年度以前は参加希望者が 60%以上いたことと比較すると、かなり低い値となっている。



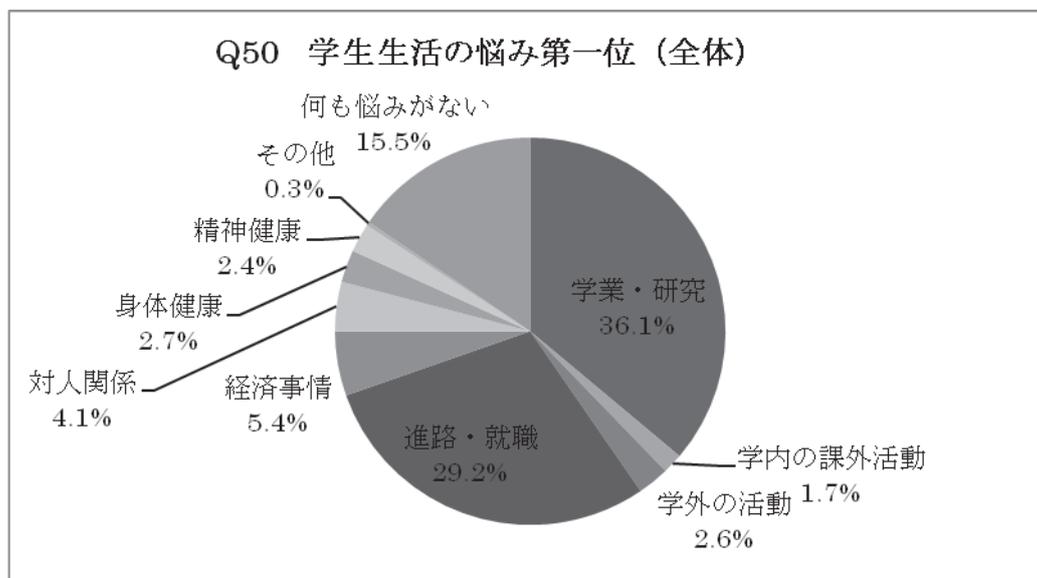
調査	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
年度	H9	H12	H15	H17	H21	H24
はい	60.8	64.7	---	---	26.9	35.0
いいえ	39.2	35.3	---	---	73.1	65.0

第4回、第5回は設問形式が異なるため、今回のまとめには入れなかった。

第Ⅷ章 学生生活

50. 学生生活の悩み

学生生活の悩みの二大テーマは、学業・研究と進路・就職である。これは8年前の第5回調査結果から続く傾向であり、学生の関心の高さがうかがえる。昨年度との比較では、「何も悩まない」という学生が全体の15.5%で、前回(11.3%)より増加しているが、これは全体的な回収率の増加の影響もあるかもしれない。無回答が2.9%で、前回(4.2%)よりは減少している。



<第1位に選択された悩み>

悩みの強さ第1位は、選択率の高い順に「学業・研究」36.1% (前回34.0%)、「進路・就職」29.2% (30.2%)、「経済事情」5.4% (5.2%)、「対人関係」4.1% (4.5%)、「身体健康」2.7% (2.7%)、「学外の活動」2.6% (2.3%)、「精神健康」2.4% (2.8%)、その他は、通学時間の長さや「出会いがない」などであった。

「精神健康」と「身体健康」を合わせて『心身健康問題』とすると全体の5.0% (無回答を含めた総数から算出) であり、前回の5.5%からは若干減少している。「対人関係」と「精神健康」の悩みは、第5回調査から少しずつ減少傾向であり、心理的な悩みよりも現実的な学業や就業に強く関心が向いてきているのかもしれない。

一方で、経済事情が若干増加して『心身健康問題』を上回る結果となった。2011年3月の東日本大震災や長引く不況の影響の影響が考えられる。

選択された悩みに性差はあまりみられない。進路就職の悩みについて、前は男性が31.4%、女性31.4%と差がみられなかったが、今回は若干女性の方が高い値となった。

所属・学年別にみると、学部生より大学院生の方が進路・就職の悩みが減少し、「何も悩まない」という割合も多い(学部生13.8%、大学院生20.2%)。前回の調査と比べて、大学院生の「進路・就職」の悩みが32.5%から26.3%へと大幅に減少していることは注目に値する。特に農学府の「進路・就職」の悩みは、前回40.0%から今回の28.9%と大幅にポイントを下げている。

農学部と工学部の比較では、農学部の学生は「進路・就職」の悩み(34.9%)を一番に感じており、工学部の学生は「学業・研究」の悩み(39.0%)を強く感じていることがわかる。ところが大学院になるとその傾向は逆転し、農学府の学生は「学業・研究」の心配が強まり、工学部の学生は「進路・就職」の悩みが減り、「悩みがない」の割合が高くなっている。工学部の学生とは博士後期課程の学生が含まれていることも関連しているだろう。

学年別でみると、就職活動期を迎えた学部3年次と修士1年次の「進路・就職」の悩みが高くなっている。「学業・研究」に関しては、学部の1年次が44.1%と非常に高い値となっている。

留学生と連合農学研究科の学生は、「経済事情」を一番の悩みとして挙げる割合が高くなっている。

「対人関係」の悩みは、若干女性に多く（男性 3.8%、女性 5.0%）、学年別では大学院修士 2 年次以上の 6.8%が「対人関係」を一番の悩みに挙げており、もっとも高い値となっている。

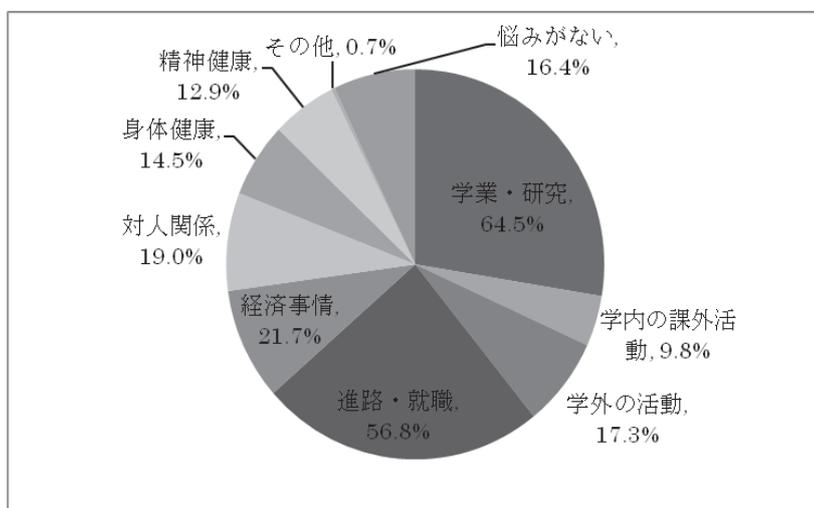
Q50-1 学生生活上の悩み（第一位） (%)

	学業・研究	学内の課外活動	学外の活動	進路・就職	経済事情	対人関係	身体健康	精神健康	その他	何も悩まない
全体	36.1	1.7	2.6	29.2	5.4	4.1	2.7	2.4	0.3	15.5
男	36.4	1.5	2.8	27.6	5.3	3.8	2.4	2.5	0.2	17.4
女	35.5	2.0	2.0	33.0	5.6	5.0	3.4	2.1	0.6	10.7
学部生	36.2	2.2	3.3	30.2	5.1	4.2	2.6	2.2	0.4	13.8
大学院生	36.1	0.2	0.8	26.3	6.1	4.2	3.1	2.9	0.2	20.2
農学部	31.0	3.2	4.0	34.9	5.3	4.3	3.8	1.7	0.3	11.6
工学部	39.0	1.7	2.9	27.7	5.0	4.1	1.9	2.5	0.4	15.0
農学府	36.8	0.4	0.8	28.9	6.7	2.9	1.7	3.8	0.0	18.0
工学府	35.6	0.0	0.8	26.1	5.5	4.4	3.2	2.9	0.2	21.3
連合農学研究科	32.8	0.0	0.0	28.4	11.9	3.0	3.0	3.0	1.5	16.4
BASE	37.4	0.6	1.1	23.0	5.2	5.7	3.4	2.3	0.0	21.3
学部 1 年次	44.1	3.4	6.5	16.7	4.2	4.8	3.7	2.4	0.4	13.9
学部 2 年次	36.0	3.7	3.4	30.6	4.1	3.9	3.9	1.6	0.4	12.3
学部 3 年次	30.8	1.4	1.4	46.4	4.3	3.3	1.5	1.3	0.1	9.5
学部 4 年次以上	34.4	0.9	1.9	28.7	6.8	4.6	1.3	3.0	0.5	18.0
大学院修士 1 年次	28.2	0.2	1.0	42.2	6.0	2.7	1.9	3.3	0.2	14.4
大学院修士 2 年次以上	40.5	0.0	0.6	11.0	7.3	6.5	4.3	3.2	0.0	26.5
大学院博士	42.9	0.0	0.5	19.8	6.5	2.3	3.2	2.8	0.5	21.7
留学生	45.1	0.6	1.2	21.0	12.3	2.5	1.9	0.0	0.0	15.4

Q50-第 4 位までに選択された悩みの回答の合計

第 4 位までに選択された悩みをすべて合計し、その内訳をみると、やはり「学業・研究」が 64.5%で一番多く選択されており、次いで「進路・就職」が 56.8%と高くなっている。これは前回の結果とほぼ同じである。「経済事情」は 21.7%で第 3 位となるが、前回（24.0%）よりは若干減少している。次いで「対人関係」の 19.0%、これも前回の 23.0%よりは若干減少している。

「精神健康」「身体健康」を合わせて『心身健康問題』とすると合計 37.4%となり、前回の 32.2%より増加している。

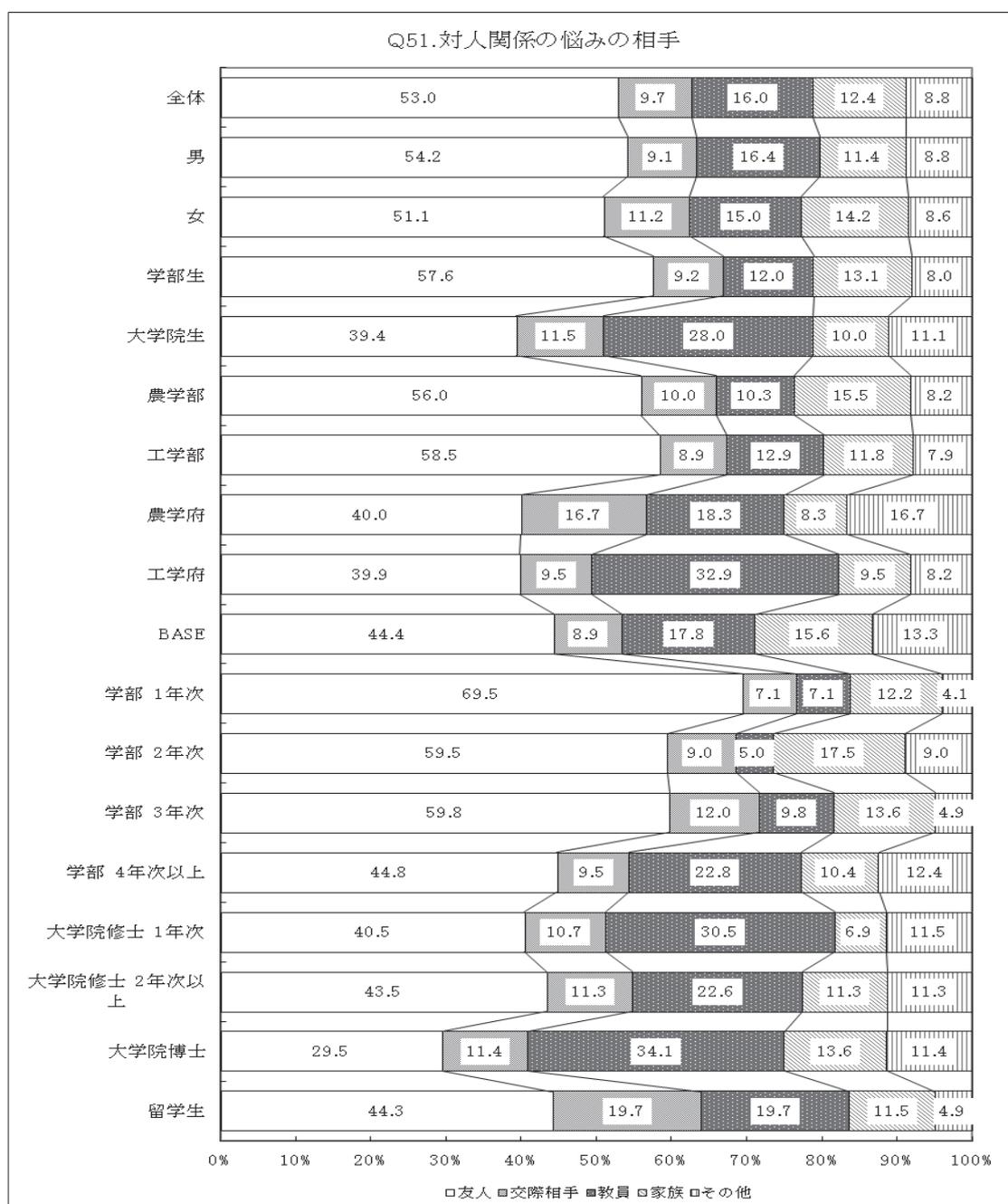


5 1. 対人関係の悩みの相手

対人関係の悩みをあげた割合は19.0%であるが、その悩みの相手は、53.0%が「友人」となっている。前回調査では「友人」は47.3%だったので若干増加している。反面で「交際相手」は9.7%で前回の22.6%より半減している。これは、今回の調査で、悩みの相手について「異性」という選択肢を「交際相手」に変更したことも大きな要因となっていると思われる。交際相手ではないが異性について悩みを抱えている学生が少なくないことが推察される。男女差でみると、女子学生は「交際相手」や「家族」についての悩みが男子学生よりもやや多い。

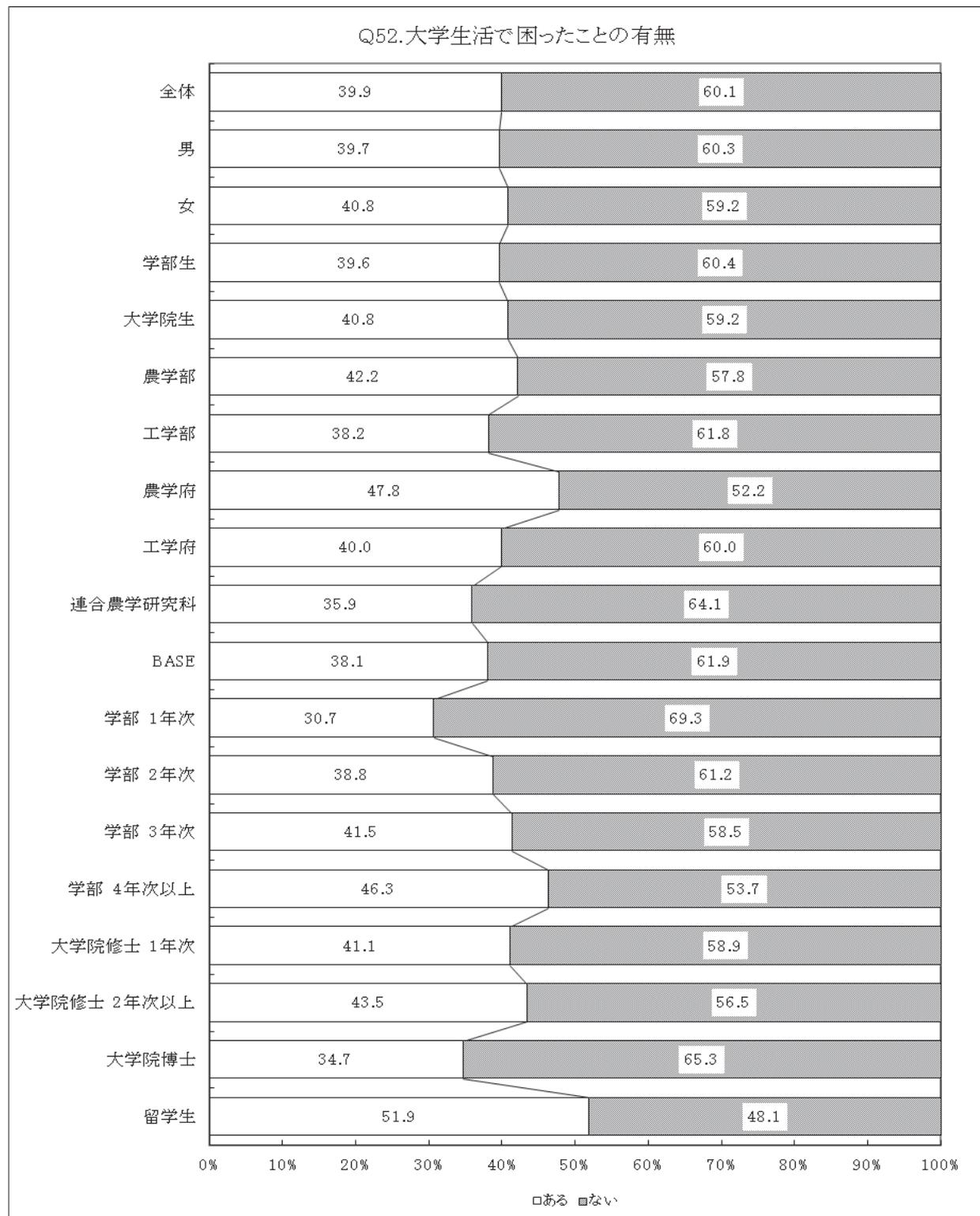
悩みの相手として「教員」を選択する割合が、前回の13.9%から16.0%と若干増加している。

悩みの相手については、学年間の差が大きいことが特徴である。「教員」との悩みは、研究室配属後の4年次より急増しており、20~30%の割合を占めるようになってきている。特に工学府の学生は農学府の学生よりも「教員」との悩みが多い。これは、工学府には博士後期課程の学生が含まれており、より教員と接する時間や密度が濃いことが影響していると思われる。その他は、「バイト先の人」、「先輩」「後輩」などがあつた。



52. 大学生活で困ったことの有無

全体では、困ったことが「ある」が39.9%（男性39.7%、女性40.8%）、「ない」が60.1%であった。前回は「ある」が46.9%（男性45.7%、女性50.3%）であり、今回はかなり減少しているといえる。農学府の学生の「ある」の回答がやや多く、卒業年次の学生も若干多くなっている。留学生は半数以上（51.9%）が何らかの困難を抱えながら生活していることが分かる。

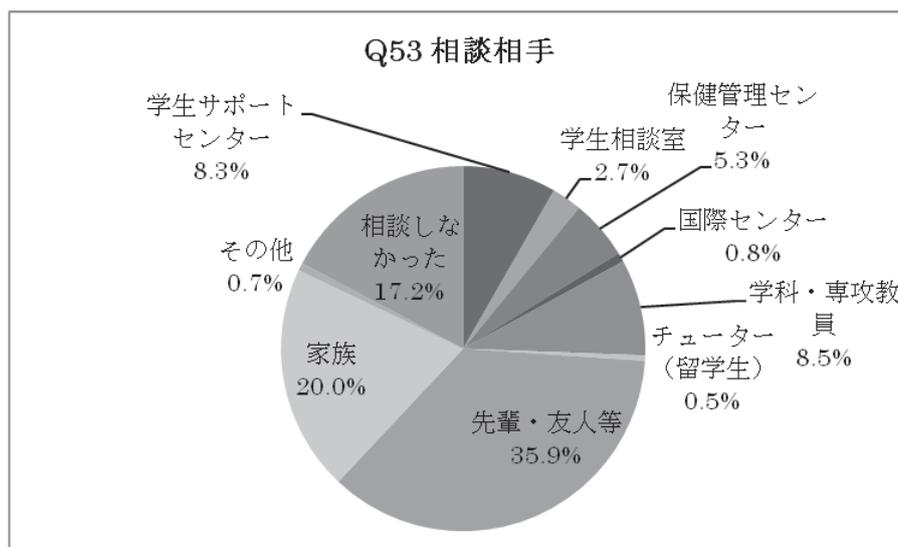


53. 相談相手

困ったことがあると回答した 1690 件に対して、困ったときの相談相手(場所)について複数回答可で回答を求めた(3つまで選択可能)。総回答数は 2854 件で、選択された相談相手(場所)の割合を以下に示す。

全体では「先輩・友人」が 35.9% (前回 38.8%) で最も高く、次いで「家族」20.0% (19.9%) となっている。「相談しなかった」割合は 17.2% で、前回 (17.6%) と同様の値となっている。

「学科・専攻教員」は 8.5% と前回の 7.5% よりやや増加している。学生の悩みの第一位が「学業・研究」であり、教員へ相談することが増えているのかもしれない。「学生サポートセンター(教務係・学生生活係)」への相談、「学生相談室」への相談も若干増えており、相談先が少しずつ多様化しているといえるかもしれない。「その他」としては、「指導教員」、「病院」などがあつた。



男女では、女子学生の方が男子学生よりも「家族」に相談しており(男性 18.5%、女性 23.5%)、この傾向は前回と同様である。しかし男子学生が家族に相談する割合は、前回の 16.9% よりも若干増加している。

「誰にも相談しなかった」割合は、男子学生 19.6%、女子学生 12.0% で男子学生に多く、農学部 14.5%、工学部 21.5% で、男性の多い工学部に多い。学部 1 年次の学生は、「誰にも相談しない」(24.4%) が多いが、学生サポートセンターを比較的多く利用しているといえる(12.1%)。

恐らく悩みの内容の違いに伴い、相談相手についても学部、学年ごとに若干の差がみられている。学年別では、「先輩・友人等」や「家族」への相談割合には大きな差はない。「学生相談室」や「保健管理センター」への相談割合は、恐らく認知度とともに学年があがるごとに利用される割合も多くなっている。

Q53 困ったときの相談先 (%)

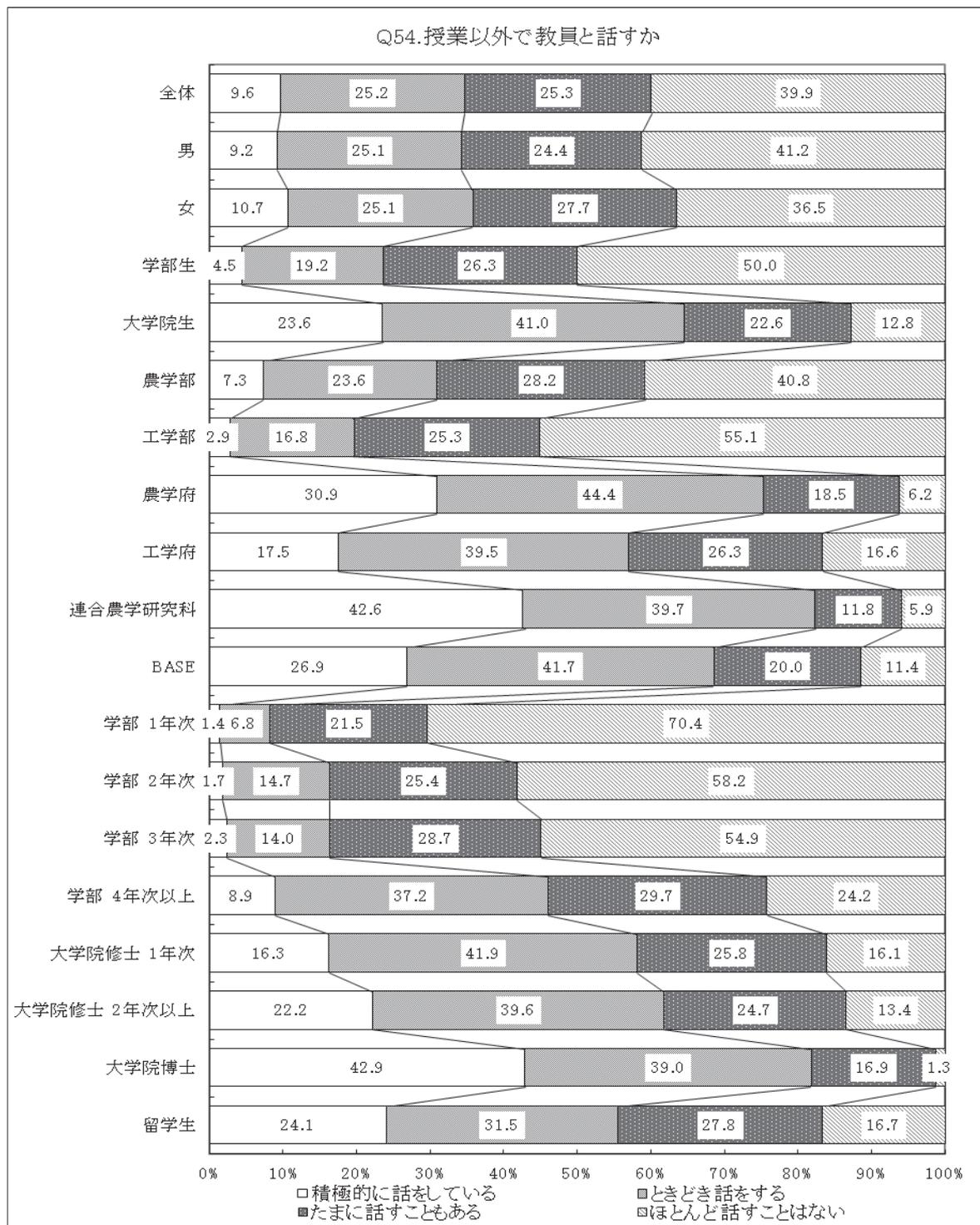
	学生サポートセンター	学生相談室	保健管理センター	国際センター	学科・専攻教員	チューター(留学生)	先輩・友人等	家族	その他	相談しなかった
全体	8.3	2.7	5.3	0.8	8.5	0.5	35.9	20.0	0.7	17.2
男	9.0	2.9	4.2	0.8	9.0	0.5	34.8	18.5	0.7	19.6
女	6.9	2.1	7.3	0.9	7.5	0.6	38.5	23.5	0.7	12.0
学部生	8.9	2.4	5.1	0.8	6.2	0.4	36.7	20.2	0.7	18.7
大学院生	6.9	3.3	5.8	0.8	14.0	0.7	34.2	19.7	0.8	13.8
農学部	10.0	2.4	6.4	0.5	8.4	0.1	36.3	21.0	0.4	14.5
工学部	8.1	2.4	4.2	1.0	4.8	0.6	36.9	19.7	0.8	21.5
農学府	6.9	2.8	7.3	0.5	15.6	0.5	35.3	19.3	0.5	11.5
工学府	7.3	3.3	5.3	1.1	12.2	0.4	34.4	20.2	0.4	15.1
連合農学研究科	9.4	5.7	9.4	0.0	20.8	1.9	35.8	15.1	0.0	1.9
BASE	5.1	3.4	3.4	0.8	14.4	1.7	28.8	19.5	3.4	19.5
学部 1年次	12.1	1.7	4.0	0.6	4.3	0.6	34.2	17.5	0.6	24.4
学部 2年次	8.6	1.8	2.4	0.7	4.8	0.2	38.1	22.0	0.7	20.7
学部 3年次	9.6	2.9	5.7	1.6	5.5	0.6	38.4	20.2	0.6	15.1
学部 4年次以上	7.2	2.6	7.2	0.2	8.3	0.0	36.1	20.6	0.8	16.9
大学院修士 1年次	4.4	3.2	5.8	0.0	12.0	0.3	35.3	19.2	1.7	18.1
大学院修士 2年次以上	8.4	3.1	5.2	0.8	11.5	0.8	35.0	21.7	0.3	13.3
大学院博士	8.1	4.4	5.6	3.8	23.8	2.5	29.4	15.6	0.0	6.9
留学生	6.4	1.7	2.9	7.0	14.0	7.6	34.3	18.0	1.7	6.4

5 4. 教員との対話

授業以外で教員と話をするかの設定問に対して、4352 件の回答があった。全体としては、「積極的に話をしている」9.6%（前回 10.2%）、「ときどき話をする」25.2%（25.7%）、「たまに話すこともある」25.3%（26.7%）、「ほとんど話すことはない」39.4%（37.4%）となっている。「ほとんど話すことがない」と答えた学生の方が、学部生を中心に若干増えている。男女差はあまりみられず、学部や学年でのばらつきが大きい。

研究室配属後の4年次から教員と話をするが増加しているのは当然であるが、4年次でも24.2%の学生が、教員とほとんど対話することがないのが気になる。工学府には博士後期課程の学生が含まれているが、教員と接する時間が長いにも関わらず、対話は少ないという結果になった。農学部、農学府、連合農学研究科は比較的授業以外の教員との対話が多いのも特徴的である。

学部1～3年次の学生の多くが、教員との対話が非常に少ないまま研究室へ配属されることになる。



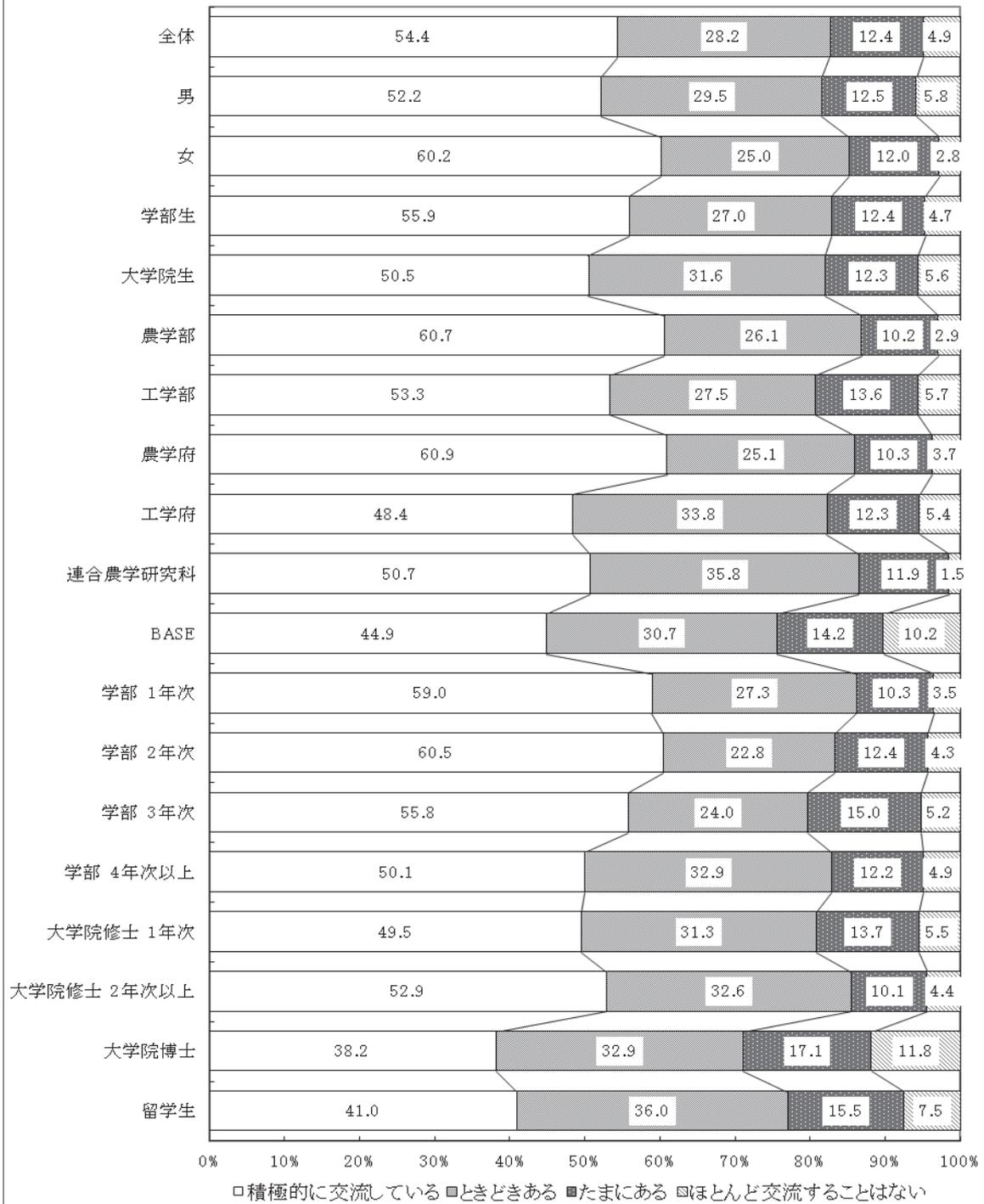
5.5. 学生同士の交流

今回の調査から新たに追加した項目である。授業以外での学生同士の交流について質問した。「積極的に交流している」54.4%、「ときどきある」28.2%、「たまにある」12.4%、「ほとんど交流することはない」4.9%となった。女子学生の方が若干交流は多い。

Q55.授業以外での学生同士の交流

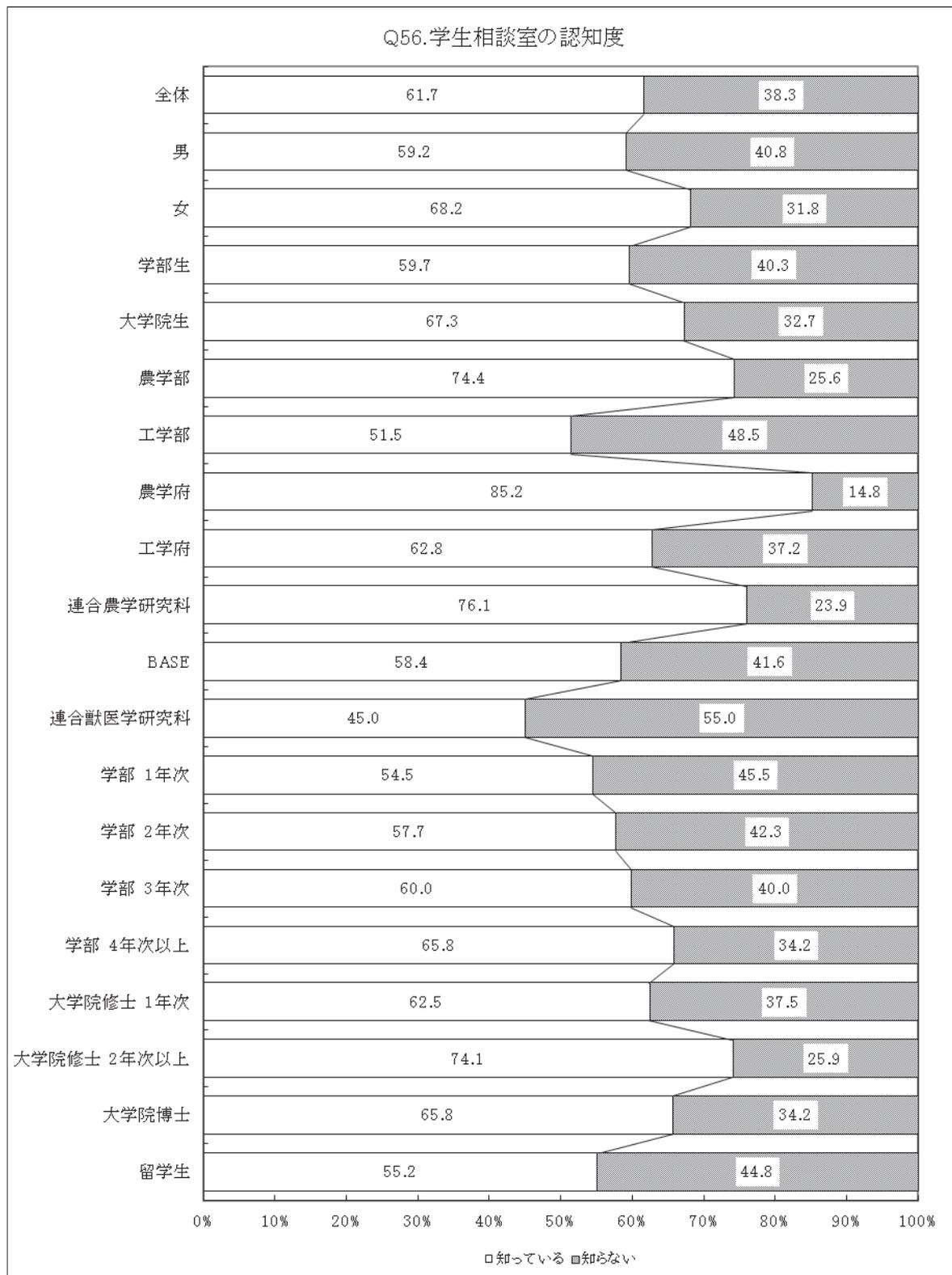
	合計	積極的に交流している	ときどきある	たまにある	ほとんど交流することはない
全体	4348	2367	1228	538	215
男	3090	1612	911	387	180
女	1243	748	311	149	35
学部生	3164	1770	854	392	148
大学院生	1172	592	370	144	66
農学部	1132	687	296	116	33
工学部	2032	1083	558	276	115
農学府	243	148	61	25	9
工学府	665	322	225	82	36
連合農学研究科	67	34	24	8	1
BASE	176	79	54	25	18
学部 1年次	770	454	210	79	27
学部 2年次	744	450	170	92	32
学部 3年次	726	405	174	109	38
学部 4年次以上	871	442	285	102	42
大学院修士 1年次	527	261	165	72	29
大学院修士 2年次以上	476	252	155	48	21
大学院博士	217	94	64	33	26
留学生	161	66	58	25	12

Q55.授業以外の学生同士の交流



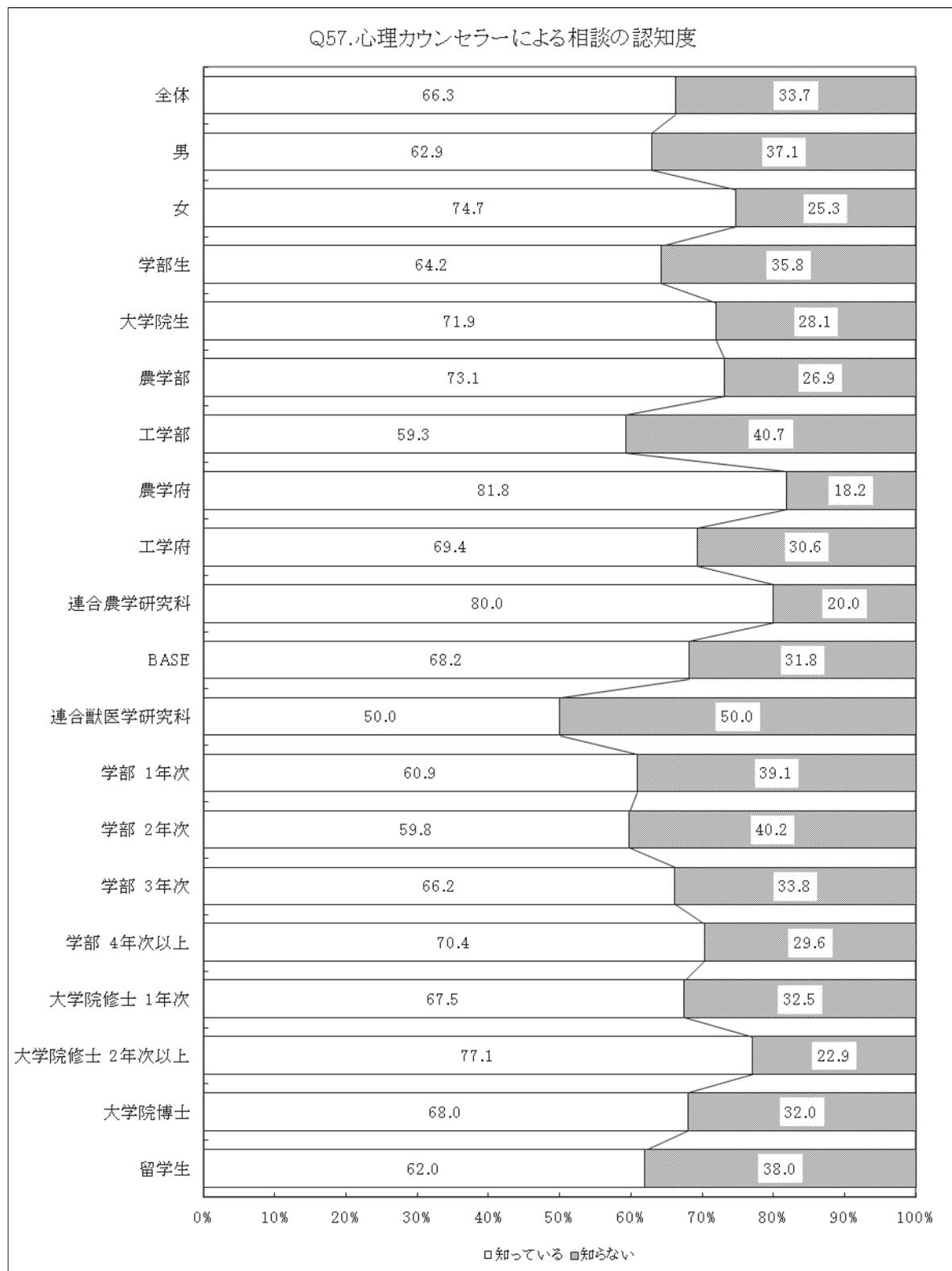
56. 学生相談室の認知度

各キャンパスに学業・進路・就職などの相談に応じる学生相談室が開設されているのを知っているかの問いに、全体の61.7%が「知っている」と回答している。前回の57.2%よりは若干増加したが、前々回は67.4%であり、まだ全体への周知方法に課題があることが伺える。認知度では、1年次（54.5%）、工学部（51.5%）がやや低い値となっている。農学府（85.2%）や連合農学研究科（76.1%）は前回同様高い認知度となっている。



5.7. 保健管理センター カウンセラーの認知度

平成24年度より専任のカウンセラーが着任したが、カウンセラーの認知度は全体で66.3%、前回(65.2%)とほぼ同じ結果となった。男性よりは女性、工学部よりは農学部で認知度が高い。1年次で60.9%の学生がカウンセラーの存在を知っているが、学年が上がっても認知度は70%程度にとどまっており、周知方法に工夫が必要と思われる。



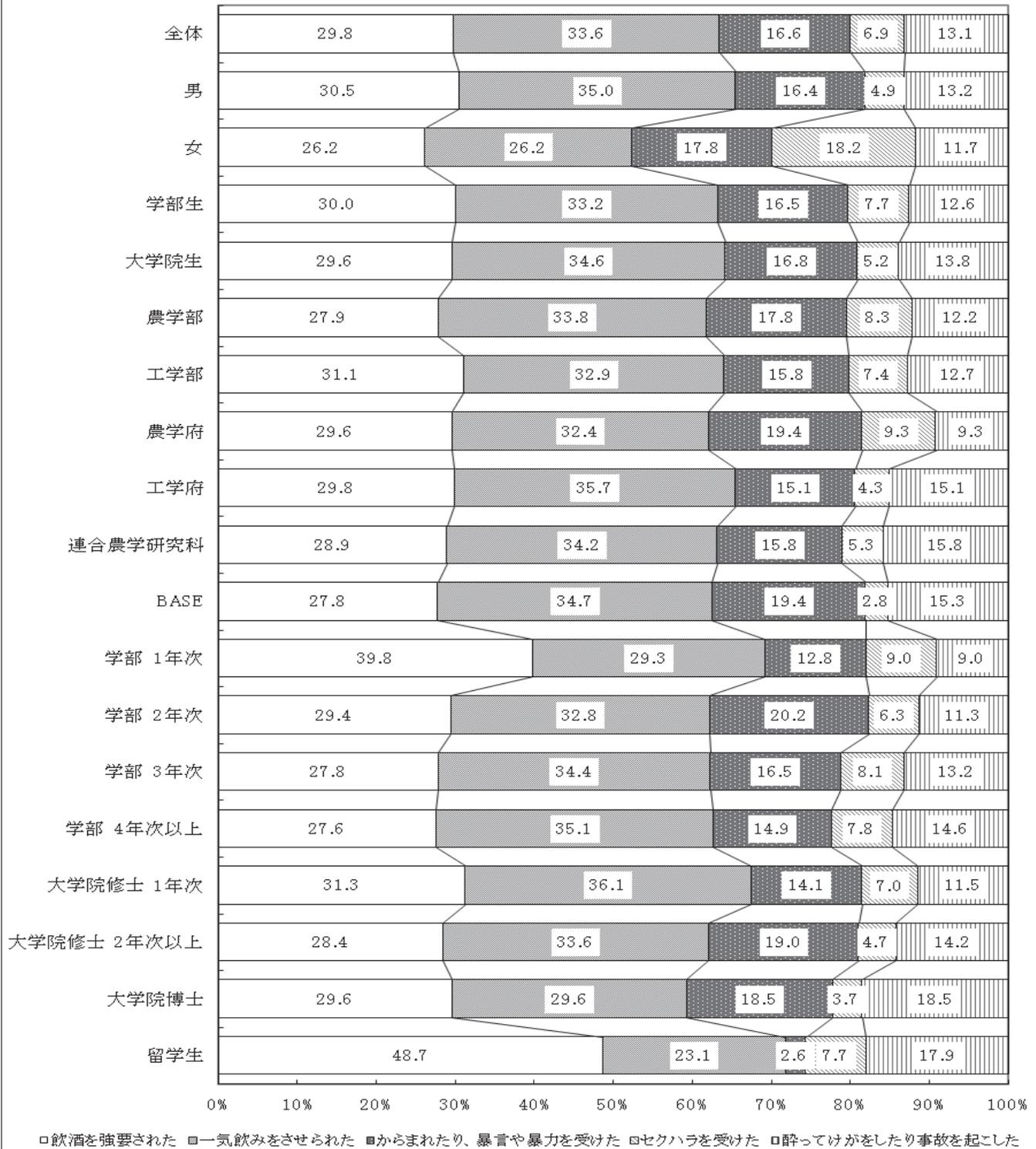
58. 飲み会・コンパなどでの経験

飲み会やコンパでの不快・危険経験について複数回答可として以下の項目について経験を訊ねた。その結果、全体の81.5%は無回答であったが、全体の約2割の学生が飲み会やコンパなどで危険あるいは不快な経験をしていることになる。内訳は、「飲酒を強要された」が10.0%、「一気飲みをさせられた」が11.3%と10人に1人が飲酒場面での危険な行動の経験があることが分かった。前回は「飲酒の強要」が13.7%、「一気飲み」が17.1%なので、これらは減少傾向にあることが分かる。一方で、「セクハラを受けた」2.3%、「酔ってけがをしたり事故を起こした」4.4%は前回と変わっておらず、飲酒の危険度やハラスメント防止の啓発活動に課題が残る。

Q58: 飲み会・コンパなどで次のような経験はありますか。(複数回答可) (MA)

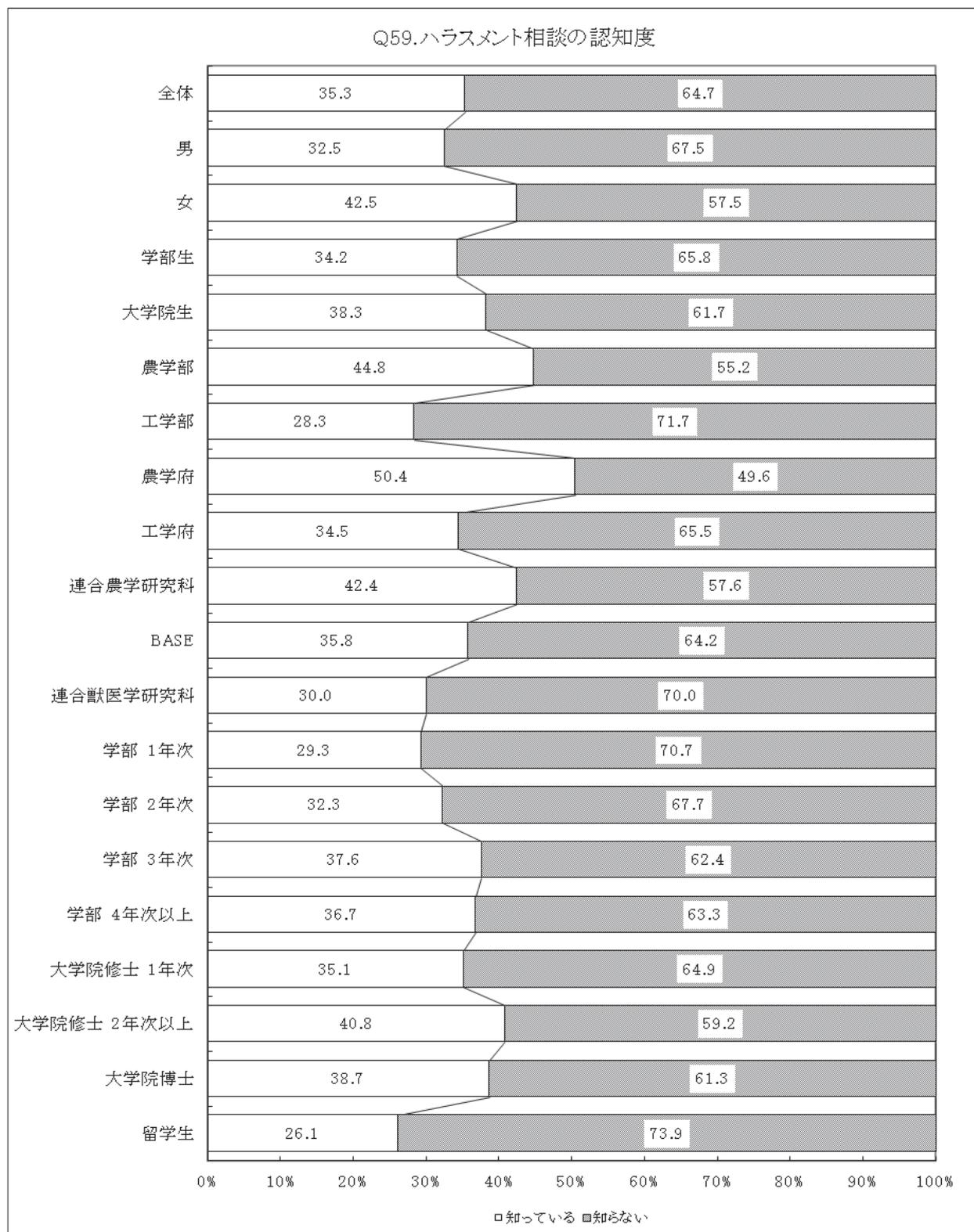
	回答数	今回 %	(前回 %)
全体	4424	100.0	
1 飲酒を強要された	441	10.1	13.7
2 一気飲みをさせられた	498	11.3	17.1
3 からまれたり、暴言や暴力を受けた	245	5.5	7.9
4 セクハラを受けた	102	2.3	1.9
5 酔ってけがをしたり事故を起こした	194	4.4	4.6
無回答	3605	81.5	72.8

Q58.飲み会・コンパでの経験



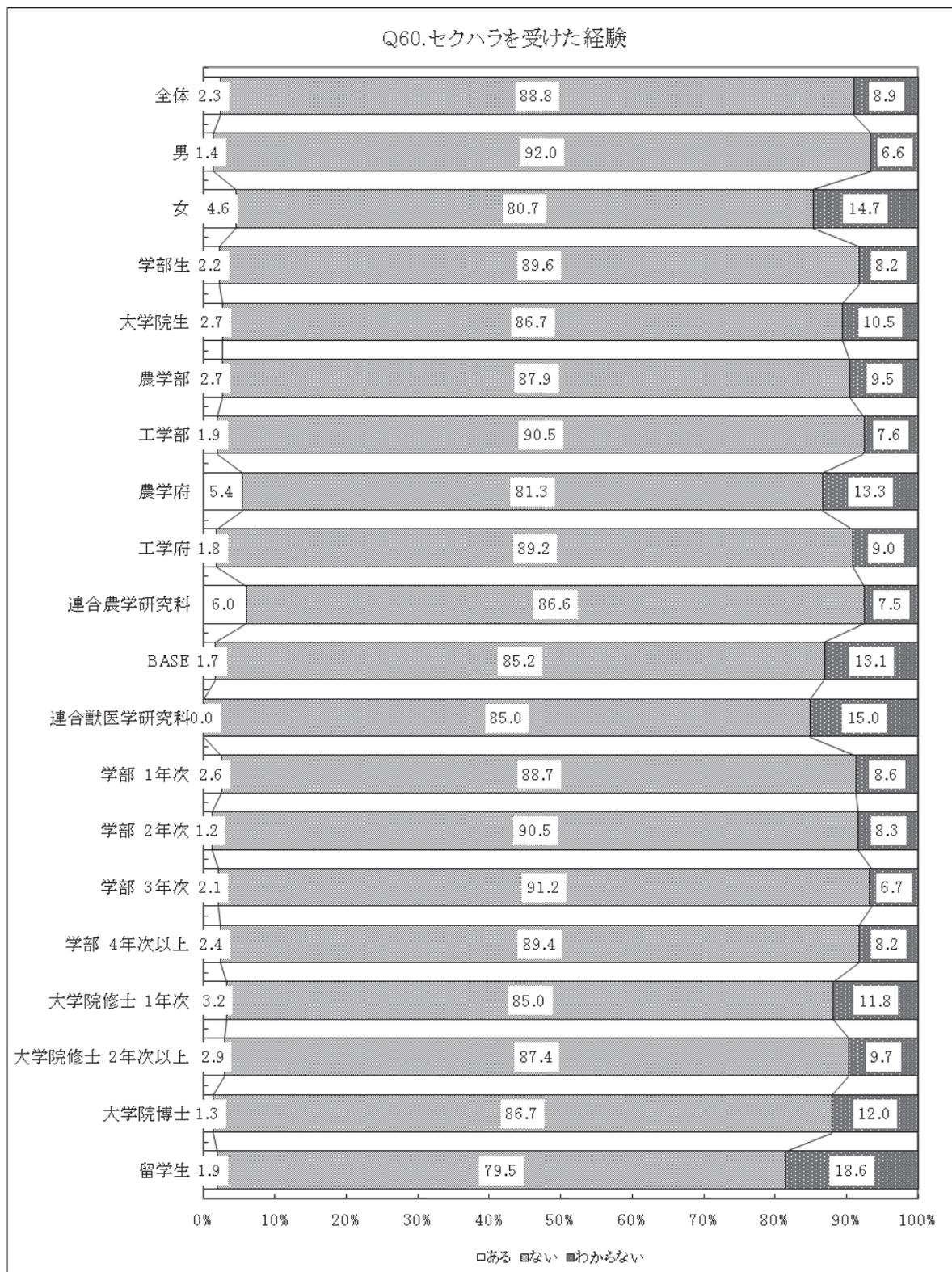
59. ハラスメント相談室の認知度

ハラスメント相談室は平成18年度より各キャンパスに毎週1回開室されている。相談室の認知度は、全体で35.3%と前回の33.0%をわずかに上回る結果となり、依然として認知度は低いままとなっている。前回同様、工学部生のハラスメント相談室の認知度は低い(28.3%、前回23.8%)が、増加傾向にはある。一方で、工学府では前回38.6%であったのに対し、今回34.5%と認知度が低下している。留学生は、前回17.6%であったのに対し、今回は26.1%と次第に周知され始めているといえる。



60. セクシャル・ハラスメントを受けた経験

セクシャル・ハラスメントを受けた経験について「はい」「いいえ」「わからない」の3件法で質問をした。「はい」と答えた割合は、全体では101件で2.3%と前回の2.8%とほとんど変わらないが、女子学生においては、前回の7.5%から4.6%へ減少している。

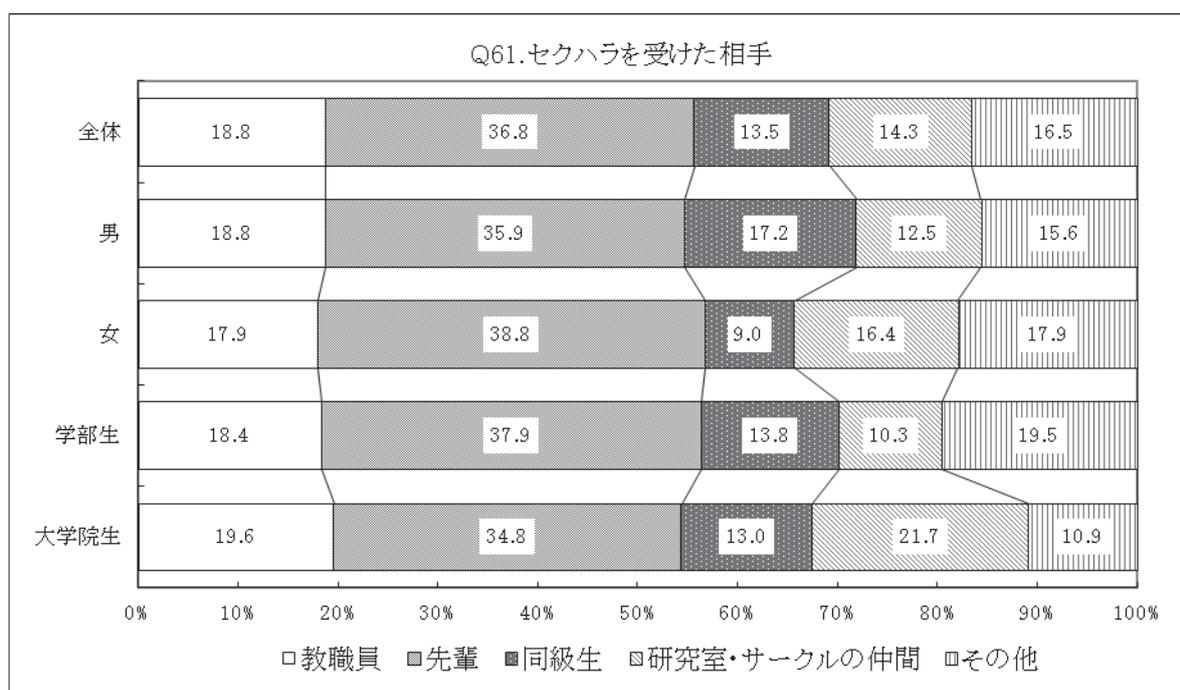


6 1. セクシャル・ハラスメントを受けた相手

質問60で、セクシャル・ハラスメントを受けたことが「ある」と回答した101件のうち、92件より回答があった（複数回答）。内訳は、多い順に、「先輩」49件（36.8%、前回31件37.3%）、「教職員」25件（18.8%、前回24件28.9%）、「研究室・サークルの仲間」19件（14.3%、前回20件24.1%）、「同級生」19件（13.5%、前回12件14.5%）。「その他」は22件（16.5%、前回17件20.5%）となり、「不審者」「高校の頃の友人」などであった。「教職員」からのセクシャル・ハラスメントの割合は若干減少してきている。

Q61.セクハラを受けた相手

	合計	教職員	先輩	同級生	研究室・サークルの仲間	その他
全体	133	25	49	18	19	22
男	64	12	23	11	8	10
女	67	12	26	6	11	12
学部生	87	16	33	12	9	17
大学院生	46	9	16	6	10	5
農学部	35	7	15	2	5	6
工学部	52	9	18	10	4	11
農学府	17	5	6	1	4	1
工学府	18	3	5	4	4	2
学部 1年次	25	8	8	3	1	5
学部 2年次	13	0	8	2	2	1
学部 3年次	19	2	10	3	2	2
学部 4年次以上	27	5	8	3	3	8
大学院修士 1年次	22	4	7	4	3	4
大学院修士 2年次以上	20	5	5	3	6	1
大学院博士	7	1	3	0	2	1
留学生	7	2	2	1	2	0



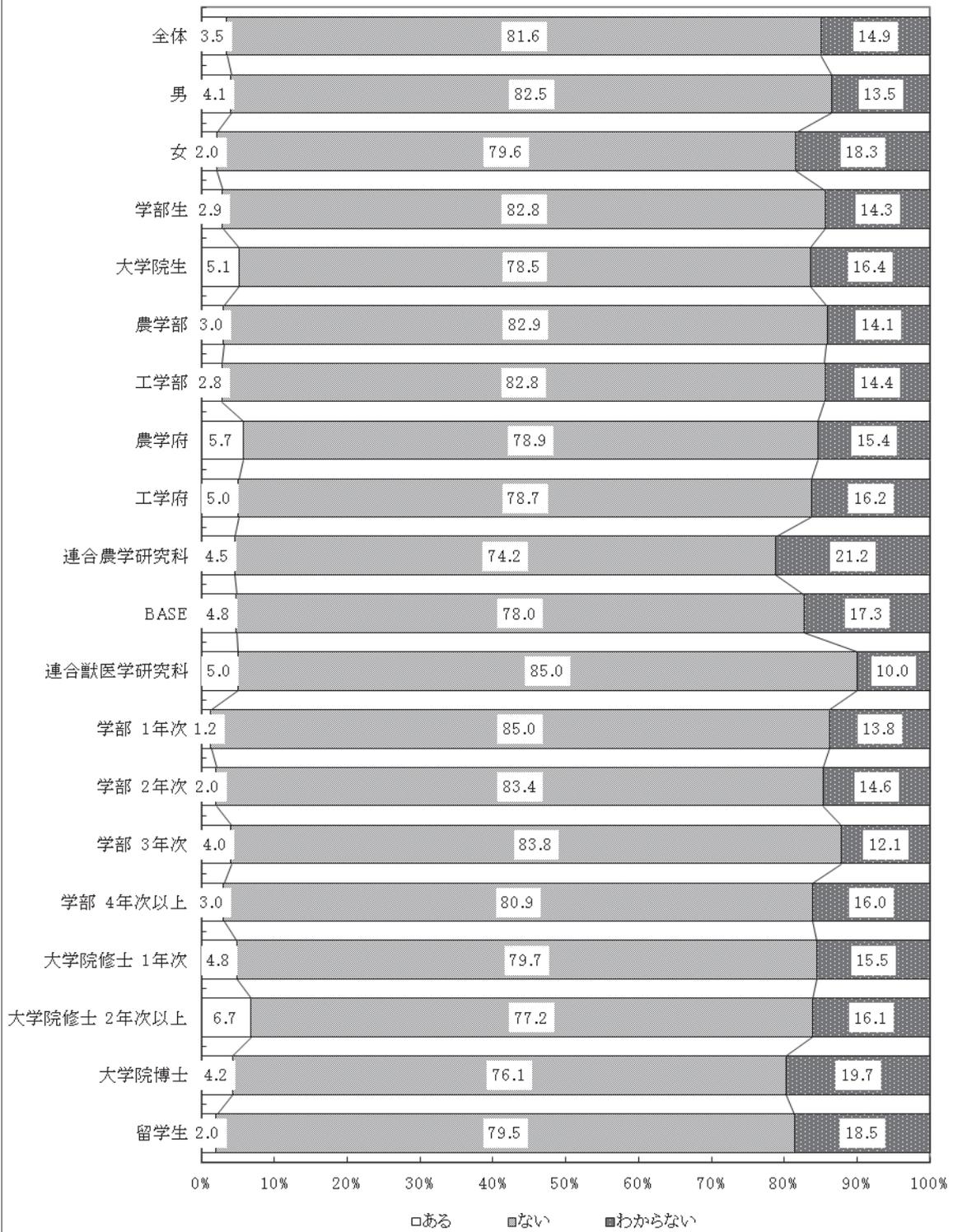
6 2. セクハラ以外のハラスメントを受けた経験

セクハラ以外のハラスメントの経験の有無について質問した。全体で 144 件、3.5%の学生がセクハラ以外のハラスメントを受けた経験があると回答している。前回は 5.7%であり、若干減少している。「わからない」も全体の 14.9%で、前回 (19.0%) より減少している。セクシャル・ハラスメント以外のハラスメントの定義は社会常識などと照らし合わせて行われるために定義や線引きが難しいが、少しずつ学生にもハラスメントの概念が浸透し始めているかもしれない。また、セクハラ以外のハラスメントが「ある」と答えた割合は、学科や専攻ごとの開きがみられるのも特徴的である。

Q62.セクハラ以外のハラスメントを受けた経験

	合計	ある	ない	わからない
全体	4136	144	3375	617
男	2951	120	2434	397
女	1172	24	933	215
学部生	3008	87	2491	430
大学院生	1117	57	877	183
農学部	1070	32	887	151
工学部	1938	55	1604	279
農学府	228	13	180	35
工学府	634	32	499	103
連合農学研究科	66	3	49	14
BASE	168	8	131	29
連合獣医学研究科	20	1	17	2
学部 1 年次	726	9	617	100
学部 2 年次	706	14	589	103
学部 3 年次	693	28	581	84
学部 4 年次以上	832	31	667	134
大学院修士 1 年次	497	24	396	77
大学院修士 2 年次以上	460	31	355	74
大学院博士	207	7	159	41
留学生	151	3	120	28

Q62.セクハラ以外のハラスメントを受けた経験



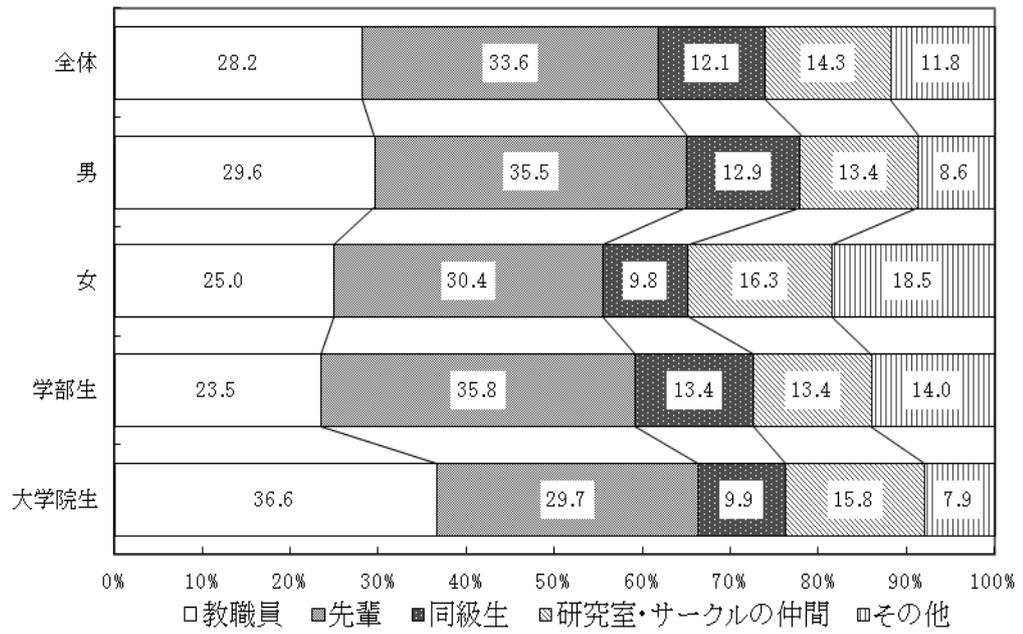
63. セクハラ以外のハラスメントを受けた相手

前の質問（62）で「ある」と回答した144件より、誰から受けたかについて複数回答で質問した。のべ280件の回答があり、内訳は多い順に「先輩」94件（33.6%、前回37.9%）、「教職員」79件（28.2%、前回46.8%）、「研究室・サークルの仲間」40件（14.3%、前回16.7%）、「同級生」34件（12.1%、前回9.6%）となった。「その他」は11.8%で、「部活のコーチ」などがあつた。割合としては、「教職員」からの（セクハラ以外の）ハラスメントは減少し、「先輩」や「同級生」が増加している。

Q63.セクハラ以外のハラスメントを受けた相手

	合計	教職員	先輩	同級生	研究室・サークルの仲間	その他
全体	280	79	94	34	40	33
男	186	55	66	24	25	16
女	92	23	28	9	15	17
学部生	179	42	64	24	24	25
大学院生	101	37	30	10	16	8
農学部	70	13	31	7	9	10
工学部	109	29	33	17	15	15
農学府	26	9	9	1	6	1
工学府	53	22	13	7	7	4
連合農学研究科	9	1	5	0	1	2
BASE	12	4	3	2	2	1
連合獣医学研究科	1	1	0	0	0	0
学部 1年次	29	8	10	4	2	5
学部 2年次	26	4	12	3	2	5
学部 3年次	49	8	22	7	7	5
学部 4年次以上	49	14	13	5	10	7
大学院修士 1年次	47	14	17	5	6	5
大学院修士 2年次以上	52	21	11	6	11	3
大学院博士	13	6	3	0	2	2
留学生	9	4	2	1	2	0

Q63.セクハラ以外のハラスメントを受けた相手



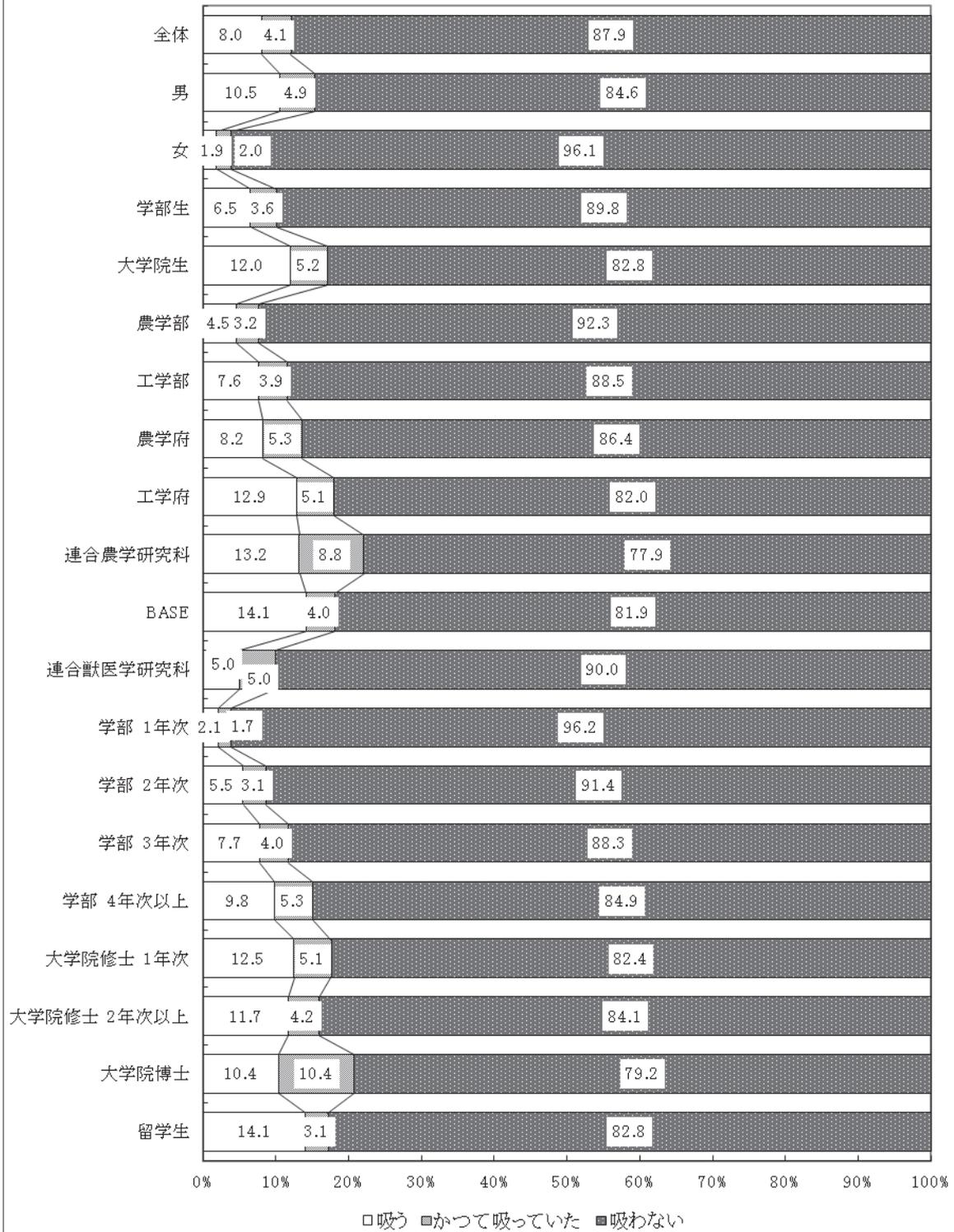
6 4. 喫煙の有無

「吸う」と回答した割合が 8.0%（前回 11.0%）、「かつて吸っていた」4.1%（4.7%）、「吸わない」87.9%（84.3%）であり、喫煙率は 4 ポイント減少している。男子学生では「吸う」が 10.5%（前回 13.7%）、女子学生では「吸う」が 1.9%（2.9%）となっている。学年が上がるにつれ「吸う」割合は上昇しているが、修士 2 年次以上から博士の学生になると再び減少していく点は興味深い。社会にでる前に禁煙を試みる学生がいるためかもしれない。

Q64.喫煙の有無

	合計	吸う	かつて吸っていた	吸わない
全体	4345	349	176	3820
男	3089	325	150	2614
女	1241	23	25	1193
学部生	3156	206	115	2835
大学院生	1177	141	61	975
農学部	1128	51	36	1041
工学部	2028	155	79	1794
農学府	243	20	13	210
工学府	668	86	34	548
連合農学研究科	68	9	6	53
BASE	177	25	7	145
技術経営研究科	1	0	0	1
連合獣医学研究科	20	1	1	18
学部 1 年次	765	16	13	736
学部 2 年次	742	41	23	678
学部 3 年次	724	56	29	639
学部 4 年次以上	871	85	49	737
大学院修士 1 年次	528	66	27	435
大学院修士 2 年次以上	477	56	20	401
大学院博士	223	28	15	178
留学生	163	23	5	135

Q64.喫煙の有無



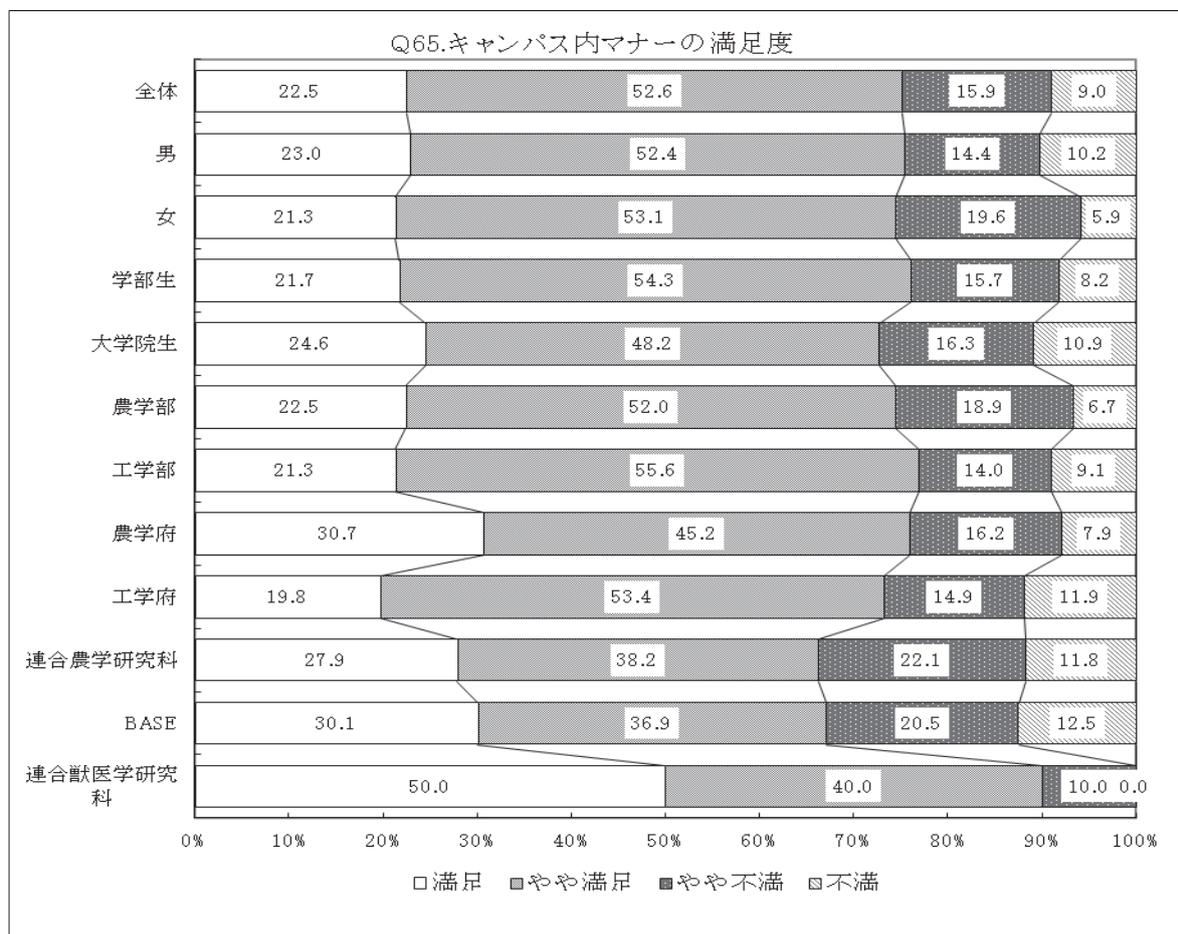
65. キャンパス内マナーの満足度

キャンパス内のマナーに対する満足度について質問した。「満足」が22.5%（前回19.4%）、「やや満足」52.6%（58.0%）、「やや不満」15.9%（14.5%）、「不満」9.0%（8.1%）となった。「満足」「やや満足」の合計は75.1%で比較的高い値とは思われるが、前回の77.4%より若干減少している。

「やや不満」「不満」と回答した1037件中、781件がその内容について自由記述で回答している。内訳は、ゴミ捨てに関するもの156件、大学内の汚れ14件、自転車の止め方209件、駐輪場不足121件、自転車の危険運転8件、タバコの吸い方や喫煙場所について177件、吸い殻の処理59件、自転車や傘の盗難11件、その他26件であった。

Q65.キャンパス内マナーの満足度

	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	4319	973	2273	686	387
男	3070	705	1609	443	313
女	1233	263	655	242	73
学部生	3137	682	1703	494	258
大学院生	1169	287	563	191	128
農学部	1118	251	581	211	75
工学部	2019	431	1122	283	183
農学府	241	74	109	39	19
工学府	663	131	354	99	79
連合農学研究科	68	19	26	15	8
BASE	176	53	65	36	22
連合獣医学研究科	20	10	8	2	0



6.6. 農学部福利厚生センター及び工学部総合会館等の利用状況

生協食堂、エリプス、喫茶室（オリザ）、生協購買部（売店）の利用状況を以下にまとめる。

A. 生協食堂の利用度

生協食堂については、「良く利用する」45.9%（前回46.1%）、「ときどき利用する」39.9%（38.9%）、「全く利用しない」14.3%（15.0%）と、前回調査とほぼ同じ結果となった。男女差はみられず、「良く利用する」割合は、大学部生が53.3%で、大学院生33.0%より高い。また農学部と工学部では差はみられないが、農学府より工学府で利用率が低くなっている。

B. エリプスの利用度

平成23年完成のエリプスの利用度は、全体では「よく利用する」14.4%、「ときどき利用する」38.5%、「全く利用しない」47.1%であった。当然のことながら、小金井キャンパスの学生で利用率は高くなっている。工学部学生が一番高く、「良く利用する」24.4%、「ときどき利用する」52.1%と8割近くが利用している。しかし生協食堂の利用度よりはやや少ない。

C. 喫茶室（オリザ）の利用度

喫茶室については、「よく利用する」2.2%、「ときどき利用する」17.7%、「全く利用しない」80.1%と、利用度が非常に低くなっている。当然、府中キャンパスで利用度は高くなっているが、農学部で、利用すると答えた学生は34.5%、農学府でも44.6%と半数を切っている。

D. 生協購買部（売店）の利用度

売店の利用度は、「よく利用する」43.6%（前回44.4%）、「ときどき利用する」51.4%（48.4%）、「全く利用しない」5.0%（7.2%）となった。小金井キャンパスより府中キャンパスの方が「よく利用する」割合が明らかに高くなっている。

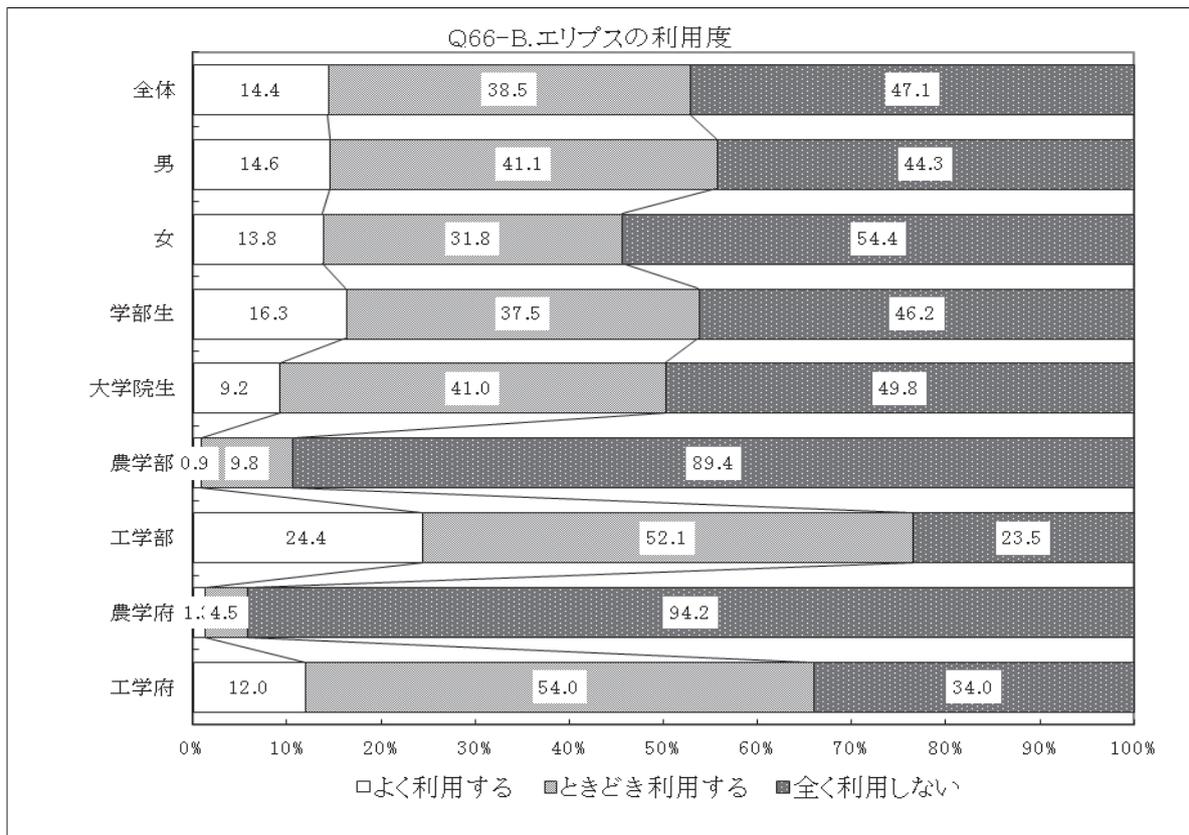
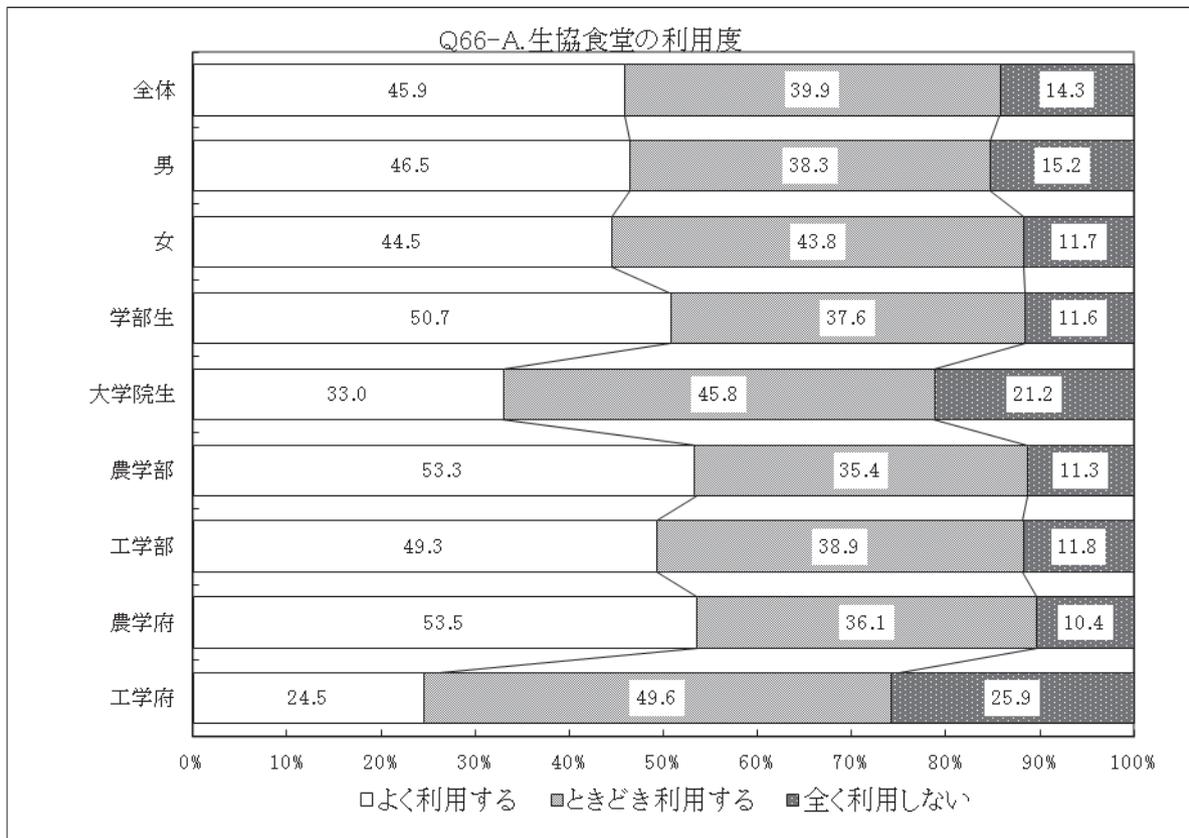
Q66 生協食堂等の利用状況

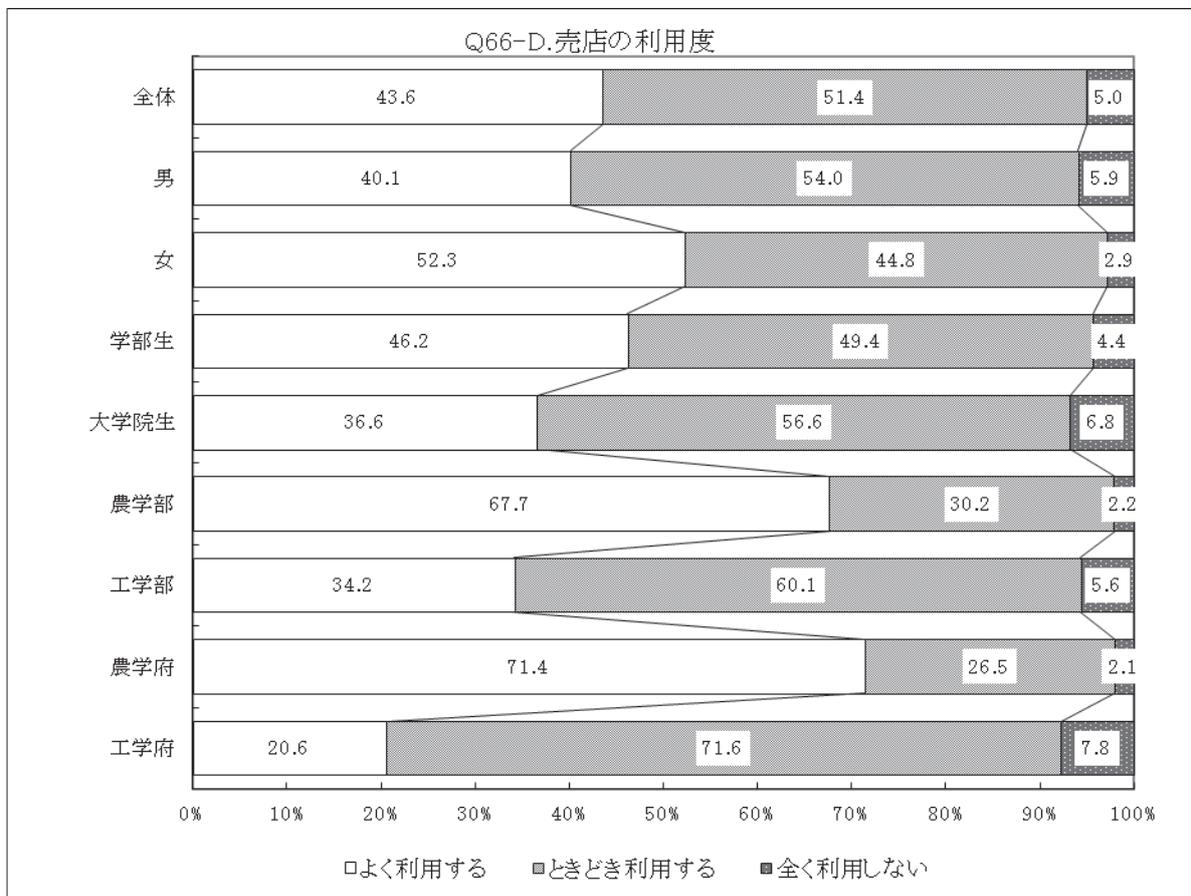
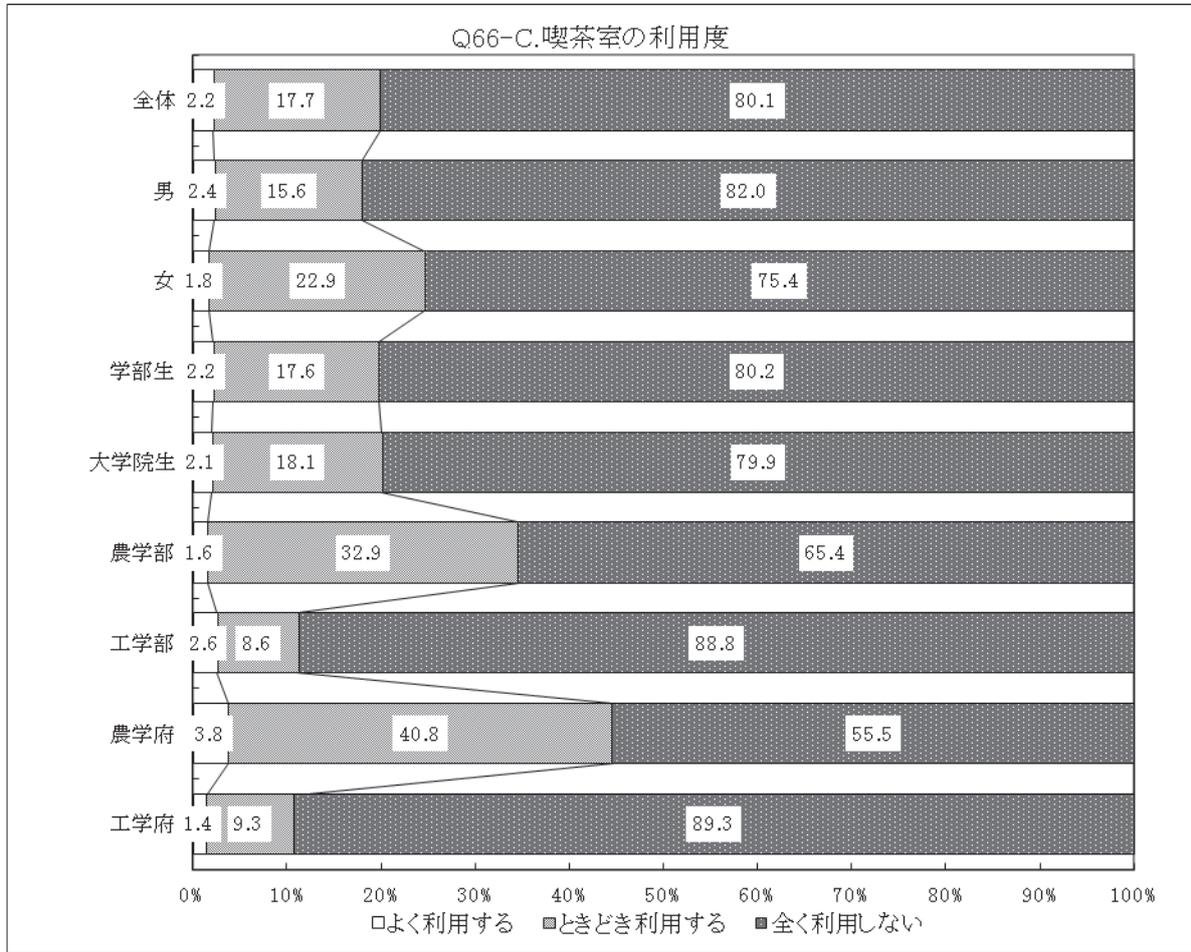
(%)

区 分	合 計	よく利用する	ときどき利用する	全く利用しない
1 生協食堂	100.0	45.9	39.9	14.2
府 中	100.0	52.3	35.8	11.9
小金井	100.0	42.6	41.9	15.4
2 エリプス	100.0	14.4	38.5	47.2
府 中	100.0	1.1	8.7	90.2
小金井	100.0	20.7	52.7	26.6
3 喫茶室	100.0	2.2	17.7	80.1
府 中	100.0	2.1	34.6	63.3
小金井	100.0	2.3	8.7	89.0
4 売 店	100.0	43.6	51.3	5.0
府 中	100.0	67.4	30.1	2.5
小金井	100.0	31.4	62.2	6.3

（注）府中地区は農学部、農学府、連合農学研究科、連合獣医学研究科の合計である。

小金井地区は工学部、工学府、BASE、技術経営研究科の合計である。





67. 食堂・喫茶室の満足度

68. 売店の満足度

食堂と喫茶室、売店の満足度を以下にまとめた。

食堂・喫茶室の満足度（Q67）は、「満足」20.6%（前回16.6%）、「やや満足」54.1%（51.6%）、「やや不満」17.1%（20.4%）「不満」8.1%（11.4%）となった。前回よりは若干満足度が増加している。性差や学部差は見られない。

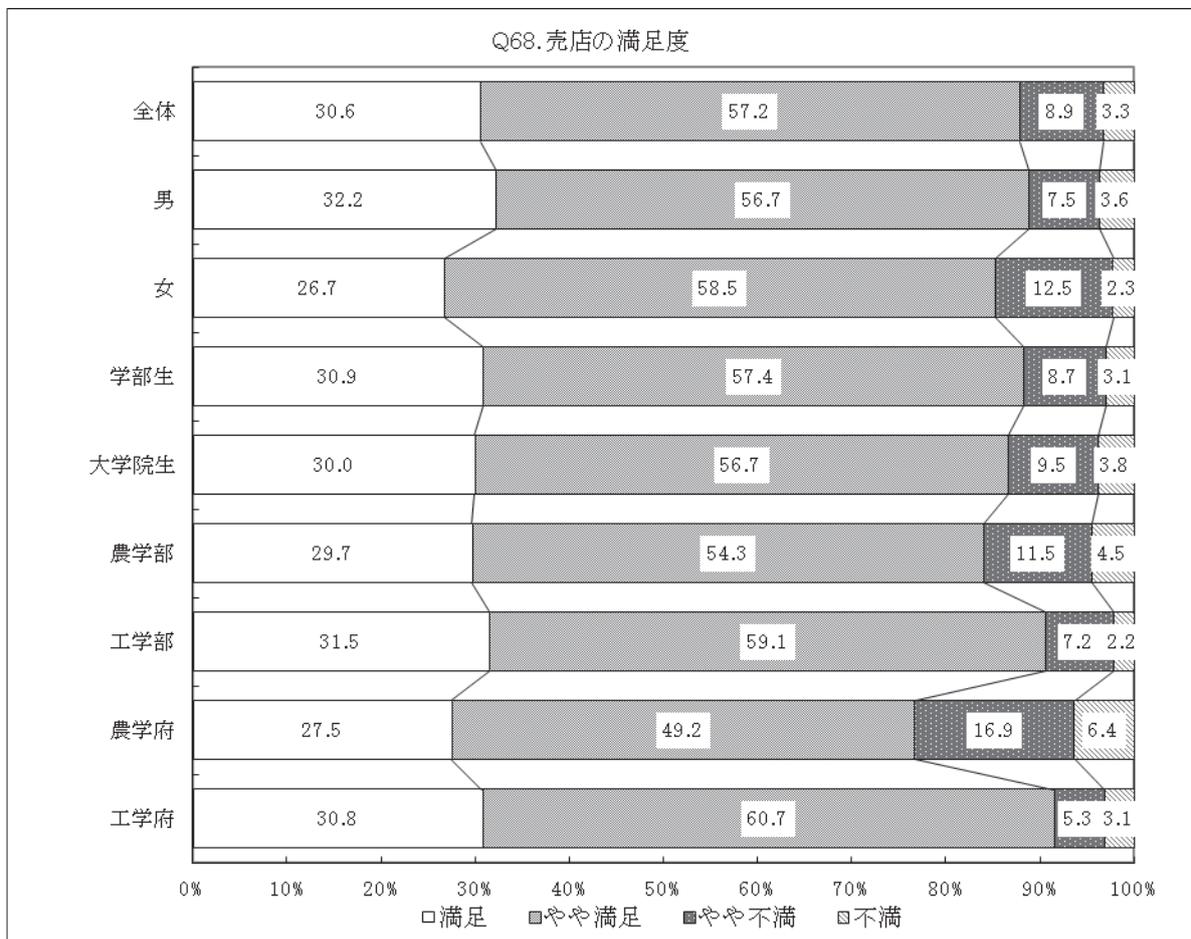
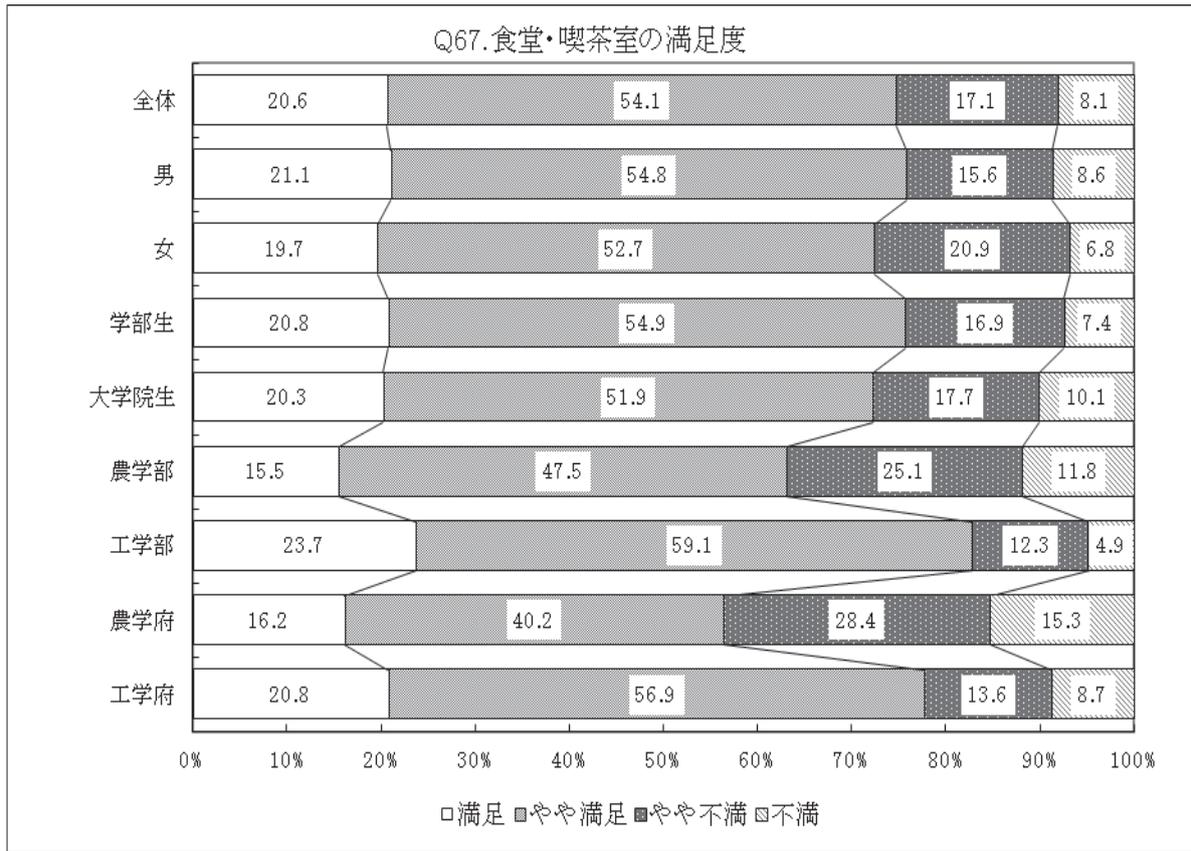
不満と回答した1058件のうち、871件からその理由について記載があった。複数回答している場合は主なものを集計した。不満理由として最も多かったのは「高い」といったコストパフォーマンスに関するもので266件（871件中30.5%）、次いで「席がない、狭い」といった混雑に関するものが185件（21.1%）、「営業時間が短い」等が115件（13.2%）、「まずい」が98件（11.2%）、「メニューが少ない」98件（11.2%）であった。その他109件には、「接客態度」、「汚い」、「量が少ない」などであった。

売店の満足度（Q68）は、「満足」30.6%（前回24.5%）、「やや満足」57.2%（58.5%）、「やや不満」8.9%（12.0%）「不満」3.3%（5.0%）となり、前回より満足度が上がっている。性差や学部での差は認められない。

「やや不満」「不満」と回答した654件の内、403件で記載があった。（複数回答している場合は、主なものをカウントした）。最も多かった不満は、「営業時間が短い」で131件（不満の記載403件の32.5%）、次いで「品揃えが悪い（特に食品、書籍）」が126件（31.3%）、「高い」59件（14.6%）、「狭い」56件（13.9%）、「接客態度が悪い」10件（2.5%）であった。その他は21件で、「電子マネーを使えるとよい」や「コンビニが入るといい」などであった。

Q67, 68 食堂・喫茶、売店の満足度 (%)

区分	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
1 食堂・喫茶	100.0	20.7	54.1	17.1	8.1
府中	100.0	16.3	46	25.3	12.4
小金井	100.0	22.9	58.3	12.9	5.9
2 売店	100.0	30.6	57.2	8.9	3.3
府中	100.0	29.8	52.8	12.6	4.8
小金井	100.0	31.1	59.4	7	2.5



69. キャンパスの施設・設備環境改善希望（講義室を除く）

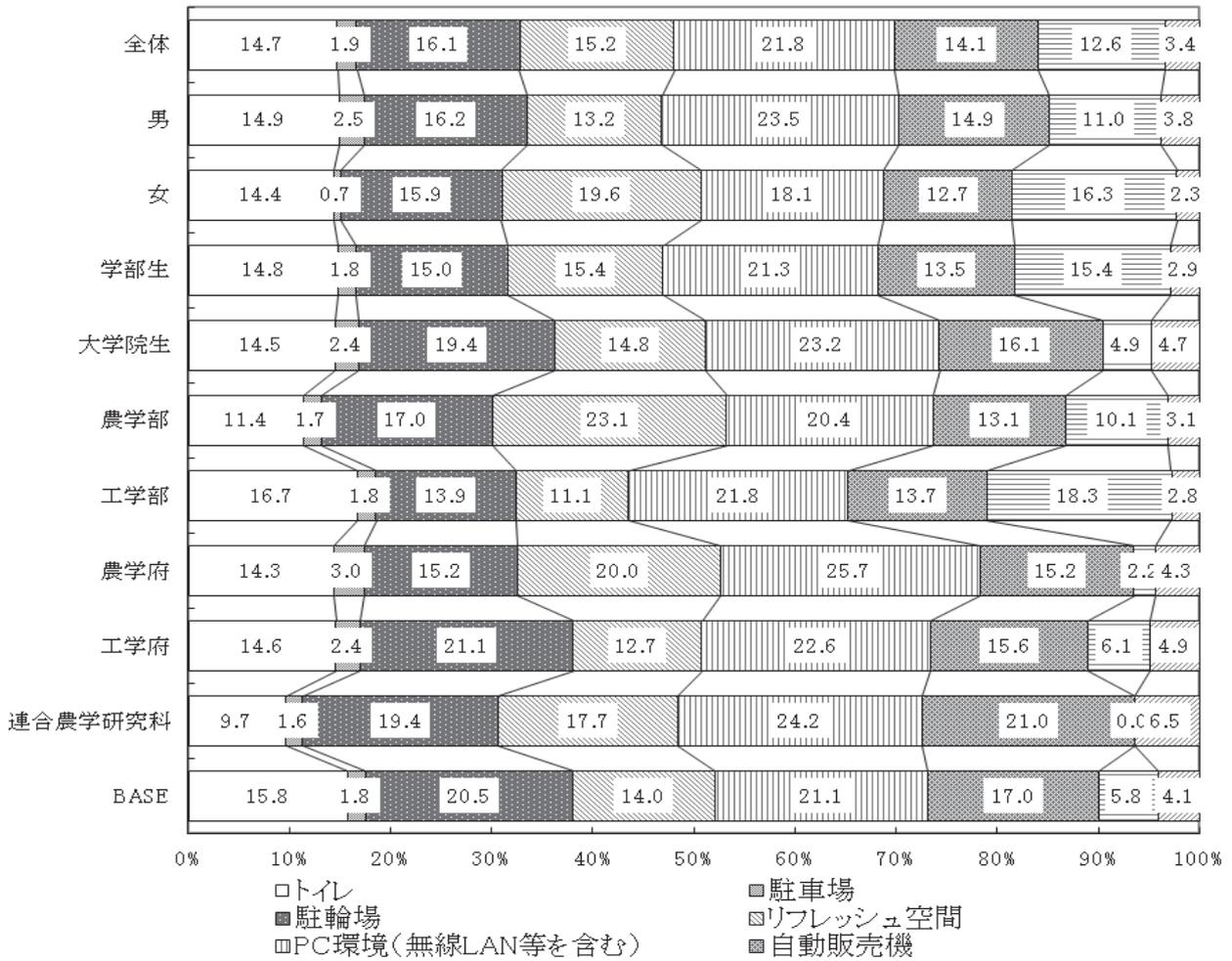
全回答 4424 件のうち、2451 件（55.4%）より回答があり、1973 件は無回答だった。複数回答で、もっとも選択されたのは「PC 環境（無線 LAN 等を含む）」で 891 件（全回答件数の 20.1%）が改善を希望している。次いで「駐輪場」658 件（14.9%）、「リフレッシュ空間」621 件（14.0%）となっている。「トイレ」は 601 件（13.6%）、「自動販売機」576 件（13.0%）、「ロッカー」515 件（11.6%）となった。

具体的な改善希望としては、「PC 環境」については、891 件中 451 件で記載があり、「大学内全体でつながりやすくしてほしい」という要望が多く、「パスワードを簡単にしてほしい」といった意見もみられた。「駐輪場」については 658 件中 379 件で記載があり、「場所を増やしてほしい」「屋根付きにしてほしい」といった意見が多かった。「トイレ」については 601 件中 305 件で「もっときれいに」「石鹸をおいてほしい」などの要望があった。他に意見が多かったものは「自動販売機」576 件中 308 件で、「節電で止まっているのを稼働してほしい」との意見が大半を占めた。他には「食べ物の自動販売機がほしい」との意見もみられた。「ロッカー」についても 515 件中 273 件で記載があり、「1 年次以外・工学部でも使えるようにしてほしい」との希望が多かった。「場所が悪い」「汚い」との意見もあった。「リフレッシュ空間」は 621 件中 260 件で記載があったが「あることを知らない」という意見も多く、その他「もっと場所を増やしてほしい」との要望があった。「駐車場」については 78 件中 19 件で「学生も使えるように」との意見が多かった。「その他」では、「サークル棟」に関する事、「構内が暗い」といった意見があった。

Q69.講義室以外の施設・設備改善希望

	合計	トイレ	駐車場	駐輪場	リフレッシュ空間	PC 環境 (無線 LAN 等を含む)	自動販売機	ロッカー	その他
全体	4078	601	78	658	621	891	576	515	138
男	2787	415	69	452	369	654	414	307	107
女	1279	184	9	204	251	232	162	208	29
学部生	3007	446	53	451	462	640	405	463	87
大学院生	1061	154	25	206	157	246	171	52	50
農学部	1067	122	18	181	247	218	140	108	33
工学部	1940	324	35	270	215	422	265	355	54
農学府	230	33	7	35	46	59	35	5	10
工学府	589	86	14	124	75	133	92	36	29
連合農学研究科	62	6	1	12	11	15	13	0	4
BASE	171	27	3	35	24	36	29	10	7
連合獣医学研究科	9	2	0	0	1	3	2	1	0

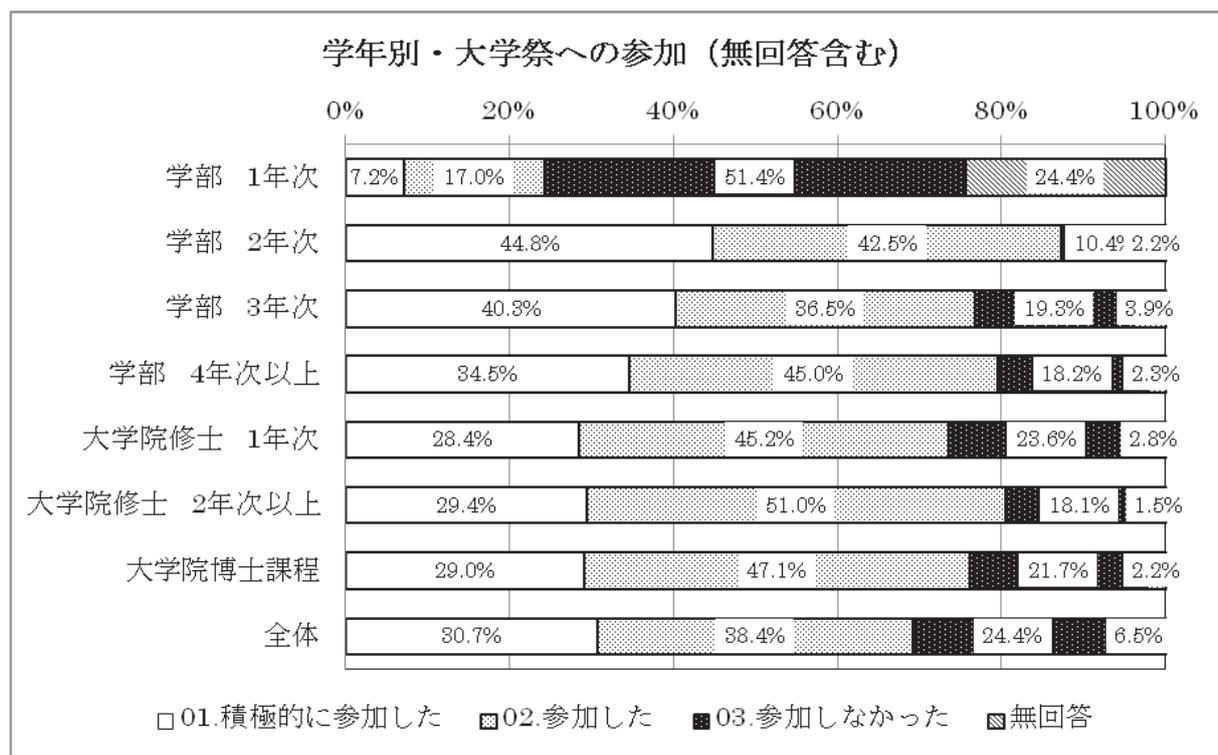
Q69. 講義室以外の施設・設備改善希望



70. 大学祭への参加

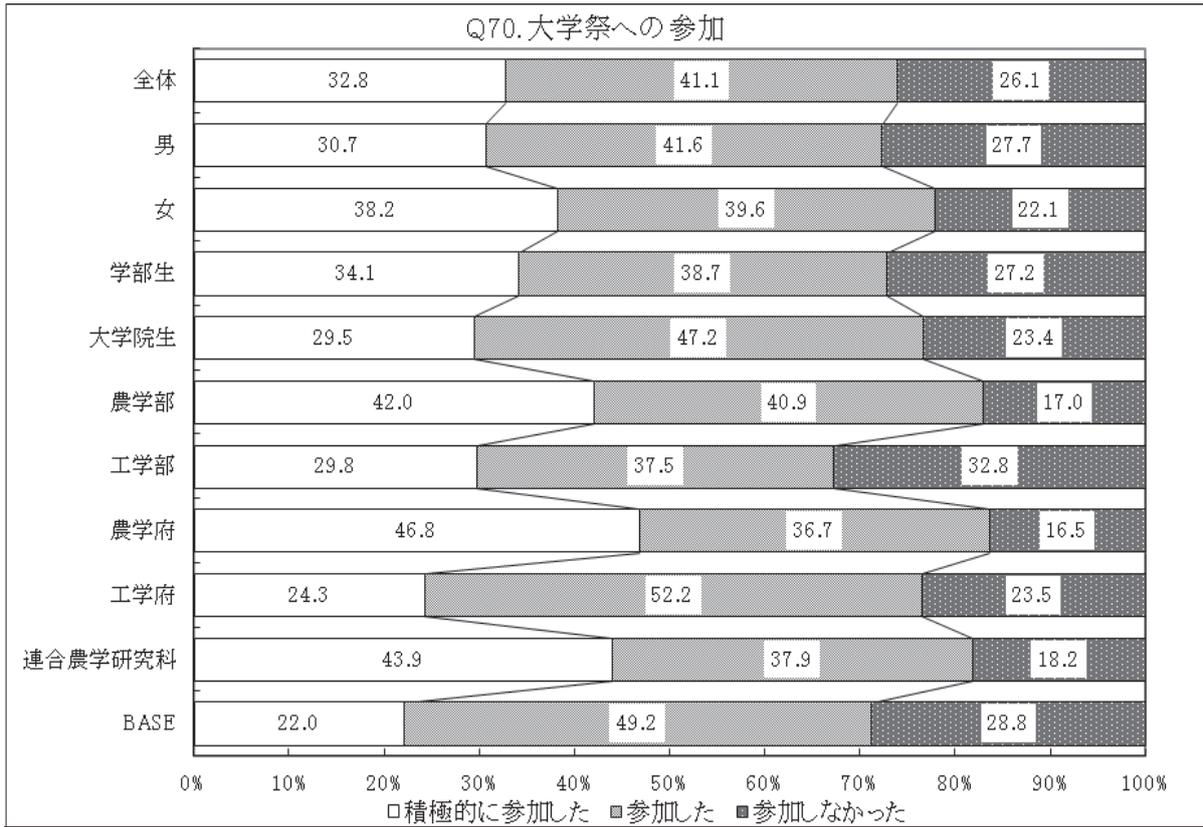
調査実施時が大学祭開催前であったため、1年次の学生の参加率が「積極的に参加した」7.2%、「参加した」17.0%、「参加しなかった」51.4%と、当然のことながら不参加率が高くなっている（無回答含む）。そのため「全体」の参加割合もそれを加味してみる必要がある。

無回答を除いた集計では、全体で「積極的に参加した」32.8%（前回32.2%）、「参加した」41.1%（42.0%）、「参加しなかった」26.1%（25.8%）と前回とほぼ同様の結果となった。府中キャンパスの学生の方が、小金井キャンパスの学生よりも「積極的に参加」する割合が高い。



Q70.大学祭への参加

	合計	積極的に参加した	参加した	参加しなかった
全体	4137	1357	1700	1080
男	2962	910	1232	820
女	1161	444	460	257
学部生	2961	1010	1145	806
大学院生	1164	343	549	272
農学部	1044	439	427	178
工学部	1917	571	718	628
農学府	237	111	87	39
工学府	663	161	346	156
連合農学研究科	66	29	25	12
BASE	177	39	87	51
連合獣医学研究科	20	3	3	14



7 1. 生活情報の入手先（外国人留学生）

176 件から、複数回答で回答を得た。「他の留学生」からの情報が最も多く 104 件（23.1%）、次いで「インターネット」86 件（19.1%）、「留学生センター」65 件（14.4%）、「担任教員や指導教員」59 件（13.1%）となっている。

Q71.生活情報の入手先(留学生)

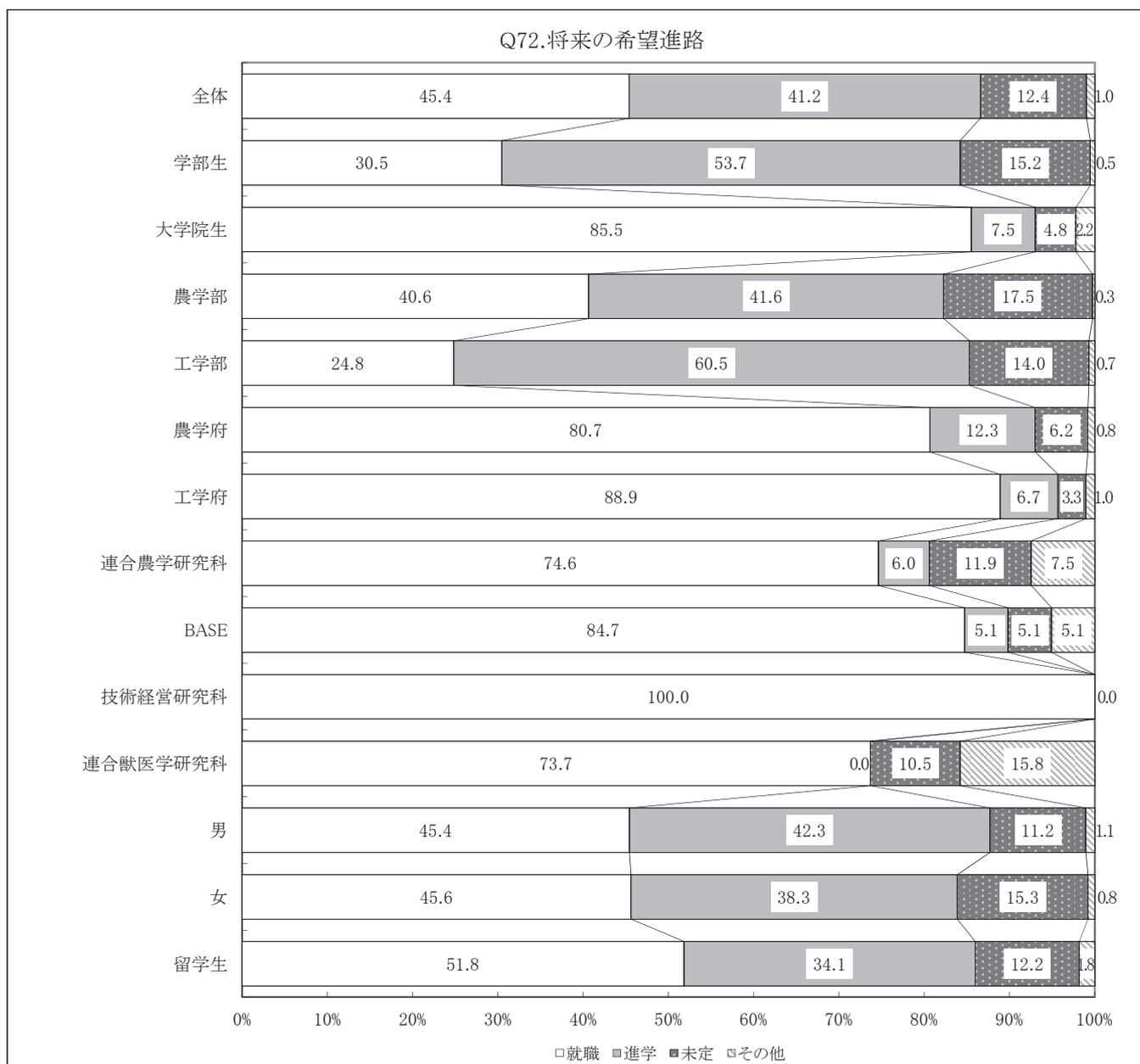
	合計	留学生 の手引き	留学生 センター の教職員	担任教 員や指 導教員	他の留 学生	チュータ ー	チュータ ー以外 の日本 人学生	インター ネット	その他	情報が 得られな い
全体	451	44	65	59	104	35	40	86	5	13
(%)	100.0	9.8	14.4	13.1	23.1	7.8	8.9	19.1	1.1	2.9
男	279	31	45	34	62	20	22	54	2	9
(%)	100.0	11.1	16.1	12.2	22.2	7.2	7.9	19.4	0.7	3.2
女	172	13	20	25	42	15	18	32	3	4
(%)	100.0	7.6	11.6	14.5	24.4	8.7	10.5	18.6	1.7	2.3
学部生	160	20	21	9	37	19	16	27	3	8
(%)	100.0	12.5	13.1	5.6	23.1	11.9	10.0	16.9	1.9	5.0
大学院生	289	24	44	50	66	16	24	58	2	5
(%)	100.0	8.3	15.2	17.3	22.8	5.5	8.3	20.1	0.7	1.7
農学部	30	6	5	2	4	2	4	4	2	1
(%)	100.0	20.0	16.7	6.7	13.3	6.7	13.3	13.3	6.7	3.3
工学部	130	14	16	7	33	17	12	23	1	7
(%)	100.0	10.8	12.3	5.4	25.4	13.1	9.2	17.7	0.8	5.4
農学府	81	7	8	16	18	7	6	17	1	1
(%)	100.0	8.6	9.9	19.8	22.2	8.6	7.4	21.0	1.2	1.2
工学府	104	11	22	13	27	3	8	19	0	1
(%)	100.0	10.6	21.2	12.5	26.0	2.9	7.7	18.3	0.0	1.0
連合農学研究科	46	2	8	12	8	2	4	9	1	0
(%)	100.0	4.3	17.4	26.1	17.4	4.3	8.7	19.6	2.2	0.0
BASE	50	4	4	6	11	4	5	13	0	3
(%)	100.0	8.0	8.0	12.0	22.0	8.0	10.0	26.0	0.0	6.0
連合獣医学研究科	8	0	2	3	2	0	1	0	0	0
(%)	100.0	0.0	25.0	37.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
留学生	427	32	61	59	103	35	39	84	5	9
(%)	100.0	7.5	14.3	13.8	24.1	8.2	9.1	19.7	1.2	2.1

第IX章 進路（就職・進学）

7.2. 将来の希望進路

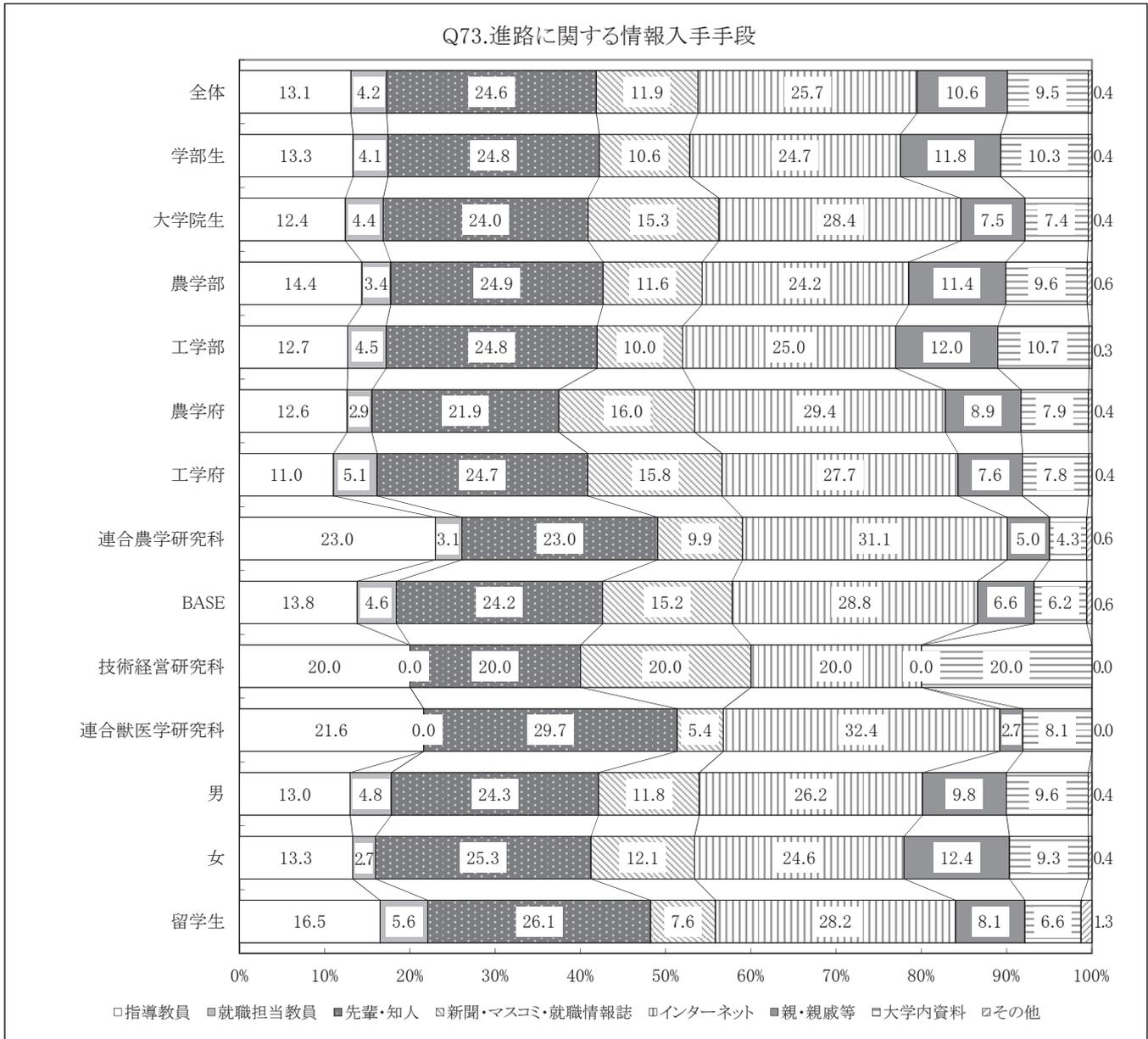
進学希望はここ数年の傾向と同様で、男子でやや高率となっている。学部から修士課程への進学率は、工学部が約60%で、農学部約40%に比べ明らかに高い。工学部生の修士課程への進学率が高いのは、就職に有利だという点が考えられる。農学部でも、昨年が約30%であったのに比べかなり増加した。

農学府（修士課程）の進学希望（博士課程へ）も昨年の約9%から約12%へと増加した。工学府の進学の割合が農学府に比べて低いのは、工学府の場合、博士課程も含んでいるのに対し、農学府は修士課程のみであるためであると思われる。全体では修士課程在学者の約8%が博士課程への進学を希望している。今後はより明確にするために工学府の場合は前期博士課程（修士課程相当）と後期博士課程に分けて集計すべきであろう。男女間で傾向にほとんど差が見られない。留学生は就職希望率が全体に比べて高い。大学院生の割合が高いからと思われる。その他の傾向は前回とほぼ同様である。



7 3. 進路に関する情報入手手段

前年まではインターネットでの情報入手がもっとも多かったが、今回は半分近くまで減少している。就職担当教員、新聞・マスコミ・就職情報誌、親・親戚、大学内資料、からの情報入手の割合が上昇し、進路に関する情報の収集源を広く求めていることが見て取れる。大学経由（就職担当教員、大学内資料）の情報収集の割合は依然あまり高くないものの、増加したことから、大学での支援が認知されてきたと思われる。



7 4. 将来の希望職種

傾向は前回から変化していない。

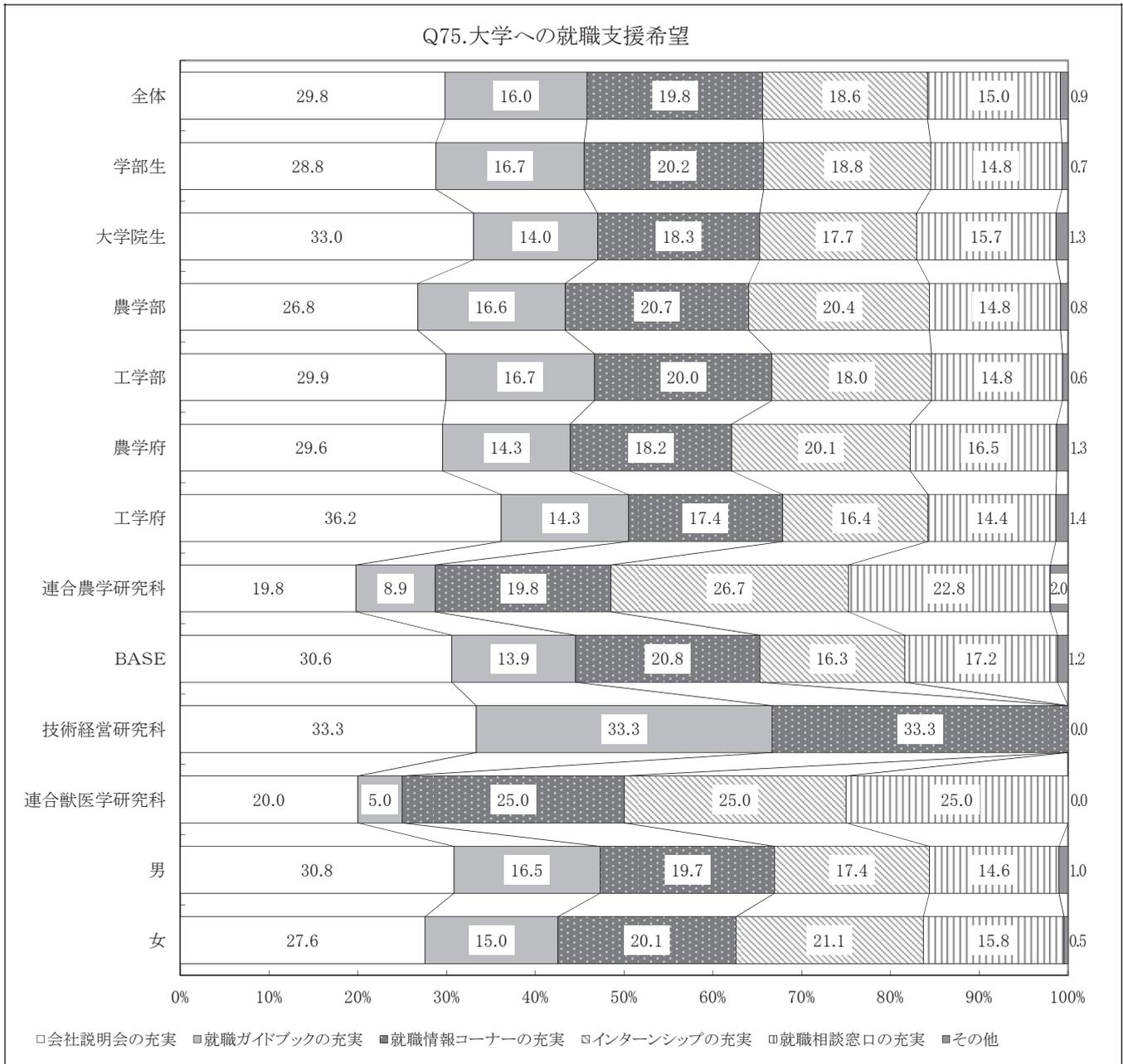
各学部・学府とも研究・技術職を志望するものが多い。

農学系（農学部、農学府、連合農学研究科、連合獣医学研究科）では公務員志望者が多く、民間企業への志望者が少ない。工学系の学生の多くは民間企業の研究・技術職を目指している。一方割合は低いものの農学系では民間企業の事務職、教育職の志望者が一定の割合でおり、様々な進路を考えていることが窺える。

	合計	公務員 (研究・ 技術職)	公務員 (行政 職)	民間企 業(研 究・技 術職)	民間企 業(事 務職)	教育職	自営業	起業	その他
全体	100.0	21.0	4.2	62.5	4.1	2.3	1.6	1.6	2.7
学部生	100.0	24.3	4.9	58.8	4.3	1.5	1.7	1.6	2.9
大学院生	100.0	12.6	2.3	72.6	3.4	4.1	1.2	1.6	2.2
農学部	100.0	34.1	8.2	40.2	5.5	1.8	3.2	2.2	4.6
工学部	100.0	18.8	3.1	69.0	3.6	1.4	0.9	1.2	1.9
農学府	100.0	20.4	6.4	52.3	7.7	6.4	2.6	2.1	2.1
工学府	100.0	8.2	0.6	84.0	1.8	1.8	0.8	1.1	1.7
連合農学研究科	100.0	36.9	1.5	33.8	1.5	13.8	1.5	3.1	7.7
BASE	100.0	9.0	3.0	73.7	4.2	6.6	0.6	1.2	1.8
技術経営研究科	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
連合獣医学研究科	100.0	18.8	6.3	43.8	6.3	0.0	6.3	12.5	6.3
男	100.0	20.4	4.1	64.1	3.1	2.2	1.6	1.9	2.6
女	100.0	22.8	4.3	58.5	6.4	2.5	1.7	0.8	3.0
留学生	100.0	27.7	4.4	34.6	8.8	13.8	3.1	3.8	3.8

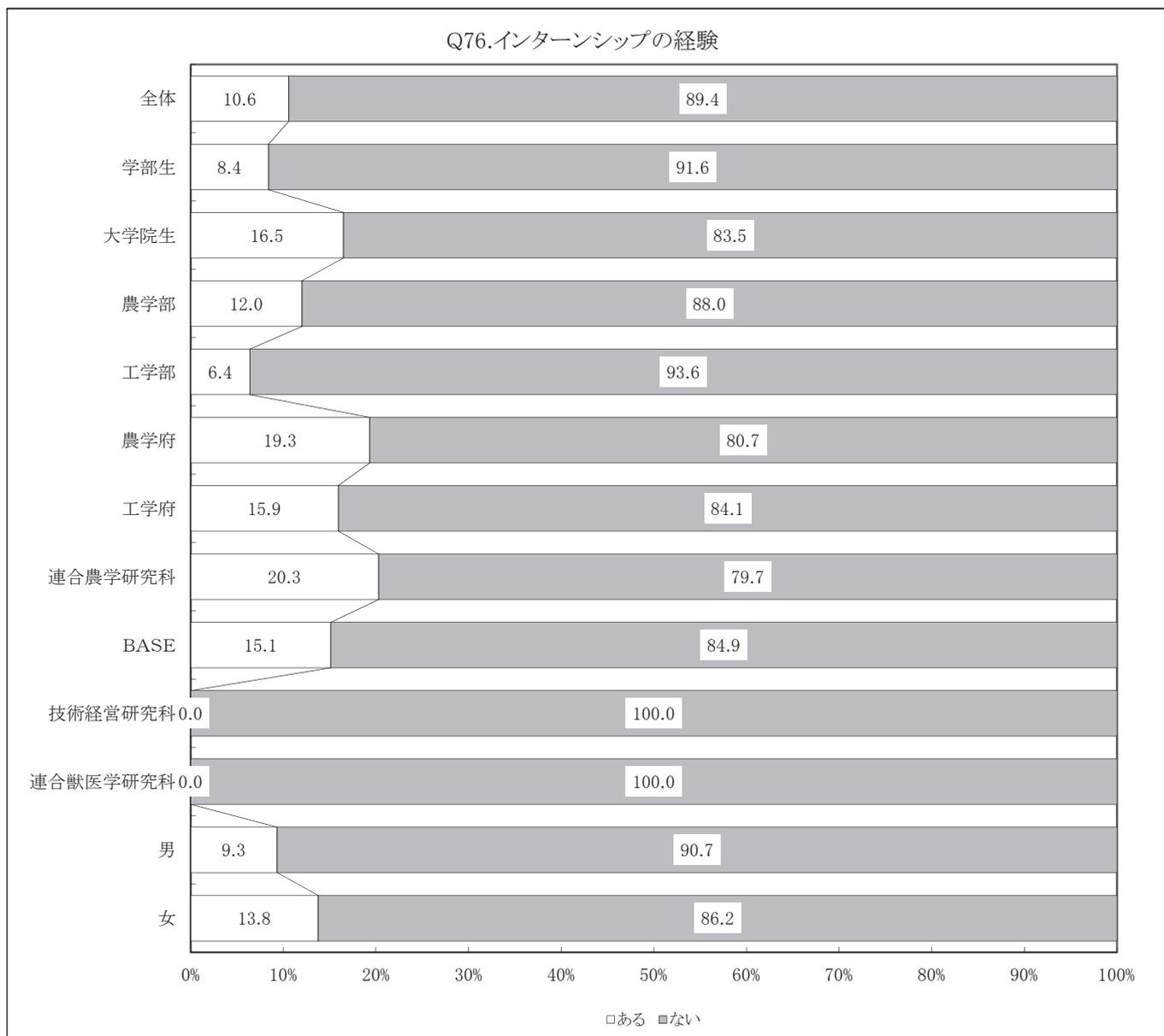
75. 大学への就職支援希望

農学系、工学系共に同じような傾向であり、会社説明会の充実を望む声はやはり多い。しかしながら、前回に比べ就職ガイドブックの充実と就職情報コーナーの充実を望む割合が増加しており、具体的にどのような情報を望んでいるかを調査して、今後の充実が必要である。インターンシップの充実についても希望が高く、今回は新規に Q76 と Q77 を追加している。



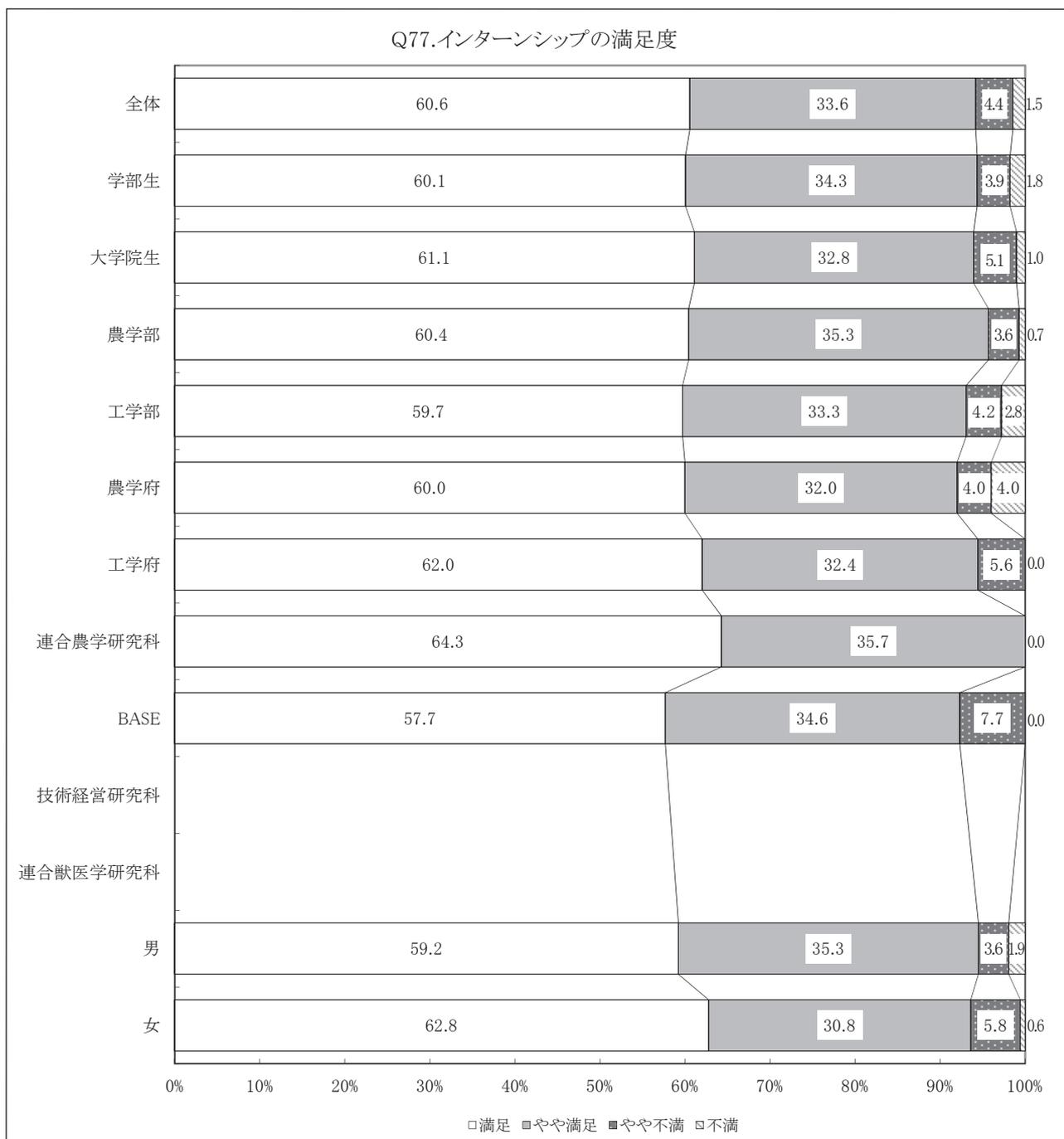
76. インターンシップの経験

全体で 10%程度しかインターンシップを経験していない。少ないものの農学部、農学府、連合農学研究科は比較的経験者の割合が高く、企業への就職が多い工学系で低い。近年公務員志望者に対して国や地方自治体がおこなっているインターンシップに参加しているのかもしれない。学科によってはインターンシップ参加が単位認定されている。インターンシップの内容についても今後調査すべきであろう。



77. インターンシップの満足度

インターンシップの経験者はまだ10%程度（Q76）と少ないが、9割以上が満足している。今後はインターンシップの実施機関や内容などの詳細について調査し、学生の希望も合わせて情報を集め、学生が求めるインターンシップの充実を図る必要がある。



第X章 要望・意見等

学生生活全般についての大学に対する要望・意見等の自由記述

これまでの学生生活実態調査と異なり今回のアンケートでは随所に自由記述欄を設けたため、この「X 要望・意見等」に記述された回答の総数は大幅に減少した。しかし、本アンケートの各質問項目に当てはまらない意見や強い要望等が本自由記述に集約されていると考えられるので、記述内容を分類・整理し、キャンパスごとの件数とともに代表的な個別の要望・意見等を示した。なお、特に大学院生から多く得られた回答については括弧内に件数を示した。

区分	主な要望・意見	府中	小金井	
----	---------	----	-----	--

学生寮	回答数(括弧内はうち大学院学生)	4(0)	4(1)	
	寮の内容について	2	3	寮が狭い(府中・小金井とも)、寮内の仕事が負担(小金井)、桜寮は狭いのに樺寮と同額なのは納得できない(府中)
	寮新設の要望	2	0	府中キャンパス付近に学生寮が欲しい(府中2件)
	その他：寮から学内LANを使いたい(府中)、都内在住の大学院生だが寮に入りたい(小金井)			

図書館	回答数	19(1)	61(21)	
	空調について	4	13	
	照明について	1	1	
	PC/LAN環境について	2	9	
	開館スケジュールについて	4	22	土日の開館時間延長、休館日撤廃(以上府中・小金井)
	蔵書数・内容について	3	2	
	電子ジャーナルについて	0	11(10)	米国化学会の雑誌を増やしてほしい(小金井4件)、Scifinder ログイン数を増やしてほしい(小金井)
	館内マナー改善要望	2	2	
	職員の態度について	1	3	
	建物について	1	3	雨漏りがひどい(小金井3件)
その他：コピー機のメンテナンスが悪い(小金井)、グループ学習室でのサークル活動を許可してほしい(小金井)、冷水機がほしい(府中)				

講義室等	回答数	7(1)	26(4)	
	教室の構造について	0	4	教室が狭い、階段教室でなく黒板が見えにくい(以上小金井)
	机・椅子等について	1	5	
	空調の改善要望	1	1	
	PC環境について	3	5	講義室内の無線LAN(小金井3件)、PC用電源設置(府中2件)
	プロジェクタの改善要望	0	3	特にL1151(小金井2件)
	トイレについて	0	9	トイレの石鹸が薄い、壁に穴があいている(以上小金井)
清掃・メンテナンスについて	0	2		

その他：ゼミ室増設、教室に時計がほしい（以上府中）、講義室のサークル行事への開放、建物入口のスリッパ交換（以上小金井）

	回答数	39(9)	84(24)	
事務・運営	事務窓口対応について	5	15	事務職員（教務、学生生活）の対応改善、たらい回しにされる（以上府中・小金井）
	事務窓口スケジュールについて	0	5	昼休みにも窓口を開けてほしい（小金井5件）、証明書交付機の休日稼働を希望（小金井）
	情報伝達について	4	10	台風等緊急時の情報伝達が遅い（府中・小金井）、情報伝達方法を一元化してほしい（小金井）、学外から見られない情報が多い（府中）
	成績開示について	7	12	成績開示が遅い、外部からアクセス可能に（以上府中・小金井）、成績郵送希望、印刷できるように（以上府中）、SPICAで卒業に必要な単位が取れているか確認できるようにしてほしい
	学生の意見の反映について	4	8	学生の意見を大学の意思決定に反映させる制度を作って欲しい、学生に事前連絡のない規則変更はやめてほしい（以上府中・小金井）、意見を言っても規則なので無理と言われる（府中）
	本アンケートについて	2	10	アンケートが不要・長すぎる、フィードバックされなければ無意味、アンケートによる改善例を示すべき、ネット上で回答できるようにしてほしい（以上小金井）
	工学部のサマータイムについて	0	9	遠距離通学者には苦痛だった（小金井）
	振替授業について	11	16	自活者にとって土曜のアルバイトは貴重な収入源、宿題やレポートに割ける時間が減った（以上府中・小金井）、土曜にある講演会等に参加しにくくなった（府中）、土曜授業は休講が多い（小金井）
	節電について	4	10	節電成果データの開示、学内が薄暗い、自販機等の節電をやめてほしい、実施時間・時期からいって必要性に疑問を感じる（以上府中・小金井）、夏季の暖房便座は節電に逆行（府中）
	その他：学外からの事務手続きを可能にしてほしい、自動車入構時の守衛の態度に不満、学生の出張手続きが面倒（以上小金井）、学生単独での車使用野外調査を許可してほしい（府中）			

	回答数	22(2)	32(6)	
授業・カリキュラム	カリキュラムについて	5	13	英語カリキュラムの見直しが必要（農工とも）、休学せずに半年以上留学できるようなカリキュラムにしてほしい、TAT科目よりも1年次から専門科目を充実させてほしい（以上農）、文系科目の充実、他学科の授業をとりやすくしてほしい（工）、畜産学概論を開講してほしい（Rn科）、プログラミング関係のカリキュラム内容をもっと高度にほしい（S科）、電子デバイスIより前に電子物性工学を履修したほうが理解しやすい、E1とE2で単位の取りやすさが違う（以上E科）、

			単位数の割に授業開講が少ない (C 専攻)
時間割・シラバスについて	1	5	時間割の開示をもっと早く、シラバスが掲載されていない教科がある、講義の平日・土曜開講の基準が不明 (I 専攻)
授業内容・教員について	7	10	教員の熱意が足りない、90 分の講義は学習に非効率、ppt の授業はノートが取れない(以上府中)、板書を減らしプリントにしてほしい、授業レポートのフィードバックをしてほしい、実験が定時に終わらない(以上小金井)、生物受験でなかったので授業のペースについていけない(L 科)
成績評価・単位認定について	6	6	土曜開講時の公式試合等による欠席を公的に認めてほしい、成績評価の基準が教員によって違いすぎる(以上農・工)、基本情報技術者等の資格を持っている学生は基礎的なプログラミングの授業を免除してほしい(S 科)、TOEIC-IP でも単位認定してほしい、教職の介護等体験が試験と重なった時の配慮を考えてほしい(農)、インターンシップを単位認定してほしい(農)
その他：授業アンケートが面倒(小金井)、授業を web で公開してはどうか(府中 2 件)			

	回答数	52(13)	76(16)	
サークル・課外活動	サークル・課外活動時間について	23(9)	29(8)	サークルの活動時間を延ばしてほしい、妥当な説明がなく時間制限が続けられている(府中・小金井とも多数)、土曜開講は課外活動に支障がある(府中 3 件)、生物を扱っている課外活動で活動時間制約は非現実的(府中)、教職科目を取っているとほとんどサークル活動できない(小金井)
	部室・サークル棟について	7	15	サークル棟や部室を増やしてほしい(以上府中・小金井)、部室棟にネズミがいる、他大生に対してプレハブの部室棟は恥ずかしい、運動サークル棟に電気をつけてほしい(以上府中)、サークル棟のトイレに便座がない、サークル棟の壁が粗悪で窃盗が起きやすい、近隣からの苦情はサークル棟の立地のせい、音楽系サークル棟の防音改善、自動車部がうるさい(以上小金井)
	屋外施設について	7	15	人工芝化やナイター施設等のグラウンド改善、鉄棒がほしい(以上小金井)、テニスコートの改善、土曜開講は課外活動に支障がある(府中)、フットサルコート(府中)やプール(小金井)がほしい
	屋内施設について	13	14	体育館・武道場の開館延長、体育館のシャワー室をいつでも使えるようにしてほしい、体育館の管理人の態度が良くない、トレーニングルームの改築(以上府中)、もっと広い体育館がほしい、トレーニングルームの使用講習があまりないため使えない(以上小金井)

課外活動に対する規則等について	7	2	課外活動や施設使用の規制が厳しすぎる、年々規制だけが厳しくなっているが納得できる理由が乏しい(以上府中)
課外活動へのサポートについて	4	0	大学行事であるはずの3大戦に援助がない、バッティングマシン等硬式野球に必要な機材がほしい、ミニホースの馬房がない(以上府中)
その他：学生会の運営が問題(小金井)、構内での飲酒規制が厳しく農工大生ののびのびしたところが失われる(府中)			

	回答数	47(8)	103(41)	
施設整備・構内環境	校門について	2	14(8)	西門を通りやすくしてほしい、東門整備は無駄遣いでは、東門閉門時にも学生が通行できるように、寮に繋がる門を休日に開けてほしい(以上小金井)、北門・南門をいつでも通れるように(府中)
	駐輪場・バイクスペースについて	5	21(11)	学生が集まる図書館・生協付近に駐輪場が少なすぎる、屋根付きの駐輪場を増やして、誰も使っていない駐輪場新設のためにバイクスペースが狭くなったのは不満(以上小金井)、駐輪場が工事で広がったのは良いが屋根が撤去されたのは不満(府中)
	駐輪(駐輪場以外)について	1	8	駐輪場にある明らかに乗られていない自転車を撤去してほしい、無登録自転車の即時撤去、農ではステッカー不要のになぜ工では必要なのか、キャンパス内は歩行者のみに(以上小金井)
	街灯について	2	4	夜のキャンパスが暗くて不安
	構内環境について	6	10(6)	ボウフラ・チャドクガ駆除の要望、構内・建物内の清掃がずさん(以上府中・小金井)、樹の枝が降ってきて危険(府中5号館)、ゴミ箱増設要望、カラス駆除要望、図書館前の池の水噴射は見栄えが悪い(以上小金井)
	無線LANについて	4	13	キャンパス内のどこでも使えるようにしてほしい、全くといっていいほど繋がらない場所が多い(以上府中・小金井)
	携帯の電波について	4	0	校舎内(2号館、生協購買部)で圏外になる、携帯で無線LANを使いたい(以上府中)
	自販機について	1	2	自販機を稼働させてほしい(府中・小金井とも)
	学生ラウンジ設置要望	10	9	空きコマに雑談・飲食できるスペースが少ない、ソファのあるラウンジがほしい、研究室に入らないと居場所がない、授業のないときに自習等できる場所が少ない(以上府中・小金井)
	個人ロッカー設置要望	0	13	スポーツ実技がないB2以上でも個人ロッカーがほしい、実験と体育が重なると荷物が多すぎるので大変(以上小金井)
	シャワー室・仮眠室について	0	8	研究室所属学生が自由に使えるシャワー室がほしい、仮眠室がほしい(以上小金井)
	構内の治安について	0	3	キャンパス内に不審者がいて不安、宗教勧誘や政党絡みの団体のパンフレット配布を禁止してほしい

			(以上小金井)
その他：東門付近広場の水はけが悪い、エリプスを学生の催しでも使用できるようにしてほしい、郵貯以外のATMを設置してほしい(以上小金井)、ゴキブリ駆除要望(小金井3号館)、喫煙所に屋根がほしい、大学マップが見づらい、キャンパス外の施設のアメニティー改善(以上府中)			

	回答数	4(1)	15(7)	
マナー	喫煙マナーについて	1	10	受動喫煙防止対策が必要、13号館と新1号館裏は人通りも多く喫煙所の煙が辛い、灰皿があるにもかかわらず吸殻が落ちている(以上小金井)、全面禁煙にしてほしい(府中)
	駐輪マナーについて	1	4	自転車が歩行者の邪魔
	その他：女性に対するマナーが良くない(小金井)、食堂近くのトイレがきたない(府中)			

	回答数	35(7)	40(16)	
食堂・購買	営業時間について	23	8	食堂、購買、オリザの営業時間を長くしてほしい、購買を授業開始前に開けてほしい、食堂を工学部と同じ20時まで開けてほしい(以上府中)、夏休み中の営業時間が短すぎる(以上小金井)
	食堂のメニューについて	2	24	メニューの品質・味の向上、生協の弁当の味が良くない、値段が高い、エリプスと生協食堂の差別化(以上小金井)、アレルギーの懸念があるので原材料を表示してほしい(府中)
	食堂の数、広さについて	9	6	昼食時の混雑の解消、民間の飲食店の導入(以上府中・小金井)、食堂が狭い・席数が少ない(以上府中)
	食堂についてその他の意見	2	3	エリプス券売機でレシートを出してほしい、エリプスの席取りを禁止してほしい(以上小金井)
	購買部について	2	3	センスの良い農工大グッズを作してほしい、閉店直前に連絡されても当日中に対応できない、生協に置いてある商品が少ない
	その他：生協とエリプスが近すぎる、キャンパス西側にも売店を(以上小金井)			

	回答数	13(4)	24(14)	
進路	就職支援について	10(4)	23(14)	就職説明会・セミナーを多く開いてほしい、他大に比べサポートが少ない、ESの添削を希望(以上府中・小金井)、面接のロールプレイングイベントの開催(府中)、就職相談室では具体的な情報が得られなかった(小金井)
	インターンシップについて	2	0	インターンシップの情報が少ない
	進学について	1	2	早期から研究室見学等させてほしい(府中)、大学院の説明会を専攻・研究科で協力してやって欲しい、大学院合格者を増やしてほしい(以上小金井)
	その他：1年生に進路の選択肢を紹介してほしい、国家試験対策の充実(府中)、研究室で学部生の就職活動に配慮してほしい(小金井)			

	回答数	15(6)	17(7)	
学生支援	留学支援について	8	7	留学についての情報が少ない(府中・小金井)、休学せずに長期留学できるようカリキュラムに配慮してほしい、留学のための奨学金制度はないのか(以上府中)
	経済支援について	6(5)	7	授業料免除審査を綿密にやって欲しい、博士後期の経済支援の研究室格差が大きい(以上小金井)、親に多額の借金があって自分で授業料を払っているにもかかわらず授業料免除審査には通らない、経済的に厳しい社会人ドクターもいることを理解して支援してほしい(以上府中)
	カウンセリングについて	15(6)	2	制度はあってもハードルを下げる雰囲気作りが重要、カウンセラーの予定がいっぱいで1週間以上待たされることが多い(以上小金井)、研究室に関連した悩みについてカウンセリングにより解決できた(府中)
	その他：ボランティア活動の支援が受けづらい、ハラスメント相談が中途半端(以上小金井)、指導教員とのトラブルを相談できる場として学内教員と繋がりがいい外部の人に話を聞いてもらいたい(府中)			

	回答数	5(3)	7(6)	
留学生	留学生の経済支援について	1	2	全額授業料免除よりも半額免除にして多くの学生を支援する方がよい(府中)、奨学金情報が国際センターのHPに載っておらず奨学金の申請期限に間に合わなかった
	宗教上の配慮を求める要望	1	4	キャンパス内にムスリムの学生が祈祷できる場所を確保してほしい、食堂でムスリムの留学生に配慮した食事(ハラール)を提供してほしい
	その他：アンケートの英語版が欲しい、国際センターに行くのに農学部生も工学部の門を開けられるようにしてほしい(以上府中)、入学2年目以降も必要に応じてチューターをつけてほしい、外国人留学生の生活支援の担当係が代わったがもっと親切に対応してほしい(小金井)			

	回答数	14(10)	24(10)	
学科・専攻・研究室	研究室・指導教員について	2	8	研究室によっては就職活動やアルバイトが困難、担当教員が高圧的で登校が嫌になる、同じ学科でも研究室の厳しさが大きく違う、研究室間で学会参加費用の補助が異なる(以上小金井)、研究室は閉鎖的な空間なので教員とうまくいかなくなると逃げ場がない(府中)
	研究環境について	3	0	実験スペースが少なく複数の学生が同時に実験できない、自分の机を持ってない、節電でエアコンがつけられず効率が悪い(以上府中)
	研究室配属について	7(5)	5	3年次に研究室仮配属を行う制度を導入してほしい(農工とも)、研究室の配属人数を増やしてほしい、学生の興味に基づいて計画的に履修してきても定員の都合で全く関係ない研究室に配属されるのは納得できない(以上農)、研究室配属はじゃんけんやくじでなく成績を反映させるべき(工3件)、他学科研究室への研究室配属を可能にしてほしい(工)

教育スタッフについて	2	4	若い教員を増やしてほしい、技術職員が減少し演習林整備が行き届かなくなることを危惧する(以上府中)、学生とのコミュニケーションにおいて自覚が足りない教員がいる(小金井)
学科・専攻についてその他の意見	1	8	学科からの連絡はメールを活用したほうがよい、学科内の縦のつながりがうすい、1学年下から早期卒業基準が変更されたことに不満、編入生の筆頭免除がなぜ別枠なのか、BASEの入試科目は研究室によって選択制限するべき(以上小金井)、合宿オリエンテーションに行きたかった(府中)

	回答数	11(3)	36(10)	
その他	大学の知名度向上について	2	3	知名度が低いので積極的に宣伝してほしい(府中・小金井)、工学部学園祭の科学技術展をもっとPRして魅力を伝えるべき(小金井)
	農工両学部の関係について	1	10	農工の交流を増やしてほしい(府中・小金井)、農工の連絡バスがほしい、学祭の日程をずらしたほうが良い、学生間の交流を増やしたほうが良い(小金井)
	他大学との交流について	0	4	視野を広げる意味でも他大学との交流機会を増やしてほしい(小金井)
	学生について	0	5	化学・生命系以外の学科で女子を増やすべき(工3件)、学生間の縦横のつながりが希薄
	大学の在り方について	1	3	国家的なビジョンを掲げもっと骨太の教育をすべき(府中)、「地球をまわそう」の意味がわかりにくい、建築学科の設立(以上小金井)
	その他前向きな意見	6	4	学生生活に満足、大学が楽しい、等
	その他：性的少数者に対する支援が足りない(府中)、女性に対するサポートが足りない(小金井)			

巻末資料

1. 委員会等の構成メンバー

学生生活実態調査ワーキンググループ 委員

主査	細見 正明	工学府教授	評議員
	渡辺 元	農学府准教授	平成24年度農学府・農学部学生生活委員長
	服部 誠	農学府教授	平成24年度農学府・農学部学生生活副委員長
	臼井 博明	工学府教授	平成24年度工学府・工学部学生生活委員長
	前田 和之	工学府准教授	平成24年度工学府・工学部学生生活副委員長
	川端 良子	国際センター准教授	
	吉永契一郎	大学教育センター准教授	
	早川 東作	保健管理センター教授	
	馬淵麻由子	保健管理センター特任講師	

オブザーバー

藤井 恒人 大学教育センター准教授

事務

学務部長	佐藤 誠
学生総合支援課長	石出 進
教育企画課長	今井 賢
教育企画課係長	小宮 冬紀

第7回 学生生活実態調査

2012年度

調査票

記 入 上 の 注 意

1. 平成24年10月1日現在で記入してください。

2. 設問には、可能な範囲でできるだけ正確に回答をしてください。

なお、設問中の〈 〉内の見出し表示はその設問の調査対象者を示します。

3. 回答方法は、設問事項の回答欄に該当する事項の番号又は数値等を記入して

ください。

なお、複数回答欄を用意してある場合を除いて、一問一答です。

I 基本的事項

質問事項	選択肢欄	回答欄
1. 所属学科・専攻等	<p>【農学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 01. 生物生産学科 : 02. 応用生物科学科 : 03. 環境資源科学科 : 04. 地域生態システム学科 : 05. 獣医学科 : 06. 共同獣医学科 <p>【農学部専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 16. 生物生産科学専攻 : 17. 共生持続社会学専攻 : 18. 応用生命化学専攻 : 19. 生物制御科学専攻 : 20. 環境資源物質科学専攻 : 21. 物質循環環境科学専攻 : 22. 自然環境保全学専攻 : 23. 農業環境工学専攻 : 24. 国際環境農学専攻 <p>【連合農学研究科博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 32. 生物生産科学専攻 : 33. 応用生命科学専攻 : 34. 環境資源共生科学専攻 : 35. 農業環境工学専攻 : 36. 農林共生社会科学専攻 : 37. 生物生産学専攻 : 38. 生物工学専攻 : 39. 資源・環境学専攻 <p>【連合獣医学研究科博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 44. 獣医学専攻 <p>【技術経営研究科専門職学位課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 46. 技術リスクマネジメント専攻 <p>【工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 07. 生命工学科 : 08. 応用分子化学科 : 09. 有機材料化学科 : 10. 化学システム工学科 : 11. 機械システム工学科 : 12. 物理システム工学科 : 13. 電気電子工学科 : 14. 情報工学科 : 15. 情報コミュニケーション工学科 <p>【工学部専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 25. 生命工学専攻 : 26. 応用化学専攻 : 27. 機械システム工学専攻 : 28. 物理システム工学専攻 : 29. 電気電子工学専攻 : 30. 情報工学専攻 : 31. 産業技術専攻 <p>【工学部博士前期課程】</p> <p>【工学部博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 40. 生命工学専攻 : 41. 応用化学専攻 : 42. 機械システム工学専攻 : 43. 電子情報工学専攻 <p>【BASE博士前期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 45. 生物システム応用科学専攻 <p>【BASE博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 47. 共同先進健康科学専攻 : 48. 生物システム応用科学専攻 	1. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2. 在籍年次 ・「05」と「06」は、獣医学科のみ該当します。	<ul style="list-style-type: none"> : 01. 学部 1年次 : 02. 学部 2年次 : 03. 学部 3年次 : 04. 学部 4年次以上 : 05. 学部 獣医学科5年次 : 06. 学部 獣医学科6年次以上 : 07. 大学院修士 1年次 : 08. 大学院修士 2年次以上 : 09. 大学院博士 1年次 : 10. 大学院博士 2年次 : 11. 大学院博士 3年次以上 	2. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3. 性別	<ul style="list-style-type: none"> : 01. 男 : 02. 女 	3. <input type="checkbox"/> 0 <input type="checkbox"/>
4. あなたは外国人留学生ですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 01. はい : 02. いいえ 	4. <input type="checkbox"/> 0 <input type="checkbox"/>
5. 4で「01」と答えた方に伺います。 留学生の区分はなんですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 01. 私費留学生 : 02. 国費留学生 : 03. 政府派遣留学生 	5. <input type="checkbox"/> 0 <input type="checkbox"/>

V 学業、学習環境

質問事項	選択肢欄	回答欄														
20. 本学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)、教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)及び大学憲章を知っていますか。(複数回答可)	: 01. 入学者受入方針を知っている。 : 02. 教育課程の編成・実施方針を知っている : 03. 学位授与方針を知っている。 : : 04. 大学憲章を知っている。 : 05. 全く知らなかった	20. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0		0		0		0							
0																
0																
0																
0																
21. 20で「01」、「02」、「03」、「04」と答えた方に伺います。 どこで知りましたか。(複数回答可)	: 01. 入学者選抜要項・募集要項 : 02. 本学HP : 03. オリエンテーション : 04. ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー(冊子)	21. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0		0		0		0							
0																
0																
0																
0																
22. 本学に入学してどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を()欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足 : 03. やや不満 : 04. 不満 ()	22. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0													
0																
23. カリキュラム(科目の種類・内容・学ぶ順番)にどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を()欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足 : 03. やや不満 : 04. 不満 ()	23. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0													
0																
24. 教養科目(共通科目)を選択する際に重視した事柄は何ですか。 (複数回答可)	: 01. 時間割 : 02. シラバス(科目の内容) : 03. シラバス(成績評価の方法) : 04. 担当教員 : 05. 先輩や同級生から得た情報 : 06. 初回に出席した際の説明や印象 : 07. その他()	24. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0		0		0		0		0		0		0	
0																
0																
0																
0																
0																
0																
0																
25. 学期中は、講義・実験・実習・卒業研究のための予習・復習・レポート作成・宿題・試験勉強・追加実験などをすべて合計すると、一週間に平均して何時間の授業外学習を行っていますか。	: 01. 全くやっていない : 02. 週2時間未満 : 03. 週2時間から6時間 : 04. 週6時間から10時間 : 05. 週10時間から20時間 : 06. 週20時間以上	25. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0													
0																
26. 授業時間外の学習を行うのに必要な施設・設備や対策は何だと思いますか。 (複数回答可)	: 01. 図書館の開館時間の延長(休日開館含む) : 02. 授業時間外の学習スペース : 03. 利用可能なPCの台数 : 04. 無線LANの充実 : 05. 特に不足はない : 06. その他()	26. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0		0		0		0		0					
0																
0																
0																
0																
0																
27. 授業がよく理解できなかったときや授業に関連して疑問を抱いたときには、どのように対処しましたか。 (複数回答可)	: 01. 担当教員に授業中に質問等をする : 02. 担当教員に授業時間外に質問等をする : 03. 先輩や同級生に相談や質問等をする : 04. 自分で調べる : 05. その他の対処() : 06. 何もしない	27. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0		0		0		0		0					
0																
0																
0																
0																
0																
28. 講義室、実験室にどの程度満足していますか。	: 01. 満足 : 02. やや満足 : 03. やや不満 : 04. 不満	28. <table border="1"><tr><td>0</td><td></td></tr></table>	0													
0																

<p>29. 28で「03」又は「04」と回答した方は、講義室、実験室のどのようなところに改善を望みますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>: 01. 机、椅子 : 05. 清掃 : 02. 講義室の形 : 06. 実験器具 : 03. 機器類(スクリーン・プロジェクター、マイク等) : 07. その他() : 04. 床・壁・天井</p> <p>特に改善を望む教室・実験室がありましたら、教室名(実験室名)および改善希望について下記の()欄にご記入ください。</p> <p>教室名(実験室名): 改善希望点:</p>	<p>29.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0		0		0		0		0		0		0							
0																						
0																						
0																						
0																						
0																						
0																						
0																						
<p>30. 自習室やPC教室にどの程度満足していますか。「03」又は「04」と回答した方は、その内容を()欄にご記入ください。</p>	<p>: 01. 満足 : 03. やや不満 : 02. やや満足 : 04. 不満</p>	<p>30.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0																			
0																						
<p>31. 実験・実習の際に危険を感じたことがありますか。</p>	<p>: 01. なかった : 02. 身近であった (内容) : 03. 自分自身にあった (内容)</p>	<p>31.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0																			
0																						
<p>32. 図書館の利用頻度は、どのくらいですか。</p>	<p>: 01. 毎日 : 04. 2週間に1回 : 02. 週に2~3回 : 05. 1月に1回 : 03. 週に1回 : 06. ほとんど利用しない (理由)</p>	<p>32.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0																			
0																						
<p>33. 図書館の主な用途は何ですか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>: 01. 学習や研究に必要な文献(専門書・資料、学術雑誌、電子ジャーナルなど)を閲覧・借りる : 02. 「01」以外の一般的な文献(新聞や一般雑誌などを含む)を閲覧・借りる。 : 03. 情報端末を利用して文献検索を行う : 04. 「03」以外の目的で情報端末を(パソコン)として利用する : 05. 自習室として使う : 06. グループ学習室として利用する : 07. その他()</p>	<p>33.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0		0		0		0		0		0		0							
0																						
0																						
0																						
0																						
0																						
0																						
0																						
<p>34. 図書館にどの程度満足していますか。「03」又は「04」と回答した方は、その内容を()欄にご記入ください。</p>	<p>: 01. 満足 : 03. やや不満 : 02. やや満足 : 04. 不満</p>	<p>34.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0																			
0																						
<p>35. 在学中に海外で活動したことがありますか。</p> <p>(留学を含む)</p>	<p>: 01. ある : 02. ない</p>	<p>35.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0																			
0																						
<p>36. 35で「02」と答えた方に伺います。在学中に海外で活動する希望がありますか。</p> <p>(留学を含む)</p>	<p>: 01. ある : 02. ない</p>	<p>36.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0																			
0																						
<p>37. 35又は36で「01」と答えた方に伺います。その目的・内容は何ですか。(複数回答可)</p>	<p>: 01. 語学研修、語学留学 : 06. ワーキングホリデー青年海外協力隊等の国際ボランティア : 02. 交換留学 : 07. : 03. 研究活動(準備を含む。) : 08. 海外インターンシップ : 04. 異文化交流 : 09. その他() : 05. 海外の大学のサマースクール等</p>	<p>37.</p> <p>↓ の順に記入</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	0		0		0		0		0		0		0		0		0			
0		0																				
0		0																				
0		0																				
0		0																				
0																						
<p>38. 36で「01」と答えた方に伺います。海外での活動を妨げる要因は何だと思えますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>: 01. 経済的理由 : 04. 留年する可能性が高くなるから : 02. 認定される単位が少ないから : 05. 就職活動が遅れるから (制度上の問題) : 06. その他() : 03. 語学・海外生活に不安があるから</p>	<p>38.</p> <table border="1"> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td></td></tr> </table>	0		0		0		0		0											
0																						
0																						
0																						
0																						
0																						

VIII 学生生活

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄
50. 次の各項目に関して悩みがありますか。 悩みの強い順に回答してください。 (複数回答可)	: 01. 学業・研究 : 02. 学内の課外活動(サークル等) : 03. 学外の活動(アルバイト等) : 04. 進路・就職 : 05. 経済事情 : 06. 対人関係(友人、家族、教員等) : 07. 身体健康(体調不良、不眠等) : 08. 精神健康(不安、憂うつ等) : 09. その他() : 10. 何も悩みがない	50. 第1位 <input type="text"/> <input type="text"/> 第2位 <input type="text"/> <input type="text"/> 第3位 <input type="text"/> <input type="text"/> 第4位 <input type="text"/> <input type="text"/>
51. 50で「06」と答えた方に伺います。 その相手は誰ですか。 (複数回答可)	: 01. 友人 : 02. 交際相手 : 03. 教員 : 04. 家族 : 05. その他()	51. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
52. 大学生活の中で困ったことがありましたか。	: 01. ある : 02. ない	52. <input type="text"/> <input type="text"/>
53. 52で「01」と答えた方に伺います。 どこに又は誰に相談しましたか。 (複数回答可)	: 01. 学生サポートセンター(教務係・ 学生生活係) : 02. 学生相談室 : 03. 保健管理センター : 04. 国際センター : 05. 学科・専攻教員 : 06. チューター(留学生の場合) : 07. 先輩・友人等 : 08. 家族 : 09. その他() : 10. 相談しなかった	53. ↓ の順に記入 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
54. 授業以外で教員と話をしますか。	: 01. 積極的に話をしている : 02. ときどき話をする : 03. たまに話すこともある : 04. ほとんど話すことはない	54. <input type="text"/> <input type="text"/>
55. 授業以外で学生同士での交流がありますか。	01. 積極的に交流している 02. ときどきある : 03. たまにある : 04. ほとんど交流することはない	55. <input type="text"/> <input type="text"/>
56. 各キャンパスに学業・進路・就職などの相談に応じる学生相談室が開設されているのを知っていますか。	: 01. 知っている : 02. 知らない	56. <input type="text"/> <input type="text"/>
57. 各キャンパスの保健管理センターでカウンセラーが学生生活やメンタルヘルスの相談に応じていることを知っていますか。	: 01. 知っている : 02. 知らない	57. <input type="text"/> <input type="text"/>
58. 飲み会・コンパなどで次のような経験がありますか。 (複数回答可)	: 01. 飲酒を強要された : 02. 一気飲みをさせられた : 03. からまれたり、暴言や暴力を受けた : 04. セクハラを受けた : 05. 酔ってけがをしたり事故を起こした	58. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
59. 毎週1回、各キャンパスのハラスメント相談室で、ハラスメント相談員がハラスメントについての相談や申立て受付をしているのを知っていますか。	: 01. 知っている : 02. 知らない	59. <input type="text"/> <input type="text"/>
60. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。	: 01. ある : 02. ない : 03. わからない	60. <input type="text"/> <input type="text"/>
61. 60で「01」と回答した方に伺います。 誰から受けましたか。 (複数回答可)	: 01. 教職員 : 02. 先輩 : 03. 同級生 : 04. 研究室・サークルの仲間 : 05. その他()	61. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
62. セクシュアル・ハラスメント以外のハラスメントを受けたことがありますか。	: 01. ある : 02. ない : 03. わからない	62. <input type="text"/> <input type="text"/>
63. 62で「01」と回答した方に伺います。 誰から受けましたか。 (複数回答可)	: 01. 教職員 : 02. 先輩 : 03. 同級生 : 04. 研究室・サークルの仲間 : 05. その他()	63. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
64. タバコを吸いますか。	: 01. 吸う : 02. かつて吸っていた : 03. 吸わない	64. <input type="text"/> <input type="text"/>

<p>65. キャンパス内のマナー(自転車駐輪、タバコ、ゴミ)についてどの程度満足していますか。</p> <p>「03」又は「04」と回答した方は、その内容を()欄にご記入ください。</p>	<p>: 01. 満足 : 03. やや不満</p> <p>: 02. やや満足 : 04. 不満</p> <p>()</p>	<p>65. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p>	0															
0																		
<p>66. 農学部福利厚生センター及び工学部総合会館、エリプスをどれくらいの頻度で利用していますか。(主に活動しているキャンパスの施設について答えてください。)</p>	<p>A. 生協食堂 : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない</p> <p>B. エリプス : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない</p> <p>C. 喫茶室(オリザ) : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない</p> <p>D. 生協購買部(売店) : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない</p>	<p>66. -A <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p> <p>66. -B <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p> <p>66. -C <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p> <p>66. -D <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p>	0		0		0		0									
0																		
0																		
0																		
0																		
<p>67. 食堂・エリプス・喫茶室(オリザ)にどの程度満足していますか。</p> <p>「03」又は「04」と回答した方は、その内容を()欄にご記入ください。</p>	<p>: 01. 満足 : 03. やや不満</p> <p>: 02. やや満足 : 04. 不満</p> <p>()</p>	<p>67. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p>	0															
0																		
<p>68. 生協購買部(売店)にどの程度満足していますか。</p> <p>「03」又は「04」と回答した方は、その内容を()欄にご記入ください。</p>	<p>: 01. 満足 : 03. やや不満</p> <p>: 02. やや満足 : 04. 不満</p> <p>()</p>	<p>68. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p>	0															
0																		
<p>69. キャンパスの施設・設備環境(講義室・実験室を除く)で改善を希望するところはどこですか。(複数回答可)</p>	<p>: 01. トイレ (具体的に) : 05. PC環境(無線LAN等を含む) (具体的に)</p> <p>: 02. 駐車場 (具体的に) : 06. 自動販売機 (具体的に)</p> <p>: 03. 駐輪場 (具体的に) : 07. ロッカー (具体的に)</p> <p>: 04. リフレッシュ空間 (具体的に) : 08. その他 (具体的に)</p>	<p>69. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p>	0		0		0		0		0		0		0			
0																		
0																		
0																		
0																		
0																		
0																		
0																		
<p>70. 大学祭に参加しましたか。</p>	<p>: 01. 積極的に参加した : 03. 参加しなかった</p> <p>: 02. 参加した (理由)</p>	<p>70. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p>	0															
0																		
<p>71. <外国人留学生)の方にお伺いします。留学生活に必要な情報はどこから得ていますか。(複数回答可)</p>	<p>: 01. 留学生の手引き : 06. チューター以外の日本人学生</p> <p>: 02. 留学生センターの教職員 : 07. インターネット</p> <p>: 03. 担任教員や指導教員 : 08. その他()</p> <p>: 04. 他の留学生 : 09. 情報が得られない</p> <p>: 05. チューター</p>	<p>71. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table></p>	0		0		0		0		0		0		0		0	
0																		
0																		
0																		
0																		
0																		
0																		
0																		
0																		

